昭和24年3月19日　第3種郵便物認可　昭和41年11月20日印刷　昭和41年11月25日発行　第47輯第11号（毎月1回25日発行）

建築と社会

'66 11

市街地改造



建物の洗ひと管理の店

住宅美素工事の創始者

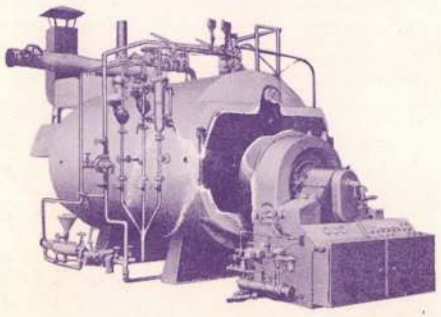
- ビルディングの洗浄工事
- 木造建築洗浄・美素仕上工事
- ビルディングの清掃・一般管理

（登録商標）

美素工業(株)
美素建物管理(株)

本　社　大阪市東区瓦町三和ビル
電話（231）5888・4938
営業所　大阪市東区本町二丁目五
電話（261）4070・4079・617

UR
MPボイラ



★特　長★

1．1㎡当り100kg／hも蒸気を発生
2．50%も多く蒸気が出るので、数多くのボイラが不要
3．3Tバーナの組合せで、燃焼負荷20%から100%まで、何れの負荷でも、ボイラ効率は、いつでも87%以上
4．ウーターバックですから、ボイラ背面からの熱の放散や後部鏡板の過熱はない。従って断熱材の脱落もなく、補修費も節約できる

《新開発》

■MPボイラ　UR型
1.5t／hから10.0t／hまで9機種
例えば　UR# 50……49.9m²で 5t/h
UR# 100……99.6m²で 10t/h

株式会社 平川鉄工所
本社・工場　大阪市大淀区大淀町北1の11　TEL（458）8681㈹
東京・名古屋・九州・滋賀工場

床材のハイファッション マチコカラー…

●美しいファッションの色
米国連邦規格合格の丈夫さ

美しい色でがぜん注目されたマチコカラー！きびしい規格にも余裕の合格をした丈夫さアメリカはもちろんドイツやイタリヤでも定評のあるマチコタイルは国立京都国際会館や東京新八重洲ビルなど有名ビルに続々採用されています。

美しい色が26種　まねのできない国際的なフロアタイルの色です。オートメ工場で量産していますからいついかなるご注文にもOKです。

■床材のハイファッション
マチコV®
ビニールアスベストタイル

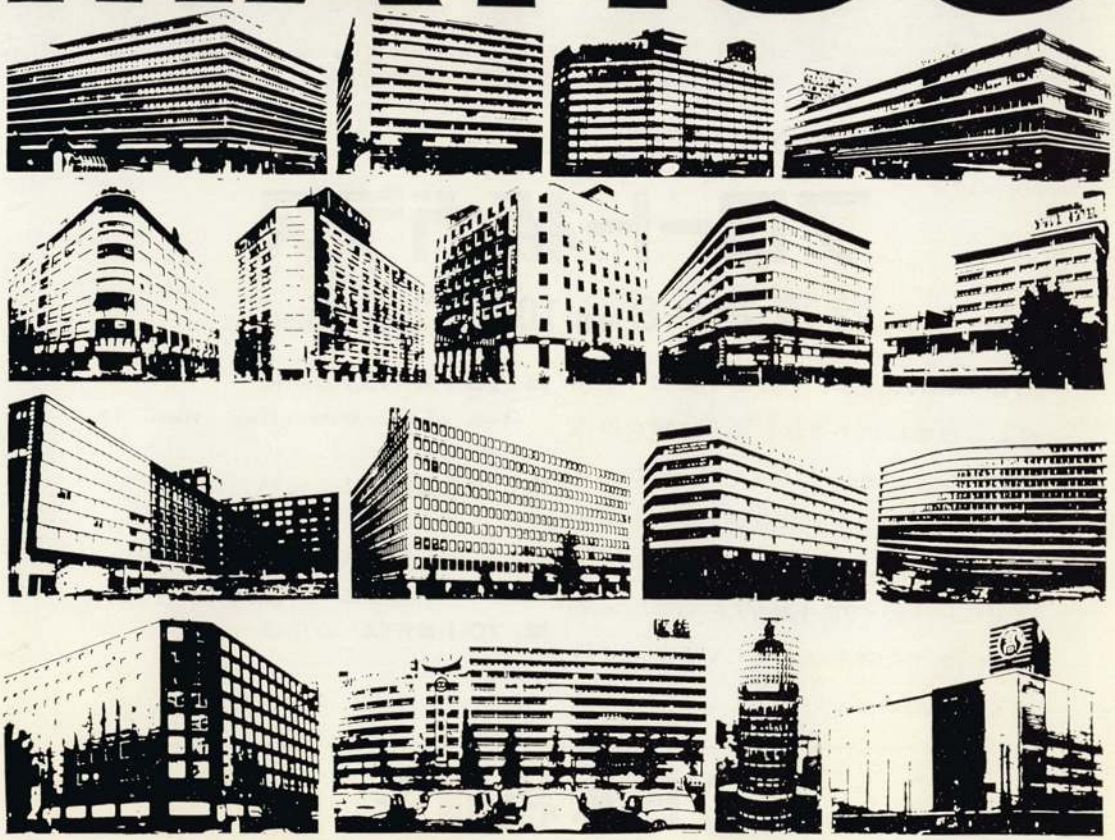
リノリューム・リノタイル・ビニラートタイル・マチコタイル・ナイアンリノタイル総発売元

東洋リノリユーム株式会社

床材の総合メーカー

大阪市南区船場雲町通り4の25三和ビル　■TEL大　阪(252)2921
東京都中央区銀座4丁目三和ビル　■TEL東　京(567)8341
名古屋市中区錦2丁目2-13名古屋センタービル　■TEL名古屋(231)5380
福岡市天神4丁目11267-2　■TEL福　岡(75)0425
広島市東観音町7番4号　■TEL広　島(31)6139

MATICO





フロート板ガラスは美しい眺望を、お約束します。

《世界で初めて発売》

フロート板ガラス

特厚物＝8mm 10mm 12mm 15mm

《フロート板ガラス》を、わが国ではじめて発売した日本板硝子では、さらに独自の技術によって、8mm 10mm 12mm 15mmを生産し、昭和41年8月世界ではじめて発売しました。

日本板硝子の《フロート板ガラス》は、3mmから15mmまでの各厚味がそろい、いっそう広くご利用いただけるようになりました

■《フロート板ガラス》の品種

3mm 5mm 6mm 8mm 10mm 12mm 15mm

■《フロート板ガラス》の特長

1．すぐれた光沢を持っています

2．まったくゆがみがありません

3．大きな寸法でご使用いただけます

■《フロート板ガラス》の用途

建築一般　ショーウインドー

ショーケース　鏡　車輌

日本板硝子

本社　大阪市東区道修町4−8　TEL.(202)1161　大阪支店　大阪市北区梅田8(新阪急ビル)TEL.(361)7131

《米国バレーメタル社と技術提携》

素晴しい美しさ

現代建築を彩る
カーテンウォール

すぐれた品質で定評あるダイケンサッシの各種製品は有名建築物に数多く採用されその実績を誇っています

サッシの綜合メーカー

ダイケンサッシ

本　社
堺市松屋町１－６　ＴＥＬ代㊳１１４１
風工場
堺市平岡町４８　ＴＥＬ代(7)１８６１
営業所
大阪・東京・名古屋・福岡・金沢・長野

●営業品目

アルミサッシ・ドア
ステンレスサッシ・ドア
スチールサッシ・ドア
住宅用アルミサッシ゛エリート゛
アルミレディーメード
サッシ・ドア



京都産業会館



ビニロイド防水を施工した工事中の富士銀行本店ビル

どんな地域でも　どんな構造の建物をつくっても完全な防水ができたら——それを実用化して　すでにすぐれた数々の実績を示しているのが〈**ビニロイド２号**〉です
防水下地にキレツができても破れず　寒冷地の冬にも丈夫で　どんな場所に使っても腐りません　それは弊社が合成繊維による不織布を独特な方法で加工した　技術の成果です
富士銀行本店ビルも**ビニロイド２号**による防水工事をご採用いただきました

営業品目　●ビニロイド防水工事　●アスファルト防水工事　●三星ソフトンタイル貼工事　●保温・保冷工事　●三星プラスオール　●三星コーキン販売・工事　●シポレックス工事

三星産業株式会社

東京都千代田区岩本町３－11－13
ＴＥＬ〈866〉0271～６・6121～９
出張所／札幌〈72〉6031　仙台〈21〉5366－７　名古屋〈941〉3751
〈971〉4574　大阪〈443〉9721　福岡〈76〉2076〈75〉0298



日満ゴムタイル

日満 ゴムタイル

主原料／合成ゴム、天然ゴム、安定剤、充填剤、顔料
色　種／39色
寸　法／大きさ 303㎜×303㎜・厚さ 3㎜ 5㎜ 6㎜ 9㎜
接着剤／日満ゴム糊
特　徴／色彩明眉、光沢優雅にして歩感快適、耐熱性高く床材としての必要な条件に最した弾性タイルです。
主な使用場所／諸官庁、会社、病院、学校、食堂、劇場、ホテル、邸宅、船舶、デパート、商店、エレベーター、その外一般に防音、防滑を必要とする個所

日満 筋入ゴムタイル

主原料／合成ゴム、天然ゴム、安定剤、充填剤、顔料
色　種／39色
寸　法／大きさ 303㎜×303㎜・厚さ 5㎜ 6㎜ 9㎜
特　徴／ゴムタイルの防滑性を一段と高め且つゴムタイルの特徴も兼ね備えたタイルです。
種　類／U字型5㎜溝と3㎜溝の2種あり　何れもA・B型に分れています。A型は溝端が舟底型になって塵埃の掃き出しを助けます。
主な使用場所／出入口の風除部、エレベーターの入口、スロープになった廊下、その他防滑および泥落しを目的とする場所

営業品目／ゴムタイル・ドッキングタイル・筋入りゴムシート・筋入りゴムタイル・ゴムノンスリップ・巾木・ゴムタイル 甍・直線ボーダー・階段用特殊タイルおよびボーダー

日満ゴムタイル商事株式会社
大阪市城東区古市南通１―39　電話(939) 3521代表

昼は 生活を 夜は やすらぎを 守りつづける

特許 鈴木式シヤタア



新装なった松坂屋大阪店に採用された鈴木シヤタアの数量　プラネ電動式シヤタア１０６カ所　カンイシヤタア１カ所

ビル建築にマッチしたプラネ®電動開閉機

●回転力に余裕のある電動機●防湿、防じん、高絶縁タイプ●耐寒、耐熱油充てん●電動、手動、自動降下が可能●ヒューズ装置をすれば自閉容易●小型で巻取り軸を中心に、円周いずれの位置にも取付可能

新　発　売

特殊鈴木式カンイシアタア ４０ピーアップ®シヤタア

●従来のカンイシヤタアにくらべ強度は３倍●内のり幅は５ｍまでとれしかも中柱不要●８～10m²まで一枚で使用可能

ピーアップ®ヒューズ 防火シヤタア

● 5m²まで一枚で使用可能●取付けそで壁150㎜以下で十分●平時は手動で開閉でき、火災時は自動的にしまるが、避難容易な特殊機構

株式会社 鈴木シヤタア商会
大阪市北区茶屋町３３　電話（371）４１５１～６
北陸営業所／金沢市長田町119　電話(21)2287

本　社　鈴木シヤタア工業株式会社　東京都豊島区巣鴨７―1545　電話（944)1111（大代表）



帝国劇場の天井
週刊朝日に菊田一夫氏が世界一の劇場とまで賞讃している帝国劇場の天井は、日進式特殊軽量鉄骨下地にボードとベニヤを張り上げたもので、弊社がご下命をうけて施工いたしました。
さきに開館された国立京都国際会館の天井も弊社がご下命をうけて施工したもので、その光栄を悦んでおります。

アルミニウムの諸工事

日立造船株式会社本社●広島銀行本店●ロイヤルホテル●福井県議事堂●東洋ビルディング●住友信託本社ビル●朝日放送●大分銀行本店●鹿児島県文化センター●大阪郵政局などご下命にあづかり施工しました。
引続き日本生命ＫＫ東館●伊藤忠東京ビル●ＮＨＫ大津放送会館●関西相互銀行本店などご用命を賜っております。

営業種目

日進式ラス下地軽量鉄骨天井・間仕切
日進式ボード用天井・間仕切
日進ＯＮ型ボード用天井・間仕切
日進式遮音パーティション
アルミニウム内外装諸工事
FLEXALUM通気性アルミニウム天井
可動アルミユニウォール・間仕切
日進式インサート・鋳物足付インサート
エンビインサート・日進式リブラス
日進式メタルラス・パールタイル
ミネラートン・ロックスター

株式会社
奥村重兵衛商店

大阪市北区木幡町60番地　ＴＥＬ大阪(364)4131(代)
福岡市住吉松月町２９３番地　ＴＥＬ福岡(29)０４５９
東京都太田区南馬込２の14の10　ＴＥＬ東京(772)７８５６
名古屋市中村区志摩町４の７　ＴＥＬ名古屋(551)３０１３

マルエス

日新

永久防水材
マルエス印
ルーフィング

信用第一
最高の品質

メルタン
ルーフィング

国内の気温較差の著しい所に於ても能くその苛酷な条件に抗して老化せず　特に寒冷地に於ける投術的困難は殆んど解決されたと云っても過言ではありません

特許
ビニエス
タイル

お部屋のポイントは床材から

明るい配色……
落ちついたムード

マルエスルーフイング製造元

日新工業株式会社

本　社　東京都足立区千住東町93　TEL東京(888)2101～9
大阪支店　大阪市西区新町北通1丁目40　TEL大阪(531)5281～3
出張所　名古屋 TEL名古屋(73)2135・広島 TEL中(2)1019
九　州 TEL福　岡(5)0768・札幌 TEL　(5)6885

東・西アス協組 統一年限仕様確立

強力ギルソイド アスタイト防水

■東アス・西アス両協組の連合を契機として全国統一の年限仕様としました。
■防水工事には最も信頼できるアスファルト防水として定評ある本協組仕様をご採用下さい。
■実績を誇る良心的な全国５０社の組合員が、ご用命をお待ちしています。

年限仕様（抜すい）

1　砂利撒屋上防水

仕様番号	勾配	下地材	耐用年限	押え方法	重量 kg/m²	単価 円/m²	建物の例
GC-210	1/100～1/12	コンクリート	12	砂利撒（屋上支給）	95	840	鉄筋住宅 事務所 工場等
GC-215	1/100～1/12		15		100	1,100	共同住宅 事務所 倉庫工場等

2　露出屋根防水

SC-210	1/25以上	コンクリート 鉄骨造 木毛(片) セメント板 P C 版	10	砂付シルバライト吹付又は彩色砂付	11	780	体育館 鉄筋住宅等
SC-215	1/25以上（面積中小）		15		14	960	共同住宅 学校 工場等
SC-215A	1/25以上（面積大）		15		14	1,240	重要度の高い発電所 食糧倉庫等
SG- 12	1/25以上		12	アスファルトシングル	15	1,110	共同住宅 体育館 倉庫工場等
AC-210	1/25以上		10	アルミン	9	980	鉄筋住宅 工場 体育館等

3　歩行用屋上防水

仕様番号	勾配	下地材	耐用年限	押え方法	重量 kg/m²	単価 円/m²	建物の例
PC-210	1/100～1/12	コンクリート	12	豆砂利コンクリート 90mm厚	249	660	店舗付住宅 車庫 娯楽場等
PC-215	1/100～1/12		15	1：3：6コンクリート 90mm厚	249	920	学校・ホテル 公民館 事務所等
PC-220	1/100～1/12		20	クリンカータイル	164	1,180	事務所 営業倉庫銀行 図書館等
PC-225	1/100～1/12		25	シンダーコンクリート80mm厚 クリンカータイル	274	1,340	発電所・学校 百貨店・病院等

4　室内地下防水

ID-201		コンクリート				700	便所 厨房 浴室
BH-201						1,040	地下室床
BV-201						1,280	地下室壁

（注）歩行用屋上防水の単価は防水層のみ

責任施工組合員名簿

（東アス協組員）

地区	組合員名	電話
北海道	(株) 浜建	札幌(26) 5676
	平産業株式会社	札幌(25) 7181
	(株) 札幌建材社	札幌(73) 1131
	(株) 亀田建材社	小樽(3) 2181
東北	(株) 山形建材	山形(2) 8161
	有馬アスファルト商会	仙台(23) 2663
	(株) 互幸商会	仙台(25) 7671
中部	八木商事株式会社	新潟(22) 3218
	北川瀝青工業(株)新潟営業所	新潟(45) 3526
	羽多野産業株式会社	松本(3) 8001
	坂田工業株式会社	長野(3) 2459
	桜井建材産業株式会社	静岡(54) 6211
	協同建材株式会社	浜松(54) 5461
関東	井上瀝青工業株式会社	東京(541) 1974・0964
	桑原建材株式会社	東京(368) 6973・8794
	(株) 小島工務店東京営業所	東京(821) 1050
	高山工業株式会社	東京(251) 0161
	中村瀝青工業株式会社	東京(892) 0131
	(株) 三柏商会	東京(251) 8867・
	(株) 山忠	水戸(2) 9151
	日本ガンツ工業(株)千葉営業所	千葉(82) 2430
	田島応用化工株式会社	東京(866)代表6101

（西アス協組員）

地区	組合員名	電話
近畿	(株) 久保商店	大阪(364) 0207～8・4836～7
	(株) 木下謹三商店	大阪(443)代表0115
	(株) 井上浄夫商店	大阪(441) 8531～5
	(株) 大和商会	大阪(631) 6221～4
	内外工業株式会社	大阪(641) 3434～6
	旭化建工業株式会社	大阪(371) 6555～7
	日本瀝青工業(株)大阪支店	大阪(361) 5496～8
	高山工業(株)大阪営業所	大阪(364) 9015
	石井建材有限会社	神戸(55) 2140・2697
	(株) 中出商会	神戸(55) 4630・4650
	タテバヤシ商会	京都(81) 0871～2
	田島応用化工(株)大阪営業所	大阪(441)代表5951
東海	岡田建材株式会社	名古屋(571) 7461～4
	(株) 名建商会	名古屋(261) 3671～3
	高橋建材店	名古屋(231) 3295・3431
	日東物産株式会社	名古屋(261) 2501代表
北陸	北川瀝青工業株式会社	金沢(41) 1131～5
	北川瀝青工業(株)富山出張所	富山(21) 2218 (41) 0391
	北川瀝青工業(株)福井出張所	福井(23) 1134
	(株) 小島工務店	高岡(3) 2463
中国・四国	青盛建材株式会社	広島(21) 2281～7
	青盛建材(株)岡山営業所	岡山(23) 8285～7
	(有) 小野甚商店	岡山(22) 4272
	(株) 浜原豊商店	尾道 2760
	(株) 浜原豊商店防府支店	防府(2) 3611
	古市段熱工業株式会社	高松(3) 5034
	正和商事株式会社	松山(2) 8161～5
九州	青盛建材(株)福岡営業所	福岡(28) 5566～8
	高稲工業株式会社	長崎(4) 1726
	高稲工業(株)北九州営業所	小倉(53) 6337
	石素産業株式会社	福岡(53) 5761～2
	高稲工業(株)熊本出張所	熊本(2) 1098・9464
	高稲工業(株)大分出張所	大分(2) 3877

建設省東計65号認可　東日本アスファルト事業協同組合
建設省阪建22号認可　西日本アスファルト事業協同組合

東京・千代田区岩本町３の11の13田島応用内　TEL代表(866) 6101
大阪・大阪市西区京町堀１の７４　TEL代表(441) 5951
札幌・TEL (22) 6038　福岡・TEL (28) 2807
仙台・TEL (22) 6413　広島・TEL (21) 2281
名古屋・TEL (571) 6361　岡山・TEL (24) 2692

完全責任施工 | 年限保証

BK 日本アスのアスファルト防水

■シグマートによるウエルドシステム防水工法
■特殊絶縁防水工法（特許出願中）
■メルタン防水工法

■全国に配置された組合員の強力な連繋と技術
で完全な施工工事をお引受けいたします。

地区別	会社名	代表者	住所	電話
北海道地区	日本スレート株式会社	仲川 憲吉	札幌市北三条東４－１	（22）3458・4426（23）8016
	日新建工株式会社札幌出張所	大木 久俊	〃 南大通り西13丁目	（22）５０１５
東北地区	日新建工株式会社仙台出張所	滝沢 慶則	仙台市二日町１－２	（25）５４３１代
関東地区	伊藤建材株式会社	伊藤 豊吉	東京都台東区西浅草２－15－９	(841) 5646・5729
	北条運青工業株式会社	北条 弘太	〃 中央区湊町３－７	(551) 2676・4382
	有限会社金岡興業	金岡辰次郎	〃 新宿区柏木５－1172	(363) ４３４１代
	渥青建材株式会社	山中喜代治	〃 千代田区神田佐久間町河岸51号	(866) 6993・2892
	日新建工株式会社	荻野 英夫	〃 荒川区南千住６－42	(803) 2411～５
	日本綜合防水株式会社	山崎 慎二	〃 千代田区神田猿楽町１－９	(292) ２６６１代
	マサル渥青工業株式会社	西田 勝治	〃 台東区北上野２－21－10	(842) ６３１１代
	藤井工業株式会社	藤井 喜昌	〃 文京区林町94	(941) 0271・2582
	富鶴土田工業株式会社	小島 英夫	〃 江東区深川住吉町１－14	(634) 0950・0900
	木下工業株式会社	鶴田 武一	〃 千代田区富士見町１－12	(263) ４８６１代
	野口材料株式会社	木下 一	〃 墨田区江東橋４－32	(634) ０８２１代
	大和工業株式会社	野口 伝八	〃 渋谷区下通り３－15	(441) 3751 (444)0405
	協立工業株式会社	榆井 喜重	〃 荒川区南千住６－151－２	(802) ４７５１代
	株式会社奈良屋商店	関谷 克巳	〃 大田区南蒲田１－14－２	(731) 0358 (738)3401
	石田建材工業株式会社	市橋 祐造	水戸市泉町1009	（３）0171～６
	同和建業株式会社	石田 想吉	高崎市八島町117	（２）3301～２
		徳永 昭二	新潟市流作場宮浦１－1711	（45）２２５１代
北陸地区	島屋建設株式会社	島 勝人	金沢市此花町５－７	（21）0085 （31）6420
	有限会社折橋政次郎商店	折橋彌一郎	富山県高岡市二番丁	（２）０９９９
	有限社会小島工業所	小島 一公	〃 志貴野２５	（３）０３９１
	大和工業株式会社富山営業所	島田 真一	富山市堀川小泉町７７６	（31）４３８５
東海地区	株式会社三井工業所	三井 辰雄	静岡市大和町１－20	（85）9151～３
	協和建材工業株式会社	渡辺 亘	清水市渋川５２０	（２）２２２１代
	中央建材工業株式会社	木下 作二	名古屋市中区南久屋町３－12	（251）３５４１
	日本建材興業株式会社	伊藤 隆造	〃 西区南押切５－３	(571) 代5541～４
	宮崎建材店	宮崎 勇	〃 中区伊勢山町１００	(321) 1311・1331
近畿地区	日新工材株式会社	井場 績	大阪市西区新町北通１－17	(541) 3785～６
	マルエス工業株式会社	山崎 達夫	〃 福島区上福南１－152	(458) 4841～３
	株式会社新光商店	松本 重治	〃 南区塩町通２－13	(261) 7195～７
	清水興業株式会社	清水 実	〃 北区鶴野町３４	(371) 0251～３
	マルサ渥青工業株式会社大阪営業所	勝見 勲	尼崎市水堂加茂６４	(481) ７３５５
	中村渥青工業株式会社	中村秋太郎	神戸市生田区北長狭通６丁目神鐵共栄ビル	(34) 5884・5658
	棚田建材有限会社	棚田 秀吉	〃 葺合区上筒井通８－221	(22) 9182代
	フタバ興業株式会社	友長 保男	大阪市福島区上福島北４－49	(458) 0267・0277 (451) 6089
	石橋建材株式会社	石橋 節雄	福井市松ケ枝町６２	(23) ０７７５
中国地区	豊永建材株式会社	木村 豊	広島市若草町１０６５	(61) 6371～４
	大和工業株式会社広島出張所		〃 庚午南町１－２	(71) ４６８７
	株式会社三洋技建	谷岡 肇	広島県大竹市小方町小方２４５５	(２) ３５４３
	東中国防水工業有限会社	馬場 久	岡山市磨屋町７－18	(23) １１８１代
四国地区	株式会社山本商会	山本 進	松山市三番町７－８－１山本ビル	（３）6261～３
	大三工業株式会社	飯間 浅吉	高松市本町２－17	（２）００１６代
	高知渥青株式会社	幡井 良一	高知市塩屋崎町２－20	（２）３２４４
	徳島大三工業株式会社	柴田 秋男	徳島市矢三町東野181－１	（４）４１６１
九州地区	日新興業株式会社	河野 孝義	延岡市本小路７４	４３０５・４３０６
	株式会社工材社	竹村 藤一	北九州市門司区大里東通10丁目	(38) 1468～９
	株式会社大二商会	戸高 藤雄	宮崎市和知川原３６５	（２）５００１
	株式会社北原建材商会	北原 正	鹿児島市草牟田町３９８０	（３）9395～６
	安藤工事株式会社	川勝 正之	福岡市大浜１－新町９５	(28) 5207・6968
	日建工材株式会社	進藤 博一	〃 大手門２－８－６	(75) ７７５２

■建設省東計第240号認可

日本アスファルト防水工業協同組合

東京都足立区千住東町９３　日新工業株式会社内　電話（888）２１０１(代)
関東支部　東京都足立区千住東町93　日新工業株式会社内　電話（888）２１０１(代)
関西支部　大阪市西区新町北通1－18日新工業株式会社大阪支店内　電話(531)5281－３
九州支部　福岡市大手門１の６　日新工業株式会社九州出張所内　電話（74）３４６１

使って安心 近代建築材

40年の歴史と最新技術の産物

特許● 耐酸・耐アルカリひふく鉄板

オリエンタルメタル

ガスにも
熱にも
酸・薬品にも
大丈夫です

●永久建材の超ひふく鉄板

スーパーオリエンタルメタル (SPM)

カラースーパーオリエンタルメタル (CSPM)

新時代にマッチした
各種のカラー製品があります

法定不燃焼

責任施工・型録送呈

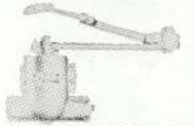
オリエンタルメタル製造株式会社

本社・大阪支店及尼崎工場
兵庫県尼崎市長洲字稲川新田44 電話 大阪 (481) 代表 8085～9

東京支店並工場 埼玉県蕨市大字塚越1620 電話 蕨 (32) 3115～7
支店・出張所 郡山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・敦賀・三原・徳島・徳山

NEW★STAR


ドアチェック 60シリーズ


ドアチェック 70シリーズ


ドアチェック 80シリーズ


フロアヒンジ

その他
ラバトリヒンジ
ピボットヒンジ
ドアハンドル

NEW★STAR



新発売 品質・性能共に定評ある

ニュースターオートドア

(スイング式・スライド式)



生産高日本一

日本ドアーチエック製造株式會社

本社工場	大阪市生野区巽矢柄町222	電話(758)	1251(代)
東京支店	東京都千代田区神田小川町2－12(信愛ビル)	電話(293)	4831～5
札幌出張所	札幌市月寒中央通り月寒314－1	電話(86)	8255～6
名古屋出張所	名古屋市東区高岳町1－11	電話(961)	5771～3
広島出張所	広島県安佐郡佐東町緑井205	電話(広島八木局)106	
福岡出張所	福岡市天神4丁目4番24	電話(74)	2372・3312



30年の技術が生きている！

車輌用のオートドアを作って30年の歴史をもつダイハツが、その優れた技術を駆使して開発した建物用オートドア。
ホテルから工場まで近代建築の陰の立役者として活躍しています。

ダイハツ

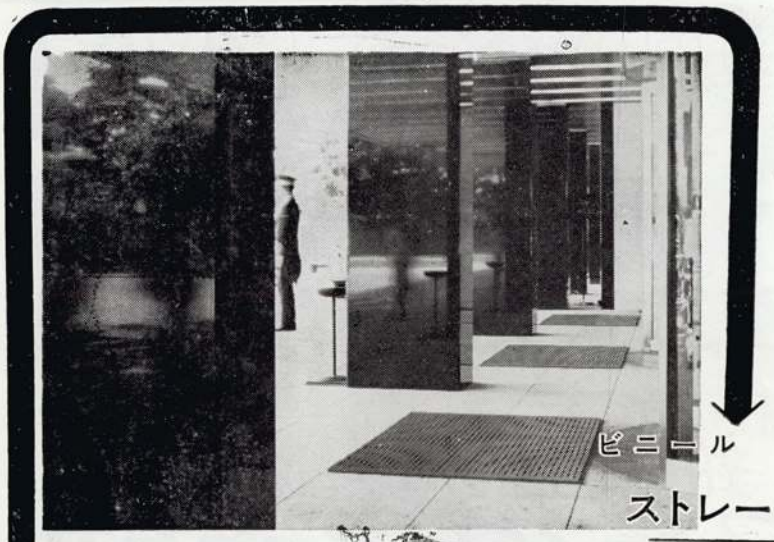
オートドア



発売元 株式会社 ニッカナ

東京都中央区日本橋本町2－7（信和ビル内） TEL（241）1301（代表）
大阪営業所 大阪市西区新町通り4－39 TEL（531）4776（代表）
駐在所 札幌・名古屋・福岡

製造元 ダイハツディーゼル株式會社

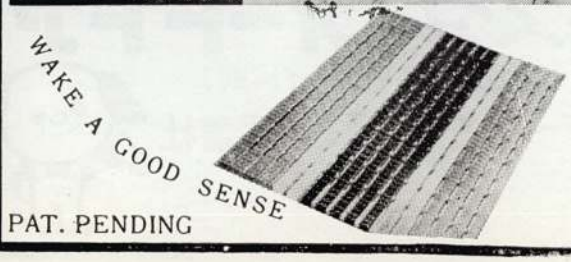


JEWELRY COLORS IN

グッドセンスを
敷こう
ストレートで
行こう

ビニール

ストレート ライン マット



WAKE A GOOD SENSE

PAT. PENDING

ミツシマ

近代おそうじ百貨
ミツシマ工業株式会社

本社久世工場／京都分工場
営業所・東京都中央区日本橋芳町一の5・(666) 4714
・名古屋市昭和区車田町2の22・(731) 5138
・京都市中京区蛸薬師通烏丸西入・(22) 5363
・大阪市西区北堀江上通一丁目・(531) 3514
・福岡市須崎町13番22号・(29) 2706

通常払込料金加入者負担

払込通知票

		十	万	千	百	十	番
口座番号	※ 大阪		3	9	9	7	5
加入者名	※ 日本建築協会						
金額	※	億	千	百	十	万	千	百	十	円
払込人住所氏名	※									
備考										

受付局日附印

（郵政省）

各票の※印欄は、払込人において記載して下さい。

文字は正確、明りように、数字はアラビヤ数字を使つてお書き下さい。

通常払込料金加入者負担

払込票

		十	万	千	百	十	番
口座番号	※ 大阪		3	9	9	7	5
加入者名	※ 日本建築協会						
金額	※	億	千	百	十	万	千	百	十	円
払込人住所氏名	※									
料金	払込 円 / 特殊 円									
備考										

受付局日附印

（郵政省）

局番号印

記載事項を訂正した場合は、その箇所に証印して下さい。
各票の記載事項に間違いのないことをお確め下さい。

大阪市東区北浜三丁目三七
社団法人 日本建築協会
電話大阪(231)九六四〇番

この欄は、加入者あての通信にお使い下さい。

通　信　欄

¥　　円也

創立50周年記念事業資金　　口分

◀創立50周年記念事業の実施について

明年（昭和42年）3月30日は日本建築協会の創立50周年に当り，誠に感慨深いものがあります。従来記念の年に際しては，15周年，25周年，35周年，45周年とそれぞれ本会の発展を祝して各種の記念事業を行なってまいりましたが，明年も従前の例に做って概要下記のとおり記念事業を行ないたいと企画を進めております。過去を顧みて先輩諸氏のご苦労を偲び，将来を想って本会今後一段の向上発展を念じ，全会員の力を結集して充実した記念事業を行ない，もってこの記念する年を有意義に祝したいと存じます。

つきましては，本記念事業の実施については相当多額の資金を要しますこととて，全会員の絶大なご後援ご協力をお願い申し上げたく存じます。時節柄大変ご迷惑でございますが，何卒創立50周年を記念するため事業資金の募集につき，よろしくご高配を賜わりますようお願い申し上げます。

記

1. **記念事業と担当委員長**

- 記念事業委員長　副会長　塚本　猛次君
  同　副委員長　同　竹中　錬一君
- 財務委員会　委員長　理　事　鴻池　藤一君
  事業資金の募集，予算，決算の実施
- 総務委員会　委員長　理　事　増井　敏克君
  記念式典，表彰式，祝賀会（以上3月30日）
  慰霊祭（6月），展覧会，講演会，特別見学会
  運動会（以上3月～6月）など実施
- 記念物建造準備委員会
  委員長　理　事　岡橋作太郎君
- 「建築と社会」記念号編集特別委員会
  委員長　滝沢　真弓君
- 記念出版委員会
  委員長　理　事　田中良太郎君

1. **事業予算**　約 700万円

1. **募金方法**　個人会員　1口　500円

挟込み用紙にてなるべく数口お願い申し上げます。

以上

◀創立50周年記念事業委員委嘱

（順不同，敬称略，◎印委員長　○印副委員長　△主査　▲幹事）

委員会	氏名
総括	◎塚本猛次　○竹中錬一（代理　神谷新一）
財務委員会	◎鴻池　藤一　○浅沼猪之吉　○横田喜一郎
	○菅谷　三郎　○梶本　秀尾　○佐野　正一
	伴　一郎　田中　政二　福田　朝生
	光安　義光　木下　晴一　古林　義敦
	松田　昌平　一円　俊郎
総務委員会	◎増井　敏克　○岩下　久哉　○岡本　弘
	○佐野　正一　○政岡　基次　○山本　義樹
（記念式典）	△矢野　豊作　▲谷川　丈夫　小泉　豊
	佐孝　義治　坂内　幾男　鈴木　洋也
	田中　隆
（祝賀会）	△山本　義樹　▲尾亀清四郎　審　忠夫
	木村　博己　小川　博三　原田　守蔵
	平田作太郎
（表彰式）	△岡本　弘　▲中原　茂　佐々木　保
	篠原　太郎　田森　信夫　松村　慶三
	松村志津男
（慰霊祭）	△政岡　基次　▲村島　彰　打浪　政信
	大橋　一夫　松本　宇一　道田泰治郎
	三宅　昭栄
（展覧会）	△佐野　正一　▲谷口　尚武　小角　亨
	上野　賢三　近藤　護　斎藤　暢
	西川幸之輔　山本　茂
（講演会）	△岩下　久哉　▲浅香　久春　相川　三郎
	池田　博　上田　稔　田沢　昭一
	渡辺　英秋
（見学会）	△中出　俊郎　▲金子　敏男　駒　日出男
	小嶋　宏　中村　信夫　林野　全孝
	森田　孝雄　喜多　聖泰　久保田進也
（運動会）	△窪田　裕　▲星野　二郎　木村　輝久
	佐藤　泰　滝川　公策　能勢　次郎
	和田　克朗　上野　豊　南　次郎
記念物建設準備委員会	◎岡橋作太郎　後藤　典夫　西村　栄一
	足立　孝　浦辺鎮太郎　小川　正
	西嶋徳太郎　福田　朝生　森　忠一
50周年記念号編集特別委員会	◎滝沢　真弓　▲政岡基次　▲長谷川哲之助
	▲野々村五四男　▲林野全孝　浅野　清
	近藤　豊　内田　成之　桐本　楠雅
	塚本喜八郎　堀口　甚吉　島田　勝次
	武曽　一郎　田中　孝男　坂本勝比古
	小西　岬　土居　一雄　岡本　弘
	古林　義敦　一円　俊郎　栗林　一馬
	井手　正雄　宮飼　克二　松田　昌平
	岩崎甚太郎
記念出版委員会	◎田中良太郎　伊藤　克二　石崎　滝雄
	長沢　徹夫　吉川　剛夫

建築基準法にフリーパスのガラス屋根

特許　内外式
電動ベンチレーター

屋上強制換気装置のパイオニヤ
ご信頼におこたえできる
行届いた設計施工

内外建材株式会社

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）TEL(441)3983・4396
工場　大阪市城東区天王田町1の141　TEL (962)1149

内外式スカイライト
工場・プラットホーム・
体育館・アーケードに最適

内外式 連続採光換気装置
コンチニアスベンチレーター
筒型各種ベンチレーター
設計　施工

◀会 員 の 受 賞

このたび下記会員諸氏は，建設関係功労者および科学技術功労者として，建設省ならびに科学技術庁よりそれぞれ黄綬褒章をうけられました。ここに誌してその栄誉をお慶び申し上げます。

（建設関係功労者）

久保　幸一氏　（株式会社久保商店代表取締役）

佐村木　実氏　（佐村木商店代表社員）

（科学技術功労者）

横田　辰三氏　（株式会社満点製作所社長）

◀4会連合協定・第6次改正「工事請負契約約款」発売

日本建築学会・日本建築協会・日本建築協会および全国建設業協会による「4会連合工事請負契約約款改正委員会」が3年有半の歳月を費して検討の結果，このほど改正が終わりました。

民間契約約款として，公正な請負契約を締結するためにこの約款をご利用ください。

1. 体　裁　　B5判，契約書および約款14頁
2. 頒　価　　1部30円
3. 送　料　　1部15円
4. 頒布所　　日本建築学会資料頒布所，学会支部（学会・家協会共同窓口），全国建設業協会および道府県建設業協会，日本建築協会

日本建築協会でも 発売していますのでご利用ください。なお「改正案ならびにその理由」の記載は省略しますが，お知りになりたい方は事務局までご来会ください。

◀会員名簿の発行

11月発行予定の日本建築協会1967年版会員名簿は，できあがり次第，個人会員ならびに団体会員に配布いたします。なお準会員でご入用の方はハガキにてお申込みください。

◀モントリオール万国博視察団募集

日本建築協会創立50周年記念事業のひとつとして，標記視察団派遣を下記要領で行なうことになりましたので参加希望者は事務局までお申込みください。

旅行期間　昭和42年5月24日(水)→6月6日(火)，14日間

募集人員　70名

参加費用　388,000円

申込〆切　昭和42年1月31日

申込方法　申込書（事務局にあり）と申込金35,000円を添えて事務局（大阪市東区北浜3日本建築協会）へ願います。

視察団日程　東京発（5月24日）—モントリオール（5月25日～29日）—ニューヨーク（5月30日～31日）—ワシントン（6月1日）—シカゴ（6月2日～3日）—ロスアンゼルス（6月4日～5日）—東京着（6月6日）

会場でのセミナー　西山卯三京大教授，モントリオール万博関係者等を交えてのセミナーを現地で企画しています。

◀「建築見積りハンドブック」出版記念・建築見積り・ゼミナール

「建築見積りハンドブック」（監修棚橋諒）の出版を記念して下記ゼミを開催します。

共　催：大阪建設業協会，日本建築家協会関西支部，日本建築学会近畿支部，日本建築協会，日本建築材料協会，大阪府建築士会

期　間：昭和41年11月22・24～26日の4日間（各日共午後1時～5時）

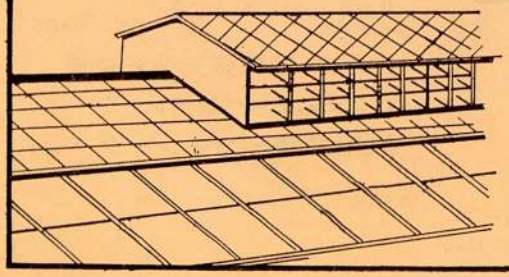
会　場：大阪建設会館・6階集会室（大阪市東区京橋3丁目70）

定　員：80名

聴講料：5,500円

申　込：各会事務局へお申込みください。

岩元式　スカイライト並固定筒型コンチニアスベンチレーター



サッシュ、ドアー、シャッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工

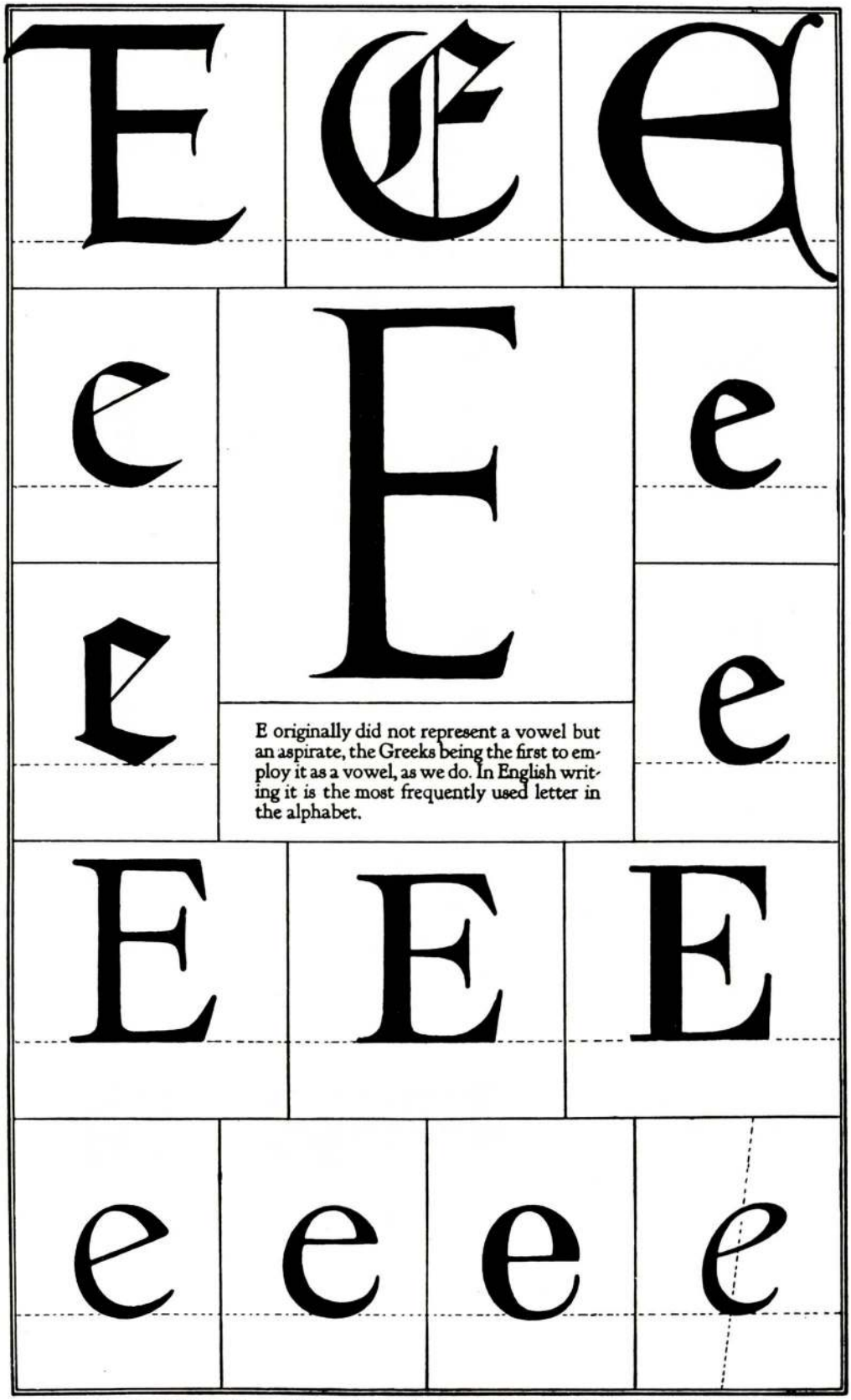
カタログ進呈

岩元工業株式会社
本社　大阪市東成区東今里町4の40
電話(981)0616～0618



レタリング

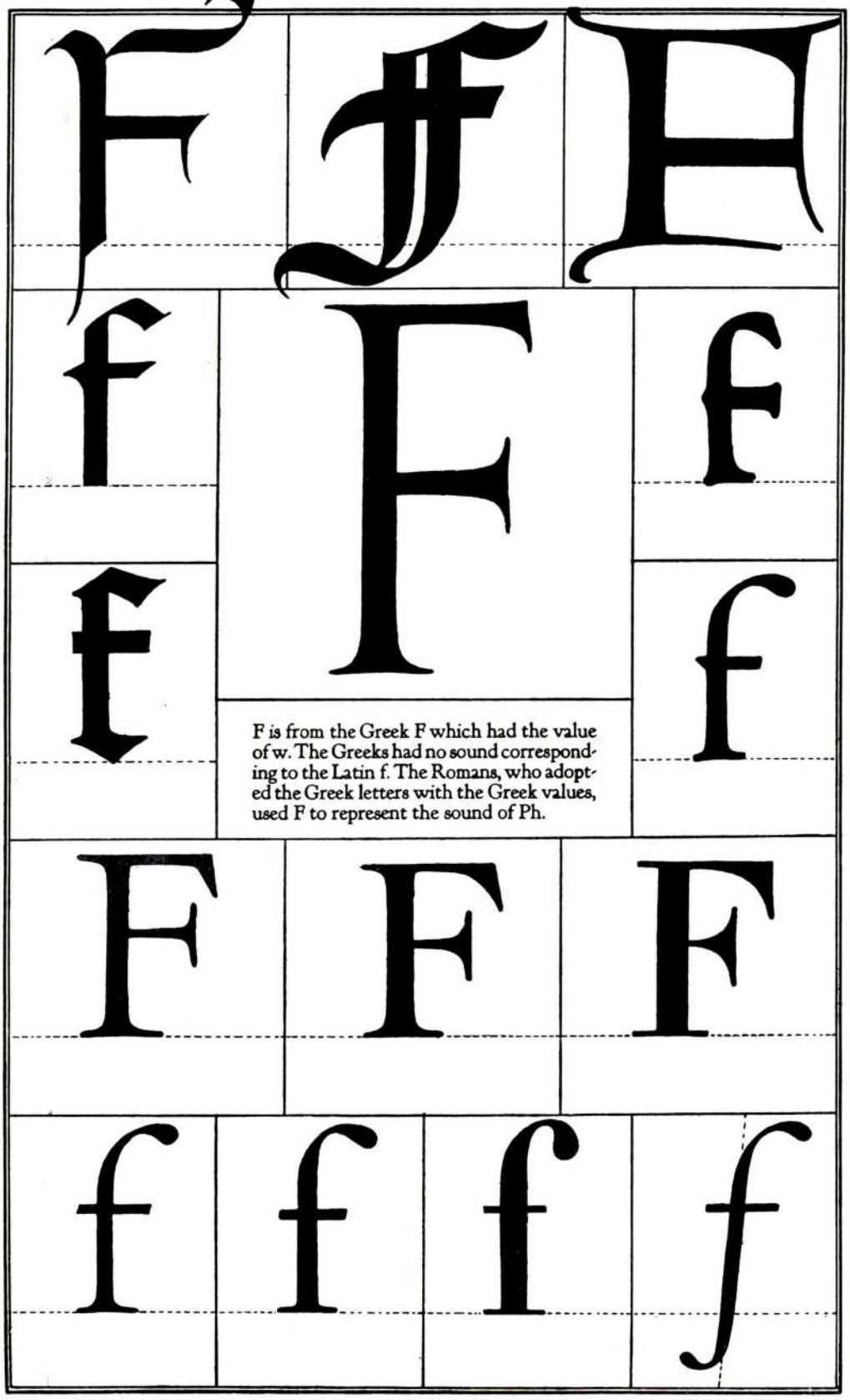
E



E．Eは元来母音を表したのではなく、気音を表しており、現在のように母音として使うようになったのは、ギリシヤ人が初めてである。英語においては、これはアルファベット中最も使用頻度の高い文字である。

きりとり線

・お詫び・9月号のレタリングAの内No.5に当る文字にインキがついていたことをお詫びいたします。



F．Fはギリシヤ語のFから来たものでWと同等のものであった。ギリシヤ人はラテン語fに相当する音は持っていなかった。ローマ人がギリシヤ人からギリシヤ語と同じものを表すものとしてとり入れ、phの音を表すものとしてFを用いたのである。

きりとり線

〈近日発売〉



換気だけではありません

プラス循環！

おどろくほど
暖房効果を高めます！

お部屋で ストーブをたくとせっかくの暖気が ドンドン上へのぼって、下との温度差が10°にもなります。
新形換気扇〈14RAY〉には、吸排気のほかに、お部屋の空気をかきまぜて、この温度差をスッカリなくす画期的な働きが加わりました。

- 音がだんぜん静かです！
- 居間・お座敷・応接間にふさわしい格調高いデザイン！

ナショナル
松下電器

FV—14RAY
排気・吸気・循環
現金正価 **13,500円**
月賦定価〈8回〉
14,500円

ナショナル 居間用 換気扇



施工例　神戸市役所分庁舎

陶磁器粉の吹付

セラスキン
セラコート
セラカット

山本窯業化工株式会社

大阪市東淀川区西淡路町3－176　TEL (322) 4851～4
東京出張所・東京都港区西新橋2－21－6　TEL (431) 7106～7
瀬戸工場・愛知県瀬戸市大字山口字南山138　TEL (82) 8847

読者の頁

投稿を歓迎します。ハガキでお寄せ下さい。
けいさいの分には粗品進呈。

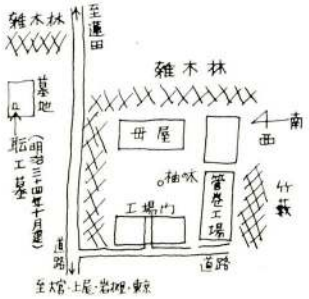
☆　★　☆

□ 続・明治中期の機織工場 □

8月号本欄の「明治中期の機織工場」の中で，「職工事情では工場4棟（中略）現在は」と書きながら，スペースに気を奪われて不明瞭な文にしてしまった。8月号の工場門は4棟の内の1棟だけである。後の3棟の内2棟だけはあったことがはっきり解っているが，最後の1棟がどうしても不明で，あるいはこれは今も残っている母屋のことかもしれない。その配置図は下のようになる。

工場は明治30年頃始まったが，35年12月に女工虐待事件が発覚して官憲の手入れを受け41年に廃業した。当時の当主は黒須文五郎といい，今の当主は文三さんといって，文五郎の孫に当り，工場廃業の明治41年生れだそうだ。その文三さんが物心ついた時工場一つ（下の図の空白の建物）は既に取壊されて跡形もなかったそうだ。管巻工場はその後堆肥小舎に使っていたが，戦後固定資産税が掛ったりするので，文三さんの父の吉之亟氏が取壊したという。

今その跡は半分程空地になり，半分程竹藪が延びてきている。この管巻工場は道路に面して幅5間，奥行7間。主柱の高さ1丈3尺。平家だが，南・西二側は両端3尺づつを残してグルリと腰窓で取り巻き，中はかなり明るかったという。取壊されるまで手動座繰機が1台保存されていたというが，今はない。



（東京都北区神谷2ノ22ノ13　須藤欣二）

☆　★　☆

□ 元良勲教授逝去 □



大阪工業大学の工学博士・元良勲教授が，さる9月25日午前3時30分永眠された。死因は脳出血，享年66才であった。葬儀は，9月26日，京都松ケ崎の自宅において，しめやかに行なわれ，また，10月15日大阪工業大学において建築科主催の追悼供養が行なわれた。

教授は，第一高等学校を経え，京都帝大建築科を大正14年に卒業，大学院で研鑽をつまれると共に，大阪市に入られ，技師として，とくに橋梁設計に手腕を発揮された。その後海軍に入られ，技術中佐となり，復員後は，和田組を経て，摂南高等学校長につかれた。昭和24年の大学昇格後，教授として，建築学科の創設に参加されるとともに，幾たびか教室主任として大学の充実発展につとめられ，昭和40年，大学院開設にともない，その指導教授として，後進学徒の指導にあたっておられた。

なお，日本建築協会，日本建築学会の評議員などもつとめられたこともあり，とくに，日本建築学会近畿支部長（36〜37年）として，学界のために大きな貢献をされたことはみんなの記憶に新らしい。

☆　★　☆

□ 故元良勲先生をしのぶよすがに □

あまりにも突然のことで，書くべき言葉を知らない。

先生をしのぶに，筆者ごときが万言をついやすとも，先生の一文を記すにしかず。

短文を「橋梁意匠15年※」より選ぶ。

一読すれば，人それぞれの哀惜の情，追悼の念，より深いものがあろう。

『橋は都市風景の大切な要素であろう。縦の方向に延びた建築群に対して，横一文字の構造はよく対照的な構成を形造る。といっても，橋は建築ほどは目立たない。派手な高音部に対する地味な低音部とでもいうか，蔭の役廻りをしているようである。また，それでよいのだと思う。それと気づかず，さればといってなくては淋しいと印象づけられればよいのだと思う。それにしても，橋にたいしては，もっと建築家の厳しい，しかし好意ある眼が向けられるべきなのではないか。与えられた紙数で一人よがりの過去を語るよりも，進んでこの点を強く訴えて擱筆する』

※建築と社会，昭和33年1月，正月随想「関西の建築歴史を語る」の内

（大阪工業大学　福島正人）

☆　★　☆

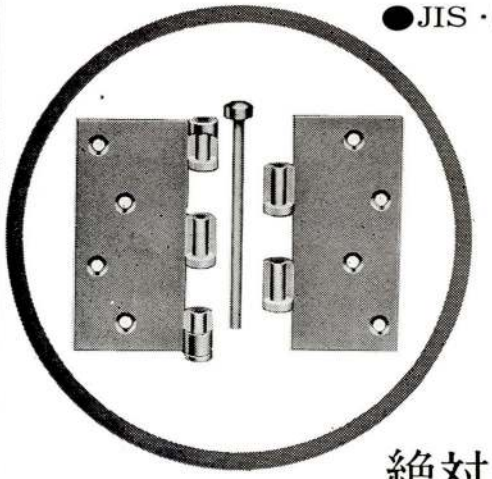
□ モスクワ建設15年計画 □

先日の朝日新聞に特派員からの，モスクワの都市計画についての記事が載っていた。それによると，モスクワでは，革命50周年を来年にひかえ画期的な大都市計画がねられているそうである。革命後1回目の都市計画（1935年から15年間）が，第二次大戦で中断し，1950年から10年間に縮めて実施したが，満足したものでなかった。今回，新らしく15年間にわたって実施される都市計画の最大の課題は，これ以上人口をふやさないことである。現在の650万人は1980年にもせいぜい680万人に押える。そのためにも，どんな企業も工場も，市内には建てさせないという徹底した策をとるそうである。また市の境界線の外側環状線の周辺1万ヘクタールの緑地（森と原野）はそのまま手をつけずに残しておこうということである。大グリーン・ベルトの構想や，モスクワ川の浄化なども興味あることだ。　（M）

セリ上がり防止付・湿気の多い場所にも安心して使用出来るヒンジ！

NR-64 パイオニアヒンジ

●JIS・G3307（SPH-1）鋼材を使用した!!



■軸芯のせり上がりが完全防止されています。
■ナックルの断面に同一金属の接触がないので軸芯内の錆びが生じません。
■東レナイロンを鍔付ブッシュにしてナックル内の軸芯の軸受としてはめ合せしていますから摩擦係数が少なく自己潤滑性に優れドアーの開閉が円滑で横振れなくキシム様な音を立てず注油の必要がありません。
■アート独特の防錆塗装仕上により完全防錆と美しい仕上り品質を備えています。
■仕上色彩、パールカラー

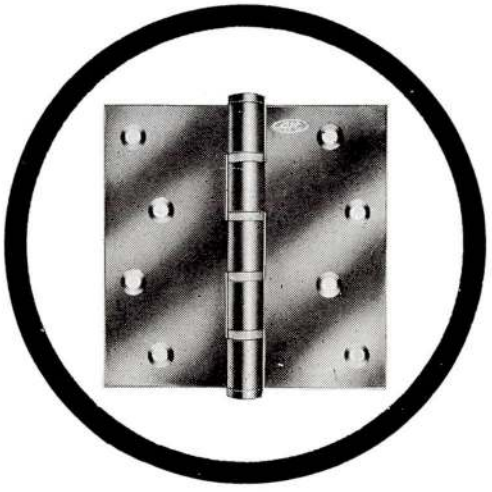
絶対に錆びないヒンジです

●18－8 ステンレス鋼を使用した

ST-64 マリンヒンジ

きしむ様な音が全然しません

●デルリンブッシュ入りですのでドアーの開閉が円滑で横振れなく注油の必要がありません
●温度の急徴な変化衝撃にも強いです●耐蝕性，耐錆性，耐熱性，耐摩耗性に優れています
●表面仕上はNo.4仕上です●施工が容易です



●ＪＩＳ規格表示許可工場　日本住宅公団指定メーカー

永和工業株式会社

本　社　大阪市生野区巽矢柄町１２８　TEL 大阪(751)1271～5
工　場　大阪府枚岡市布市町５０　TEL 枚岡(81)５５６６
東　京　東京都中央区日本橋本町4－4　TEL 東京(663)６７４８
営業所　（クラウンビル内）

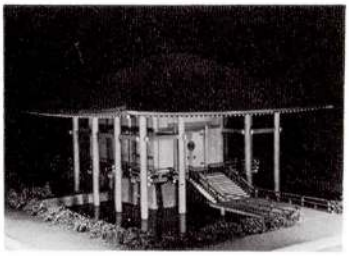
建築と社会

ニュース

ニュースをお送りください

■建設中の中宮寺宝蔵庫

吉田五十八研究室の設計になる中宮寺宝蔵庫が，目下，奈良県生駒郡法隆寺で建設中である。RC造1階建，屋根鉄骨造銅板葺，面積177.74



m²である。外装はコンクリート打放し，ビニールペンキ仕上。工期は昭和41年5月着工し，昭和42年5月竣工予定である。施工はKK大林組。

■大阪市立大学工学部校舎完成

（下の写真）

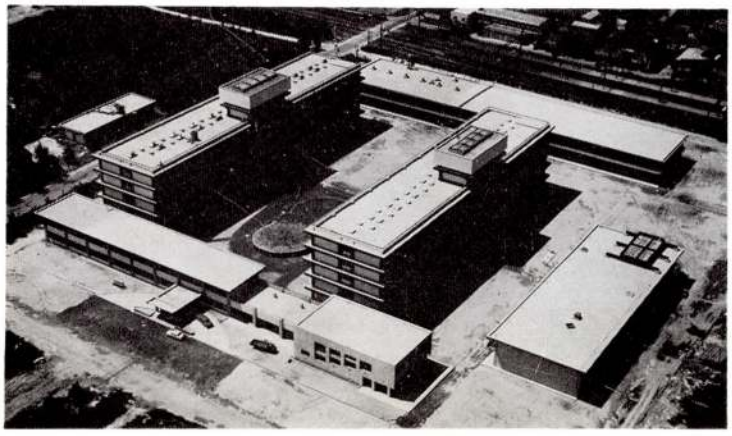
大阪市立大学工学部の学舎が，大阪市住吉区杉本町の同大学本部北西すみに完成され，去る10月25日午前10時から，中馬馨大阪市長，渡瀬譲学長，浅野清工学部長ら関係者多数が出席して完工式が行なわれた。

新学舎は37年から工費7億9千2百万で建設され，RC造2階建の管理棟1棟（延面積1,207.29m²），RC造5階建の研究棟2棟（延面積14,531.70m²），RC造2階建の実験棟1棟（延面積2,784.00m²）および附属建物（延42.72m²）でなり，総延面積18,565.71m²の規模である。

去る39年の第1期工事完成で，電気，応用化学，応用物理の三学科が移り，こんどの完成で，建築，土木，機械の三学科が移転し，工学部の六学科が全部，杉本町に統合されいままでのミタコ足大学ミの悩みを解消することとなった。

設計は大阪市建築局と中沢建築事務所，監理は大阪市建築局，施工は建築工事：新工務所，電気工事：浅海電気，給排水工事：西川商会である。

なお，大阪市では，このあと，いまだに分散している大阪市西区白髪橋の家政学部，扇町の理学部の学舎を43年度までに建設，統合する予定である。



■関西都市・住宅会議主催の万博会場計画報告会

第7回を迎えた今年の関西都市・住宅会議（旧都市・住宅研修会）は10月26日大手前国民会館において「日本万国博覧会々場計画最終案報告会」というテーマで，関西建築友好8団体共催のもとに，1,300名の参加者を得て盛大に行なわれた。

先づ最初に上田篤(京大)，曽和幸一（東大）両氏より最終案についての報告が行なわれ，続いて浦辺鎮太



郎氏の司会によって，西山卯三氏から「テーマと会場計画」を，ユーモアを交えて話された後，丹下健三氏より「会場計画の基本構想」と題してミお祭り広場ミなどを中心に懇切な説明があった。竹腰健造，東畑謙三両氏よりは「計画の問題点」について，計画案の素晴しさ，鉄軌道，跡地利用の問題，エッフェルやコルビジェの実例をひきながらの建築家以外の人々の積極的な協力の必要性などが述べられ，万博協会の山本康雄氏からは「内外国の参加予想ならびに建設計画」について相当詳しい数字が示された。

参加者からは，一番関心のある仕事がどこからくるのか，という具体的な質問もでたが，これは時期的にも尚早の感があり，解答者も体をかわすなどの一幕があった。

なお，関西都市・住宅会議実行委員会では，この記録をまとめて発行される予定である。

■大阪府建築家協同組合のマークきまる



入選マーク

本誌にも既報した大阪府建築家協同組合のマーク募集について，全国より熱心なる作品がぞくぞく集まり，応募者880名，応募作品2,721点の多数にのぼった。数日に亘り慎重審査の結果，入選作品が決定した。

入選　鈴木　健

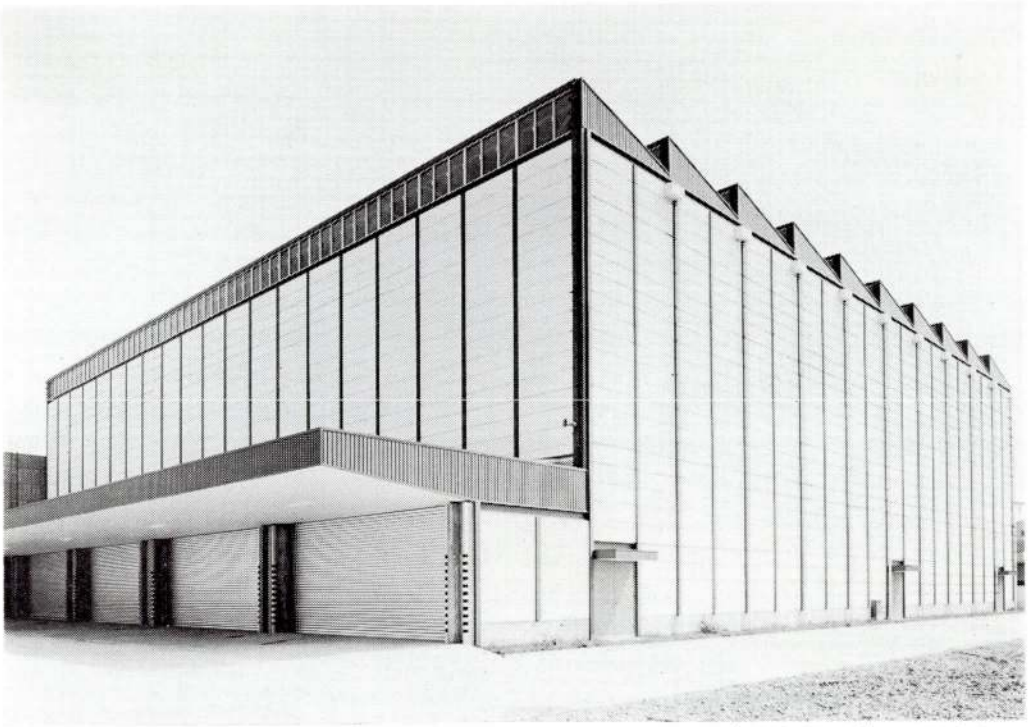
（名古屋市西区白源町3－4）

今後，この入選マークはミ大阪府建築家協同組合ミの表示に，あらゆる面に使用される由。

すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス



日本電信電話公社　八尾倉庫
設計　安井建築設計事務所
施工　大日本土木株式会社
使用場所　外壁、屋根

軽　　量（比重 0.5コンクリート¼の重量）

断　　熱（コンクリートの１０倍の断熱性）

耐　　火（法　定　耐　火　材　料）

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまで
あらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被
覆に使用されますが次の建物には特に最適です

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

SIPOREX

シポレックス販売株式会社

本　　社　東京都千代田区岩本町２ノ１ノ16(森川ビル)
　　電話　東　京（861）代　表　７　２　４　１
大阪支店　大阪市西区京町堀通１ノ125(東洋ビル)
　　電話　大　阪（443）代　表　７　７　４　１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３ノ２(大商ビル)
　　電話　名古屋（581）代　表　７　４　２　１

□写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a.所在地　b.建築面積　c.延面積　d.構造規模　e.工　期



172. 妙　光　寺　本　堂

設計：日新建築設計事務所
施工：KK　金　剛　組
a. 大阪市東成区深江中5の5
b. 471.825㎡
c. 938.385㎡
d. RC，3F
e. 昭和40年1月 ～ 昭和41年3月
特徴：RC造の寺院建築



173. 西上汐市街地住宅・上六センタービル

設計：中沢建築事務所
施工：KK近畿建設
a. 大阪市南区上汐町3丁目51番地
b. 712.58㎡
c. 6,964.52㎡
d. RC，B1（一部B2），10F
e. 昭和39年10月 ～ 昭和41年5月



174. 星　久　ビ　ル

設計・施工：KK竹中工務店
a. 京都市中京区三条通高倉東入
桝屋町53
b. 305.6㎡
c. 1,677.8㎡
d. RC，B1，5F，P1
e. 昭和40年10月 ～ 昭和41年6月



175. 天野山カントリークラブ，クラブハウス

設計：KK横河工務所
施工：大洋建設工業KK
a. 大阪府河内長野市天野町
b. 1,350.93㎡
c. 2,592.42㎡
d. RC，3F
e. 昭和40年6月 ～ 昭和41年5月



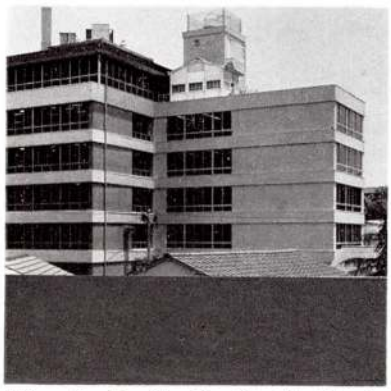
176. 本渡市立天草切支丹記念館

設計：九州建設コンサルタントKK
施工：KK佐藤組
a. 熊本県本渡市宛教公園内
b. 104㎡
c. 420㎡
d. RC，3F
e. 昭和40年11月 ～ 昭和41年7月



177. 本田技研工業名古屋支店

設計：魏建築デザイン研究所
施工：清水建設KK
a. 名古屋市中区丸田町2の1
b. 887.2㎡
c. 1,031.1㎡
d. RC，3F
e. 昭和40年8月 ～ 昭和41年7月



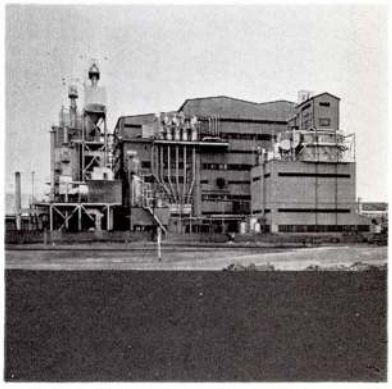
178. 山田商店麻布ビル

設計・施工：KK竹中工務店
a. 東京都港区麻布市兵衛町2-25
b. 143.0㎡
c. 894.0㎡
d. SRC，6F，P2
e. 昭和40年10月 ～ 昭和41年6月



179. 橿　原　学　院

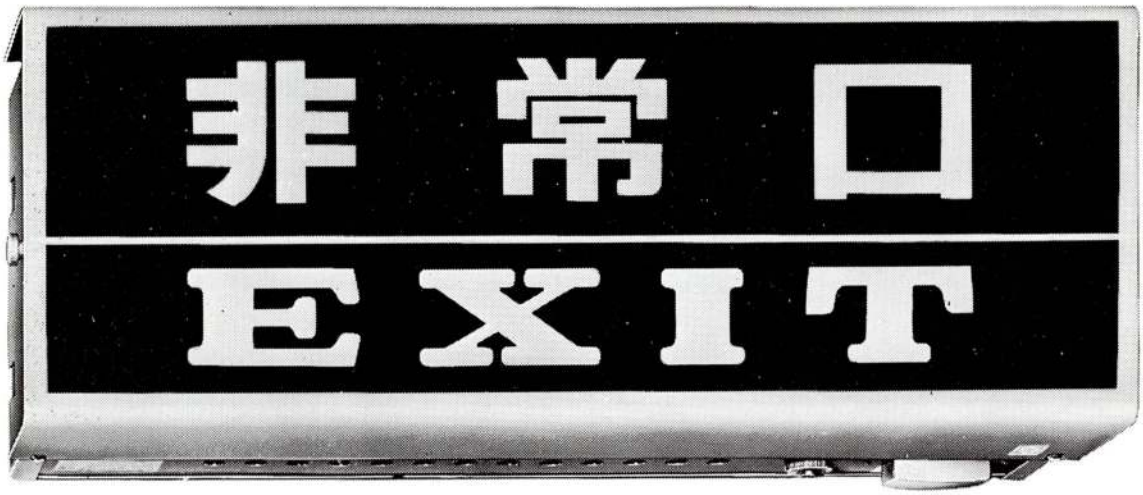
設計：K構造研究所
施工：KK金剛組
a. 奈良県橿原市久米町
b. 2,212.654㎡
c. 8,472.308㎡
d. RC，B1，4F
e. 昭和38年8月 ～ 昭和40年8月



180. 横浜精糖KK岡山事業所第二本館

設計・施工：鹿島建設KK
a. 岡山市築港元町5番地
b. 1,128㎡
c. 3,953.60㎡
d. S造4階建，基礎クロスパイル打，外壁波形スレート張，屋根長尺鉄板瓦棒葺
e. 昭和40年9月 ～ 昭和41年4月

ナショナルハイトップ。が〈誘導灯〉を改良



■標識文字は6種類あります



ナショナル乾電池式誘導灯

工事が簡単です

乾電池(ナショナルハイトップ)内蔵式ですから直流回路の配線工事がいらず、簡単にとりつけることができます。

ハイトップが非常時電源です

ふだんは電灯線で点灯、停電の時には自動的に乾電池が電源として働き、誘導灯としての役割に常に完璧です。

消防法にも合致します

停電事故がない一年後でも、消防法に定められた20分以上は点灯します。ハイトップだからそれができるのです。

点検は一目でOK

乾電池の容量がひと目でわかる電圧メーター付き、平常の点検がとてもラクです。またプルスイッチにより交流電源と非常時電源を同時に切ることもできます。

■旅館、アパート、病院、飲食店、美容院などに……

●お問合せは……

札　幌 (24) 9271	富　山 (21) 8561	広　島 (41) 5111
仙　台 (25) 8111	金　沢 (61) 2125	高　松 (2) 1194
宇都宮 (3) 3235	新　潟 (45) 6386	福　岡 (28) 3331
東　京 (453) 3111	名古屋 (951) 6211	小　倉 (53) 5221
横　浜 (68) 0743	大　阪 (362) 5151	鹿児島 (3) 0671
静　岡 (54) 1241	神　戸 (39) 8011	



お取替えには……
2倍も長持ちする
ナショナル
ハイトップ
〔単一・60円〕

ナショナル
松下電器



クラスメート
18

左より（敬称略）一立っている人一

小林得志
（小林得志建築事務所長）

岸　好雄
（KKヤマト工務店代表取締役）

岡本一郎　（岡本建築事務所長）

上田泰三
（大阪市交通局高速鉄道建設本部計画部用地課主査）

片山一郎
（KK竹中工務店取締役・営業担当）

左より一座っている人一

林谷武雄
（KK竹中工務店大阪本店設計部事務課長）

中谷隆雄　（KK奥村組建築部次長）

大阪ロイヤルホテル中庭にて

奈良県立吉野工業建築科昭和4年卒と昭和7年，8年卒。各クラスとも戦死と夭没で約1/3～1/2を失ったが，残った者はそれぞれ社会的に忙しくたちまわっている。急な会合であったので遠方の方が列席できなかったのが残念である。

岸，在学時代万能スポーツ選手，その精神を生かしてマイペース社長，いつでも市内中心部の数個所にビル建築の看板を見る。大したものだと思う。（昭和4年卒）

林谷，兵庫県庁から竹中の設計部へ，壮年期の闘病生活で生れ替って，秀才のご子息をもって落着いた生活をしている。（昭和4年卒）

岡本，長谷部竹腰事務所から日建を経て，10名あまりの事務所をもっているが，性格が示す地道な営みに終始するのではないか。（昭和4年卒）

小林，学校時代雄弁の選手，そのせいか実に温厚な落着いた話しぶり。酒蔵設計では第一人者。碁は玄人級か。（昭和7年卒）

上田，在学時代陸上短距離選手として有名。大阪市建築局に30年，公務員生活を一貫して，今年から少し方向を変えて交通局用地課勤務。（昭和8年卒）

中谷，施工一本の一生，若々しく張切っているので，まだ物足りないといっている。（昭和8年卒）

片山，西吉野の官幣大社丹生川上神社下社の近くから，20kmを毎日学校に自転車で往復していた。今は営業担当重役で50kmをかけ廻っている。元気なものである。（昭和8年卒）

（岡本記）

GOAL® "信頼"のシンボル



専門家は"ユニロック"を選ぶ。

豊富な品種と
精密さ、堅牢さ、美しさ、
をそなえたユニロックは
信頼の出来る錠(ロック)です。

有名ビル・ホテルで採用されているのは
完全な品質管理と半世紀にわたる
鍵づくりの技術を高く、評価されて
いるからです。

建設省・日本住宅公団・各府県市庁
有名建築設計事務所ご指定



GOAL® IS THE FINEST NAME IN LOCKS AND HARDWARES

株式会社ゴール

本社・工場／大阪市東淀川区三津屋北通4－30 TEL(三〇二)一七七一
九州工場／佐賀県神埼郡三田川町 TEL(神埼)三一七七
営業所／東京・名古屋・札幌・仙台・静岡・金沢・広島・高松・福岡

建築の眼

鳥田家弘
神戸大学建築学
宮秋利厚
日建設計工務KK
谷口尚武
KK大林組
福田好雄
ダイケンサッシKK

■ 人間的な，余りに人間的な——（4）

精神病院の閉鎖病棟をコートハウス式にした例を，大変よろしいと島崎敏樹がほめていた。都市近郊の個人住宅にこれが流行するのは，都市病理学的に同じ意味があるのだろう。だから本来のコートでなくて狭いほどよい。なんとあわれな通勤人間。

将来のビジョンは，いつも機能的に便利でいそがしい楽観人間の漫画がつきものだが，本当は精神病棟の密集になるらしい。その上で，人間をどう人間的に扱うかなどといっても，まず精神病者に仕立てるのでは万事あべこべだ。

先日，帝国ホテルの旧館越しに日生劇場の上部が出ているのを見て，ラマ廟そっくりなのに気がついた。ラマ廟とマヤの神殿が，そこはかとなく古寺の死臭を漂わせてこの東京のどまんなかに静かに存在するのが不思議な感じだ。現代の奇蹟のようであり，またこれも一つの精神病棟なのかも知れない。（To）

■ 人命の重尊

建築工事もますます大型化し，機械化してきて，作業場の様相も一昔前とは格段の変化である。工期の短縮，作業能率の合理化，新材料採用に伴う技術の革新などめざましい進歩である。しかしながら，また，これによる予測せざる工事中の事故も出現してきている。振動，騒音，地盤沈下，濁水，etc. などの公害……。

しかし最も恐ろしいことは人命の損傷であろう。工事関係者ももちろんであるが工事に何の関係もない隣人，通行人の安全に対する配慮は如何に十分にしても，やり過ぎということはない。工事が私企業であれ，公共事業であれ，これらの人々が工事に協力すべき義務はないはずである。街路でときどき散見される〝頭上注意〟とか〝足元に気をつけろ〟とかの立札はおかしいと思う。物が落下したり，通路が陥落したりするおそれのあるときは当然，二段構えの防止策を講じ，あるいは辞を低うして暫時立入りを御遠慮願うとかしてまず人命のことを考えるべきである。

要は機械の大型化が進み，工事が街中に氾濫して，工事とは何の関係もない通行人や住民も，ある程度は自衛すべきであるというような，恐るべき〝慣れ〟が次第に蔓延して来つつあるのではないかということに恐れを抱く。（Mi）

■ 建設業機械化のあり方

農耕機など日本の農村の機械化はめざましく進んでいるが，それら農業機械の稼働率は世界最低であり，その結果が日本の生産者米価を世界水準の2倍以上に押し上げている有力な一因であるとの話をきいた。そしてこの対策は農業の企業化・法人化による経営規模の集約以外にないという。人手不足に対処する已むを得ない手段であったのではあろうが，漫然たる機械化がコスト・ダウンにつながらないことを示す好個の事例として，下請の機械化などのむずかしい問題をかかえる建設業界に示唆するところ大なるものがある。稼働率をたかめる機械保有の組織について予め真剣に検討した上で機械化を進めないと繁栄への道にはつながらない。労働力不足をカバーする意義さえあれば，コストアップも已むを得ないと考える向きもあるが，開放体制で国際競争の嵐にさらされている産業界と深い関係をもつ建設業界にそんな甘い考えが許されるはずがない。（Ta）

■ 連続蝶番

バットヒンジ（略して丁番）類の用途は極めて多く，小は器物の蓋から，車両・建物の扉に至るまで広く応用されている便利な金物で，開閉に大なる力を要しないのも特徴の一つである。

その形状も旗丁番（二つ管丁番），三つ管丁番，五つ管丁番，病院丁番，自由丁番，隠し丁番，フランス丁番，Pヒンジ，キャビネット丁番……等数多くの品種をそれぞれ用途，目的によって巧妙に使用している。

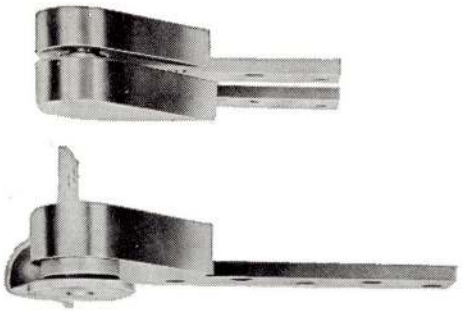
ところがわが国で建築用扉に応用していない連続丁番（コンテニアス・ヒンジ＝ピアノ丁番）を海外でアルミドアに使用している実情をみて，建築家やドアメーカーがうまく応用している点に気がついた。

一般に楽器類には早くから，ピアノヒンジの俗称で優れた使いかたをされているが，比較的軽量なアルミドアに使用すれば，扉の戸締り時にも，開放時にも一般丁番のごとき突出部の目障りがなく，連続丁番の優美さが表現できるのもひとつの特徴である。（Fu）

7月号より12月号まで上記の新執筆者でこの「建築の眼」欄を担当してもらっています。

サンエイ ● 回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品

立枠付 ピボットヒンジ



■ 本品は特に各部品の材料を吟味し、表面が錆びないようボンデライジング加工を施した上に**防錆塗装**をしております。

■ 焼付塗装仕上製品の他に、他の持出し吊の腕部（吊込後扉から露出する部分）にＳＵＳ27（18.8）**ステンレス製ヘアーライン仕上**の化粧カバーを付けてあります。

■ 回転部分にナイロンベアリング及びスラストベアリングを嵌入してあります。

■ 別製の設計製作をも歓迎致します。

■弊社製立枠付ピボットヒンジは……
実用新案登録第517316号の立枠には何んら抵触致しておりません。

555 三榮建材工業株式会社■ 大阪市生野区巽矢柄町一五一番地
大阪（751） ３６５３～５

きんきの サッシ



＊営業品目
■スチールサッシ・ドア・アルミサッシ・ドア
ステンレスサッシ・ドア・カーテンウオール
■冷暖房・給排水・衛生設備工事
■電気設備工事
■建設用機械

製造元 近畿車輛株式会社
工場／大阪・東京

発売元
近畿工業株式会社

本　社　大阪市北区梅ケ枝町１０８（新梅ケ枝町ビル）
電話大阪（363）３３７１（代表）
東京支店　東京都千代田区神田岩本町２（共同ビル）
電話東京（254）２０５１（代表）
名古屋支店　名古屋市中村区平池町４丁目４８の２
電話名古屋（551）２５２２・８６５５番

建築と社会

©

表紙のことば：こうこく（都市環境とその要素・11）

道を歩いていて楽しくなるもの
それはこうこくです。スカッとしています。
道を歩いていて楽しくないもの
それはこうこくです。街を汚しています。

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 菅谷 淳

市街地改造特集

Architecture & Society

1966年・第47集・11月号・目次

日本建築協会会告　創立50周年記念事業・モントリオール万博見学案内・会員の受賞……13

レタリング　E，F……15

読者の頁　須藤欣二・元良勲教授逝去・福島正人……19

建築と社会ニュース……21

スケッチブック　最近竣工の新建築9点……23

クラスメート　18. 奈良県立吉野工業・昭和4年，7年，8年卒
（岡本一郎，小林得志，片山一郎ほか）……25

建築の眼　担当：鳥田家弘・宮秋利厚・谷口尚武・福田好雄……27

海外写真　デュオモ（ミラノ）……撮影：恒成 一訓……31

作品作風　京阪ビルディング……設計施工　KK 竹中工務店……32

芦屋グランドハイツ……設計監理　住友不動産KK
施工　KK 鴻池組……39

市街地改造特集

①現状と目標
都市再開発の現況と目標……高口恭行……44
都市再開発手法としての市街地改造……山田忠顕……49
再開発建築施設の管理における問題……福原裕治……54

②実例紹介
大阪市における市街地改造（実例紹介と問題点）……沖 尚一……59
神戸市における市街地改造事業……西村賢進……64
各地都市における市街地改造
——その考え方と問題点と事業概要——……白国高弘……68
オランダ・ハーグにおける市街地改造計画……霜田稔……72

技術の頁　51.「環境工学：ガラスブロック窓の昼光率の計算
松浦邦男・古江嘉弘……79

月報　日本建築協会月間の動き（9月分）……82

編集人　松井昭光
印刷　昭和41年11月20日
発行　昭和41年11月25日
発行人　福中定三郎
発行所　（社）日本建築協会
大阪市東区北浜3—37
電 大阪231—9648
振替口座 大阪39975
印刷者　網野栄
印刷所　（株）研文社
大阪市北区堂山町66
電 大阪361—2091
売価　1部 200円・送料共

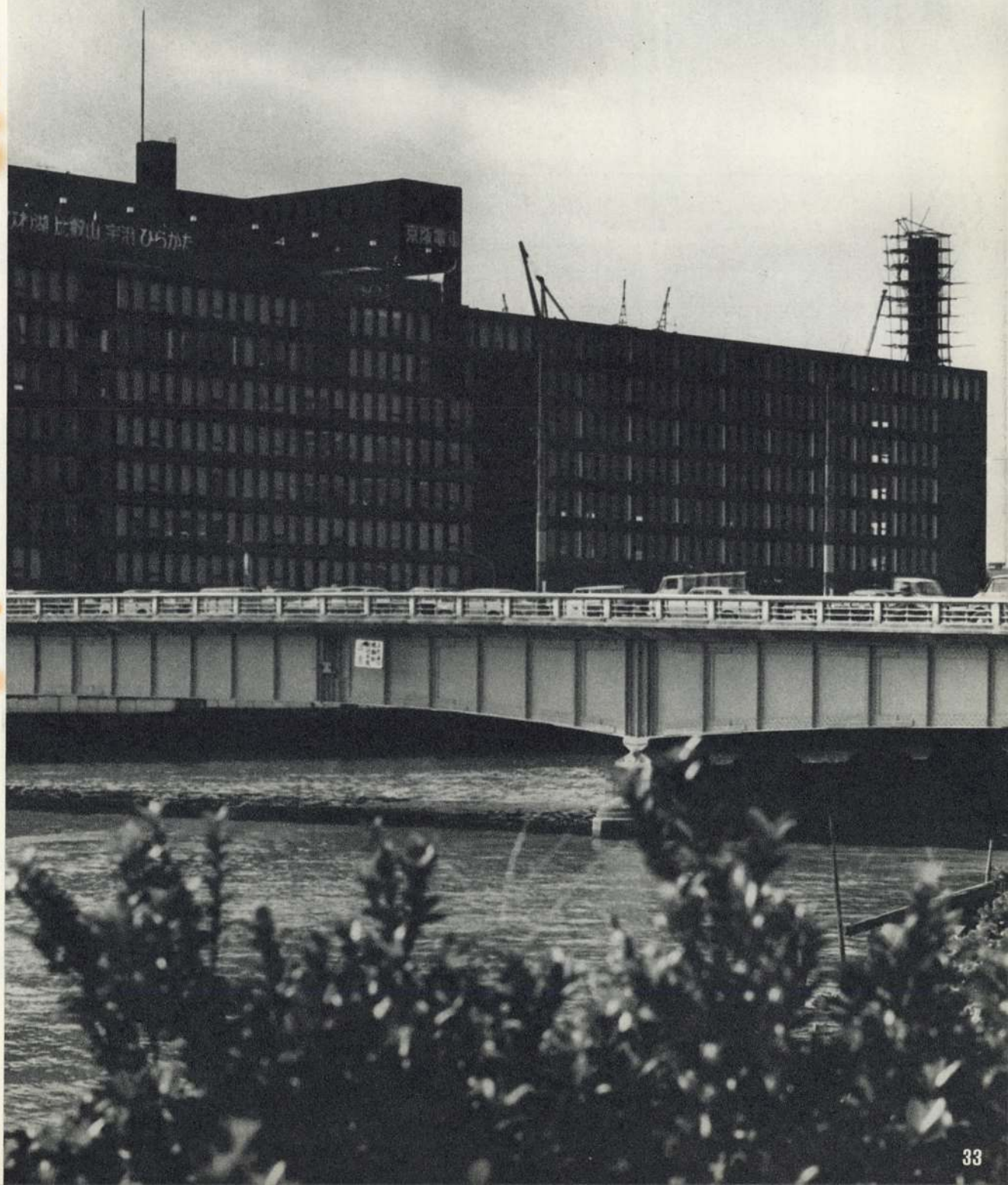


デュオモ（ミラノ）　撮影：恒成一訓


松坂屋
京阪 天満橋駅
京阪 天満橋駅
富士銀行

京阪ビルディング

設計施工　株式会社 竹中工務店

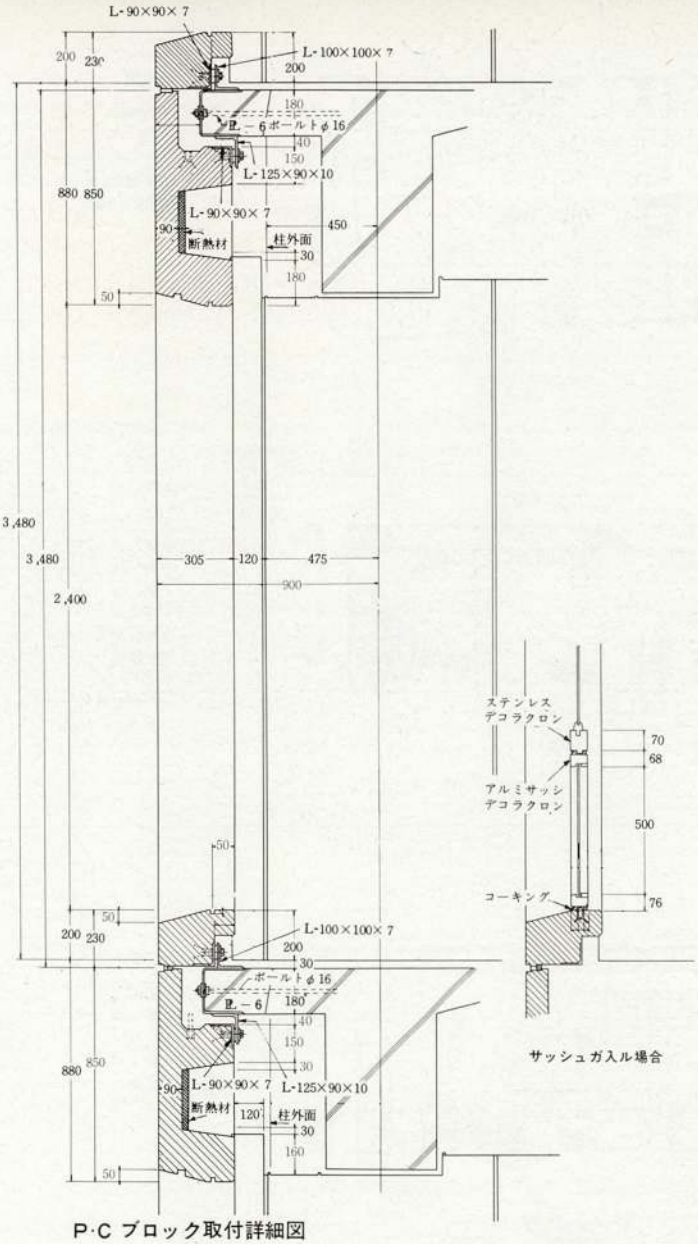




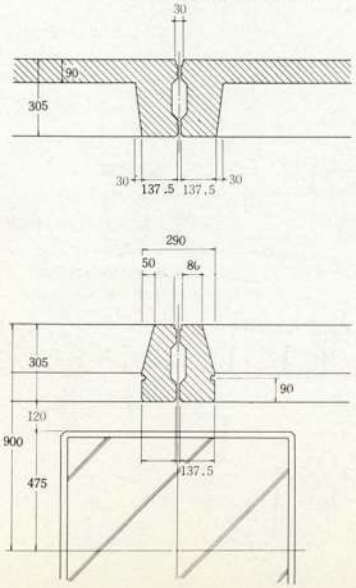
京阪ビルディング

設計施工　株式会社 竹中工務店

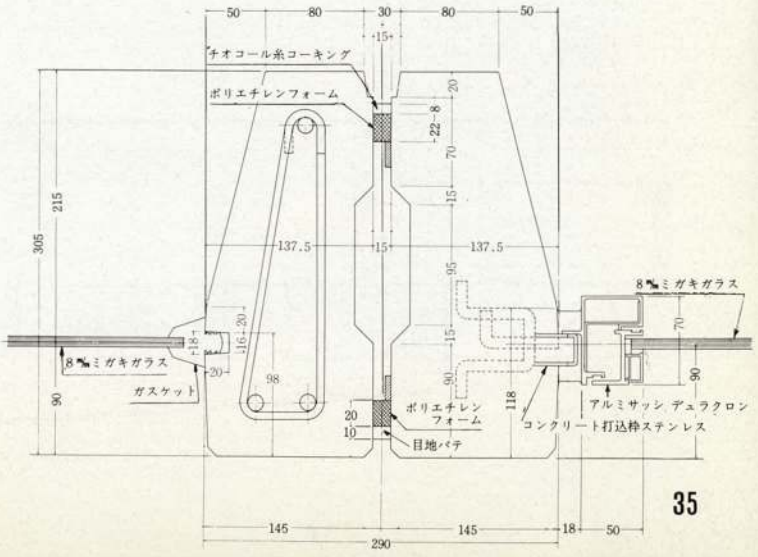
建築地	大阪市東区京橋２丁目
敷地面積	10,100.900M²
建築面積	8,330.713M²
延面積	99,992.102M²
基準階床面積	8,287.605M²
構造階数	地下４階、中地下１階、地上８階、塔屋４階
高さ・深さ	GL－19.900M ＋31.000M ＋12.000M（RF）
工期	１期 着工　昭和36年６月25日 竣工　昭和38年４月15日 ２期 着工　昭和39年６月25日 竣工　昭和41年９月30日
外装	プレキャストコンクリートパネル　ケミカルステイン仕上
内装	
基準階仕上	床　ビニールアスベストタイル 巾木　モルタルV.P 壁　モルタルLEP 天井　吸音テックス
用途	
松坂屋	67,203.301M²
京阪電鉄	17,202.388M²
旅行会館	11,312.601M²
ビル会社	2,161.895M²
富士銀行	2,111.917M²

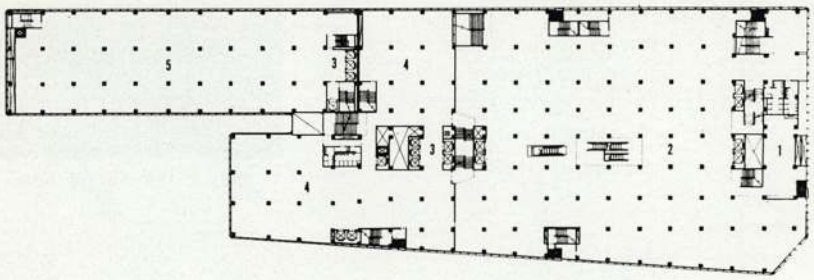


P·C ブロック取付詳細図



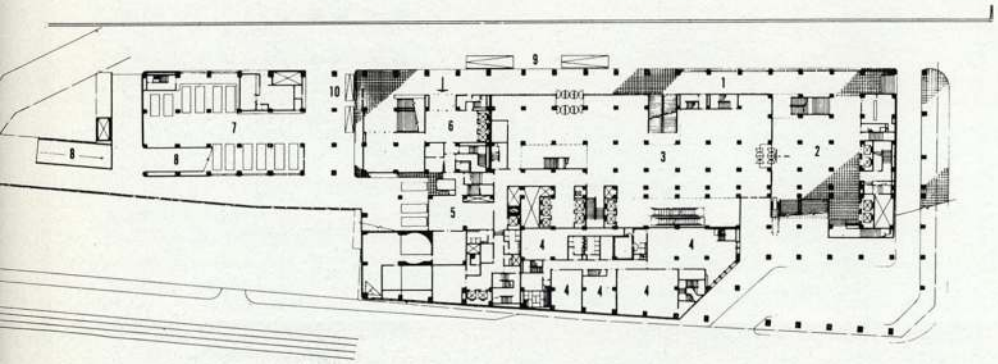
P·C 詳細図





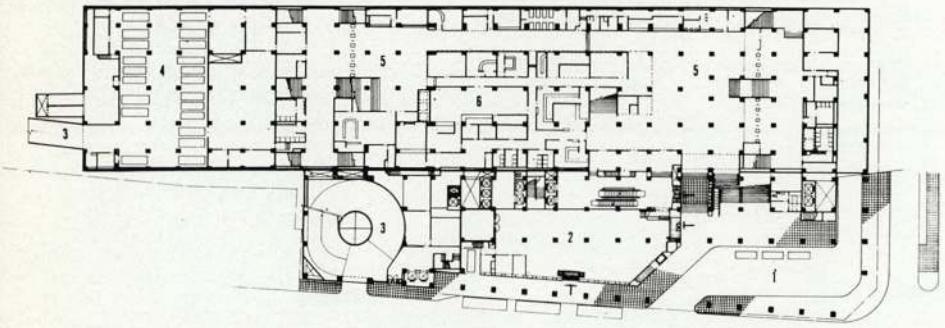
基準階

1 機械室
2 売　場
3 エレベーターホール
4 事務室
5 旅行会館



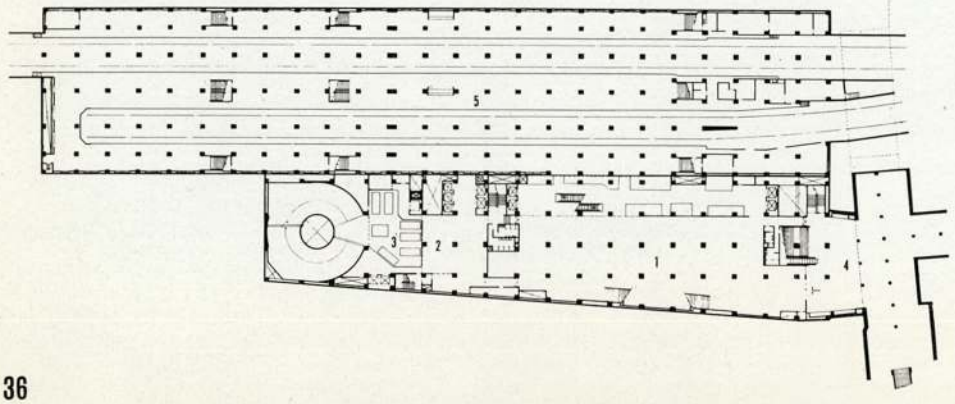
1 階

1 アーケード
2 ピロティー
3 売　場
4 銀　行
5 荷受室
6 旅行会館玄関
7 駐車場
8 スロープ
9 バス駐車場
10 タクシー乗場



地下中 1 階

1 駅前広場
2 銀　行
3 スロープ
4 駐車場
5 京阪コンコース
6 店　舗



地下 2 階

1 売　場
2 配送室
3 駐車場
4 地下鉄連絡通路
5 プラットホーム

京阪ビルディング

設計施工　株式会社 竹中工務店

設備概要

電気設備

受　電　22,000V　特別高圧受電
電気設備容量　10,000KVA
配電方式　460V/254V
変圧器　22KV/6.6KV
2,000KVA×1
22KV/3.3KV
3,000KVA×1
22KV/460V
2,500KVA×2
非常電源用ディーゼル発電機設備
発電機800KVA
ディーゼルエンジン
950PS×1,200rpm
幹　線　アルミバスダクト使用
照　明　基準階照明器具
アルミ押出しによる照明器具
空調吹出し口連成型
標準照度 500ルクス

弱電設備

BGM設備
自動車管制装置
電気時計
全館放送装置
自動火災感知装置
テレビ、ラジオ、共同聴視アンテナ
チャイム装置
電話交換器　クロスバー方式
インターホーン

給排水衛生設備

給水設備　重力給水方式
受水槽500ton　高速タンク
塔屋15ton　2階28ton
消火設備　消火栓　サイヤミーズコネクション　百貨店売場
スプリンクラー　地下駐車場
泡消火装置

空気調和設備

冷凍機　770USR ton×750KW×3,300V×3基
350USR ton×330KW×460V×1基(年間用)
ボイラー　炉筒煙管型　3,000kg/hr×7.0kg/cm²×2缶

昇降機設備

客用　DC,GL
18人乗×120m/min×2台
24人乗×120m/min×4台
入荷用 DC,GL
26人乗×90m/min×3台
15人乗×90m/min×4台
31人乗×60m/min×1台
エスカレーター　20台

■ 設計者のことば

1．平面計画について

京阪電鉄天満橋駅、松坂屋、大阪旅行会館、富士銀行および京阪ビル直営部分という5つの用途別要素と、ビルをとりまく交通機関——すなわち上記京阪電鉄および地下鉄2号線、こゝをターミナルとするバス、タクシー、トラック等との交通関係の整備が平面計画のキーポイントとなりました。すなわち1階から地下1階へかけて広い公共用スペースをとって、大きな人の流れを捌きながら建物各部へのアプローチを容易ならしめるよう計画しました。

2．外部意匠について

外装はプレキャストコンクリートパネルによるカーテンウォールを採用しました。1パネルの標準サイズは、巾1.75M、高さ3.84Mで10MM厚硝子をガスケットでコンクリートに直接はめこんでおります。

表面仕上はコンクリート面をサンドブラスティングした上にケミカルステインを吹付けて濃褐色に仕上げました。

施工に当っては着色および硝子はめこみまでを工場で行ない、作業所搬入後は取付けおよび目的コーキング作業のみとしたため、工期短縮に効果がありました。

3．設備設計について

設備計画のポイントは空気調和にありました。上記5種の用途別の系統分けはもちろんですが、デパートという業態の特殊性からくる空調が問題となりました。

すなわち、デパートの売場はたとえば特売場のごとき冬期に於ても冷房を必要とする、しかもその売場は固定的なものではなく何時どこへ変更されるかも知れません。また顧客と従業員の双方に対する処置も考えねばならない。そうしたことに対処しうるよう、各階要所の冷房暖切りかえが可能に考慮されております。　（名木山　高記）

■ 施工者のことば

このビルの、意匠上にも、施工上にも、最も重要なる"ポイント"は、PCコンクリートを採用した"カーテンウオール工法"に有ったと言えます。

この施工を担当して

1）すべて工場生産ができるように設計されているために、大幅の工期短縮を行なえた。

2）構造体と同一性質の材料を使用したので、予想される物理的、化学的諸現像が、ほぼ正確に想定でき、おのおの接触する点、面、線の処理が、自信を持って施工できた。

以上の利点を感じ、担当者としては"カーテンウオール工法"としては最も完成されたる工法ではないかと考えています。

施工概要は、PCコンクリート枠　2228枚、実施工日数は、91日間、1日平均24枚強の取付けとなっています。

ただし取付組数は2組にしましたので、1組の取付枚数は1日12枚強となります。使用機械は、能力2tの門型クレーン2基、補助として、能力2tのパワーリーチ2基を使用しました。1組の取付工数は5名を1組としています。製品納入は当日取付予定数のみ納入させました。

作業床近辺が、交通量多く、かつ、バス停留所が有る関係上、取付作業は、バス終発後の23時より始発前6時までの深夜に行ない、調整、コーキング等の作業を昼間行ないましたが、各関係の皆さまの適切なるご指導、ご協力により、無事故にて施工を完成せしむることができました。この紙上をお借りして、厚くお礼申し上げます。　（大野孝志記）

京阪ビルディング

設計施工　株式会社 竹中工務店



結婚式場



芦屋グランドハイツ

設計監理　住友不動産株式会社
施　　工　株式会社　鴻池組

■設計者のことば

「芦屋グランドハイツ」は緑の六甲山を背に、大阪湾を一望におさめた、また四季を通じていろどり深い自然につつまれた閑静な、文教施設、交通機関に恵まれた最高級住宅地である芦屋市山手町にあり、社会の第一線で活躍しておられる方々の「新しい住まい」「憩いの場」として計画し建設いたしました。

近年の経済成長、産業の発達は人口の都市集中、都市圏の拡大をひき起し、住宅用地の取得難から土地の高度利用が必然的要求となり、また文化の向上は一面、生活の合理化（社会的、経済的、機能的合理化）をもたらし、住居形態の改革となってあらわれてきました。

このような客観状勢のもとに、私達は高級アパートの分譲を計画した次第です。幸い「芦屋グランドハイツ」は非常な好評を博し、竣工後まもなく売約済となりました。

最近、関西地区に於いても分譲アパートの建設が盛んになってきましたが「建てれば売れる」というものではなく、綿密な調査に基く計画－ロケーション、需要者対象の選定、設計の良否等－により、はじめて最良の結果が得られるものと信じております。

なお、「芦屋グランドハイツ」の設計にあたっては、住居に変化をもたせ、ホテルの合理性とアパートの居住性を兼ねそなえた住居として、コンパクトにまとめることに留意し、またプライバシーの保持上、私的な部屋と公的な部屋とを完全に分離するためほとんどに〝メゾネットタイプ〟を採用いたしました。

建物は環境との調和から「白」を基調とした外観とし、冷暖房設備はもとより給湯設備、ガレージ等の諸設備を完備し、格調高い落着いた雰囲気の中に合理的な生活をご満足してお過しいただいているものと確信いたしております。（住友不動産株式会社大阪支店）

■施工者のことば

恵まれた環境に建てられたこの集合住宅は、合理化された各種の特色を持っています。

先ず家族構成により色々お好みの間取りや趣向を取り入れましたので入居者のご希望は充分に満たされたものと考えております。また冷暖房は、エアローマスターを採用し、各室でそれぞれコントロールできますので、個人差のある住宅では大変好都合と思いますが、それだけに設計者の苦労の程が充分に伺われるのであります。

施工に当って、特に考慮した点は、各室に給排水・給湯の配管が多くこれが床下に集中しておりますのでこの配管の納め方と、万一配管に故障が生じても成るべくその住戸内で修理できるように配管系統を考慮しました。

また、各住戸とも入居者のご希望による変更が多かったのでその取りまとめに苦労しましたほか、メゾネットタイプであるため廊下が奇数階にしかなく、材料の運搬および作業者の通路の確保に苦労しましたが、施工準備および工程管理には充分留意しましたので、施工上の支障は最少限に喰い止めることができました。

なお、立地条件から附近の皆様にご迷惑をかけぬよう極力注意を払いつつ、施工を進めおかげさまで無事故完成をみましたことは、私ども工事に携わつた者の喜びとするところでありますとともに、これもひとえに住友不動産の深いご理解とご支援の賜と感謝致しております。（株式会社 鴻池組 福本功）

芦屋グランドハイツ

設計監理 住友不動産株式会社
施　工 株式会社 鴻池組
所在地　芦屋市山手町37番地
構　造　鉄筋コンクリート造地上7階 建塔屋3階
敷地面積　2,814.9m²
建築面積　1,034.721m²
延面積　7,609.691m²
工　期　昭和40年4月～昭和41年5月
戸　数　50軒、管理人用1軒　計51軒

仕上概要

外部仕上
外壁／セラスキン吹付一部タイル貼り
建具／アルミサッシュ網戸つき

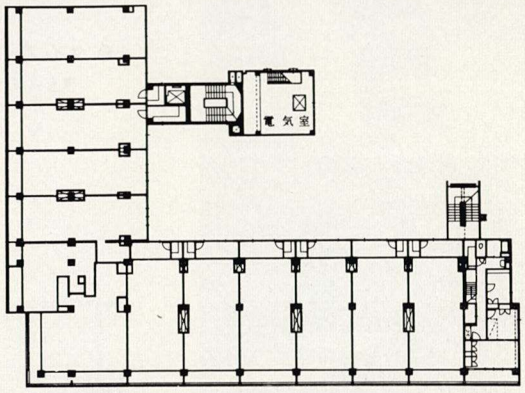
内部仕上
玄関：床／プラスチックタイル　壁／ダポナイト貼り一部布張り　天井／布張り
居間：床／プラスチックタイル　壁／ダポナイト貼り一部布張り及びサングレード吹付　天井／布張り
和室：床／畳　壁／サングレード吹付　天井／杉柾ベニヤ底目貼り
厨房：床／プラスチックタイル　壁／半磁器色タイル貼り一部ダポナイト貼り　天井／ベニヤオイルペンキローラー仕上　ステンレス流し台　自動点火式オーブン付ガスレンジ設置
浴室：床／モザイクタイル　壁／半磁器色タイル一部しっくい　天井／しっくい　ホーロー製浴槽・石鹸入れ・シャワー・タオル掛付
洗面所：床／プラスチックタイル　壁／半磁器色タイル貼り一部ダポナイト貼り　メデシンキャビネット・洗面器・タオル掛付
便所：床／モザイクタイル　壁／半磁器タイル一部プラスターエマルジョンペンキ　天井／ベニヤオイルペンキローラー仕上洋式便器・手洗器・ペーパーホルダー・タオル掛付

芦屋グランドハイツ

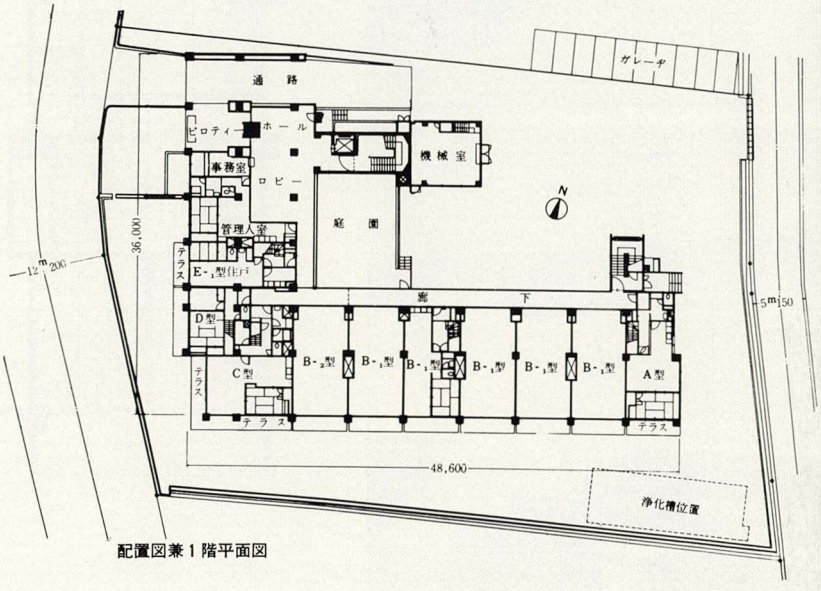
設計監理　住友不動産株式会社
施　　工　株式会社　鴻池組

設備概要

冷暖房：エアロマスターによる冷暖房
ガ　ス：厨房及び和室1室に配管
電　気：近代的な照明器具を使用・各室コンセント付
給　水：屋上水槽より各戸に給水
給　湯：浴室・洗面所・洗濯場・厨房に配管
電　話：交換設備により各戸に内線電話器を設置
ドアーホーン：各戸玄関に取付、居間と通話可能
防犯設備：各戸にマジック・アイ・防盗チェーンを取付け
消火設備：3・5・7階にザイアミーズ・コンネクションを設置、7階は屋内消火栓設備を設け自動火災報知機を設備
換気設備：浴室・便所・厨房に強制排気設備
テレビアンテナ：共同聴視用アンテナにより各戸に配線
エレベーター：全自動日立製11人乗り設置
各種メーター：電気・給水・給湯・ガス共各戸に専用メーターを設置
焼却炉：1基設置　炉
駐車場：本館北側に賃貸自家用駐車場設備



2階



配置図兼1階平面図

近年、マンション、パンション、コーポラス、ヴィラ……などと呼ばれる高級アパートが増えつつある。

ここにとりあげた「芦屋グランドハイツ」は、関西における〝高級分譲アパート〟の最初のものと思われる。そこで、この建物の計画にあたって〝企業経営の立場としては、どのような考え方で臨まれたか〟また、〝その後の実情はどうであったか〟などについて、企画設計された住友不動産の担当者にお聞きしたことを、次にまとめてみた。（編集部）

1. 高級アパートにしたこと

公共団体が建設するアパートは、主に中所得者層を対象としたものであるが、それに対して、民間企業が、企業経営としてアパートを建設する場合、その入居対象者を、高所得者層もしくは低所得者層に置いた方が適切のように考えられる。一方、アパートの建設にあたっては、その立地条件が内容、規模を規定するが、この場合、山芦屋というめぐまれた立地条件なので、高所得者層を対象とした高級アパートを計画するにいたった。

2. 〝分譲形式〟にしたこと

東京では、はじめ賃貸形式の高級アパートが多かった。その理由は、都心部において適当な土地を求めることが困難であることや、多くの人が集まってくる東京では芸能人、作家、外人などの需要者があって、賃貸形式の高級アパートが企業として成りたつ。ところが、東京に比べて関西では、まだかなり立地条件のよいところがあることや、東京におけるタレントなどの入居者層が少ないことから、賃貸形式にした場合、その需要は少ないと思われるので、関西在住者を対象とした〝分譲形式〟の高級アパートにした。

3. 入居理由

入居希望者は、第一線で活躍している人たちである。それらの人たちが、現今のお手伝さん不足、庭の維持管理費の高騰などの条件を合理的に解消するために、いままで住んでいた大きな家を処分して、活動に適したアパートに入居するというのが主な理由である。

4. 入居者層

関西在住の中企業の経営者、財界のトップクラス、個人経営の医者、評論家などである。

5. 入居率

竣工前に90%、竣工後4ヶ月で100%であった。

6. 維持管理費

空調、光熱、ガレージ等を含めた維持管理費は、月3万円位かかるので、かなりの高収入が必要であると思われる。

7. 区分所有形式

建物、土地は共用部分を含めて区分所有形式をとっている。

8. 設計者と施工者および購入者の協力体制

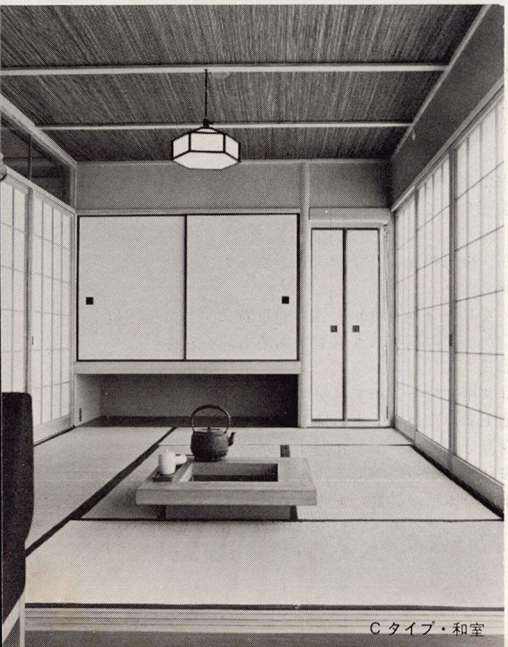
このような高級分譲アパートを建設する場合は、入居者の希望で個々の設計変更が多いので、設計者と施工者および購入者の積極的な協力体制が必要である。



Cタイプ・玄関



Cタイプ・居間



Cタイプ・和室

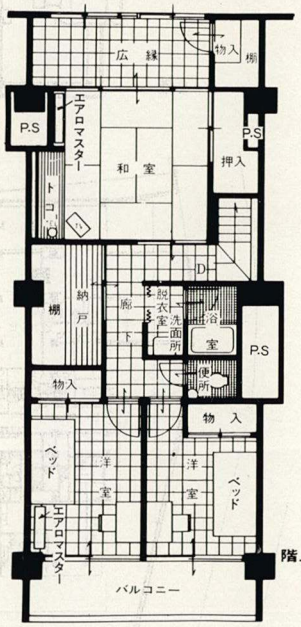
Bタイプ

専有面積

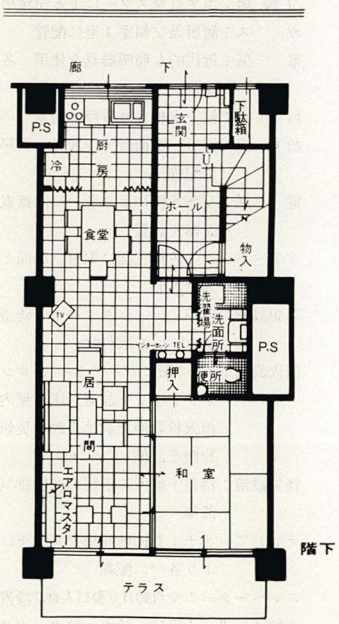
階　上	69.8㎡
階　下	60.4㎡
バルコニー	16.5㎡
計	146.7㎡
共用面積	26.7㎡
合　計	173.4㎡

芦屋グランドハイツ

設計監理　住友不動産株式会社
施　　工　株式会社　鴻池組

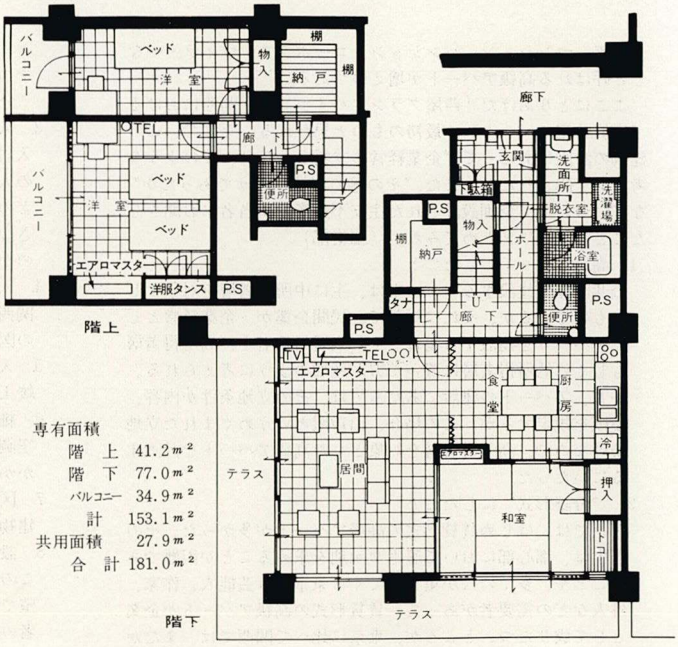


階上



階下

Cタイプ



階上　階下

専有面積

階　上	41.2㎡
階　下	77.0㎡
バルコニー	34.9㎡
計	153.1㎡
共用面積	27.9㎡
合　計	181.0㎡

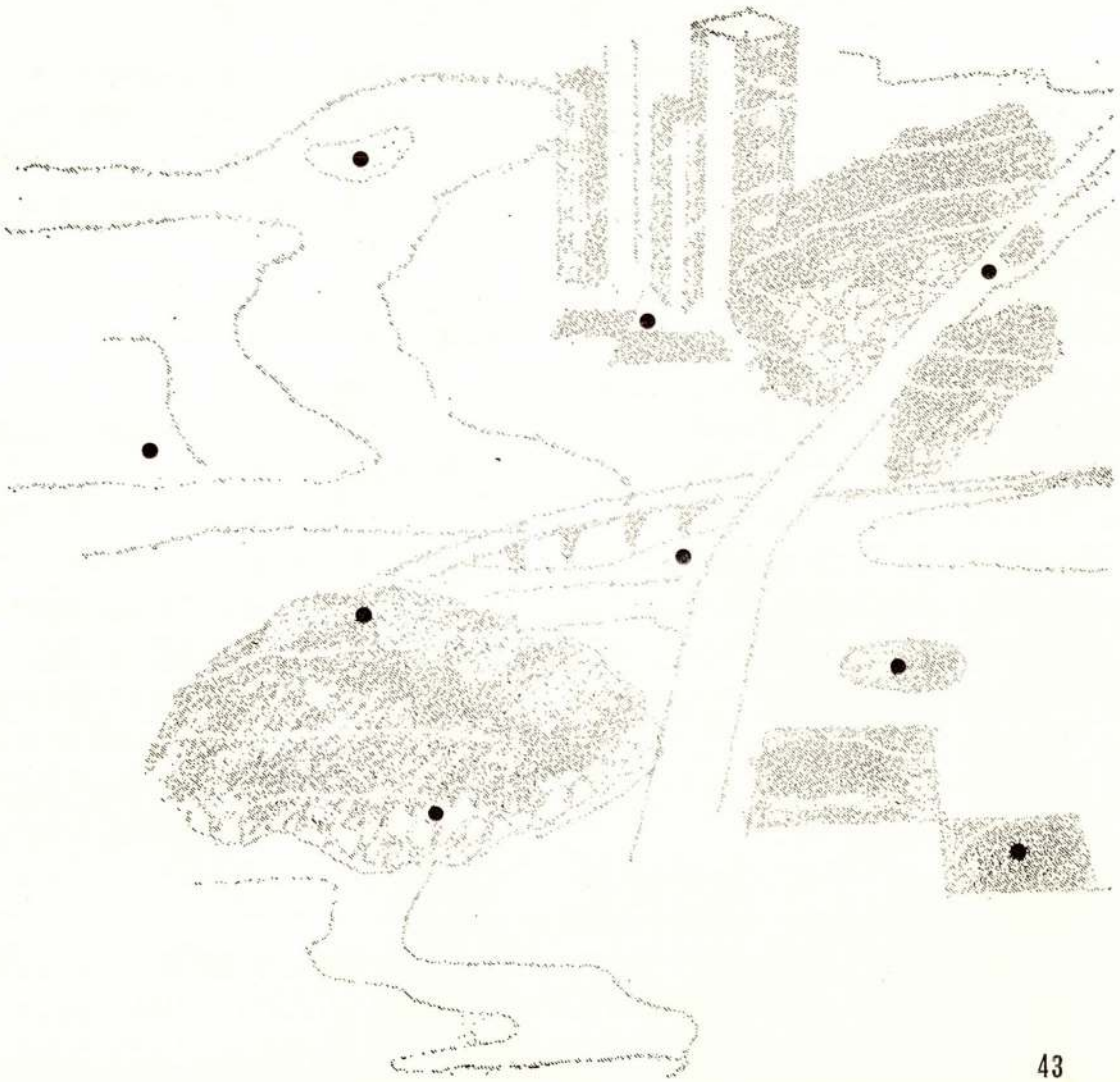
市街地改造特集

1 現状と目標

1 都市再開発の現況と目標
2 都市再開発手法としての市街地改造
3 再開発建築施設の管理における問題

2 実例招介

1 大阪市における市街地改造
2 神戸市における市街地改造
3 各地都市における市街地改造
4 オランダ・ハーグにおける市街地改造計画



都市開発の現況と目標

京都大学建築学教室　高口恭行

■いくつかの主要な問題がある。

かつて建築を機械と考えねばならぬ時代があったように，都市は今や機械として考えられねばならぬであろう。都市に起りつつある問題，多くはそこで生活する人間の一人一人を具体的に不自由ならしめている問題を，感覚的な，または情緒的にみることは正しくない。まず都市を機械として見，そのメカニズムそのものにおける問題を解決してゆかねばならないであろう。

日本という国土のなかで人間はどこに住むようになるのか，その中で都市の果す役割は何かといった抽象的議論から一歩進んで，具体的存在としての都市はそれぞれ，現在どう発展してゆかねばならないのか——国土計画の立場からの見方，それに科学の力が変える生活の中で，都市のとるべき姿はどんなものだろうか，その目標に対して，現実の変革エネルギーはどれ程あるのだろうか，そういった未来を予測する立場で都市は考えられねばならないであろう。都市は機械であると考えよう，だがしかしその機械は，メカニズムそのものが変遷し，それが強引に形そのものの変化をも，もたらさざるを得ない機械である。

都市再開発は限りなく続かねばならない。焼畑式の半農半牧畜の生活民族でない限り常に耕やし直す必要のある田なのである。

市街地改造事業を考える前の都市再開発の見通しとして，このような流動性，連続性を特に重視する必要がある。

機械として都市を見ることは，サンテリア，コルビジェなどの，多くのプロジェクトを見るのであるが，その機械自体急速に変質し変形してゆくものとは誰も考えなかった。最近の都市計画はマスタープランの問題等を通してようやく計画それ自体この変質と対応するものでなければならぬといういわゆる4次元の都市計画という考え方をとりつつある。だがしかし，4次元の都市計画とは一体何を意味するのか。市民参加の都市づくりということが叫ばれ，一つの4次元的側面を明確にしつつあるもの，都市計画はいわばもっと物理的であり，建設それ自体としての原則が求められねばならないのである。

■都市再開発という概念は極めて曖昧なままに今やポピラーである。

防災街区の建設として不良住宅改良として，中小企業の移転，その他地下街，パーキング，公園等の建設，道路の整備……それらのすべてが都市再開発であるとされる。そこにこめられたいくつかの意図，住宅供給，混乱した業務機能の再編成，パブリックスペースの確保，災害対策……といった内容が現実に果されているかどうかという点については極めて疑問である。若干の努力が都市を美くしく，都市空間を高度に利用せしめ，住宅，道路，を増加させるであろう。にもかかわらず，都市は必らずしも「開発」されているとはいえない。

ファサードを整え，眺望を考えて「開発」された都心を高架のハイウエイは遠慮なく走るであろ

うし，パーキングをもたない高層ビルはそれ自体，絶海の孤島として再び建設され直されねばならぬであろう。

都市はこういったそれ自体の変質・変形を定常としつつ成立する。この変質・変形をしからしめているのは人口の都市集中という一つのピーク時的現象のみによるのではない。科学の発展によるモノの変化，それに便利という概念のもたらす人間のアクティビティの相乗的増大，そして人間の抱括する文化の量と対応する人間の空間所有の欲求増大……，これらによって都市はよりスムースによりバランスしながら変質・変形してゆかねばならぬ本質を有すのである。

■再開発として建設せねばならぬのはモノではない。

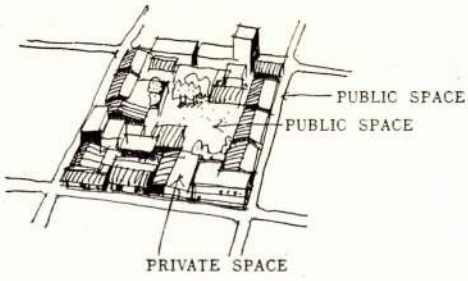
資本主義社会における都市はそこにある経済の原則によって累積的に巨大化し，ついには中世来の伝統をもつ個性と個有の空間を有したひろがりから一つの地域，都市地域を国土の中にアメーバ状に構成しようとしている。その中では拡大再生産とマーケットの拡大の必要から新らしい施設と新らしい環境が常に造り出されねばならないであろう。建設は急テンポに巨大な経済の回転と平行して巨大な量に至る。都市は現象的にみて変質し変形し，とどまるところがない。だが，しかし，この中にある原則は，それらの変質・変形がいわばプライベートなものとしてなされるところにある。

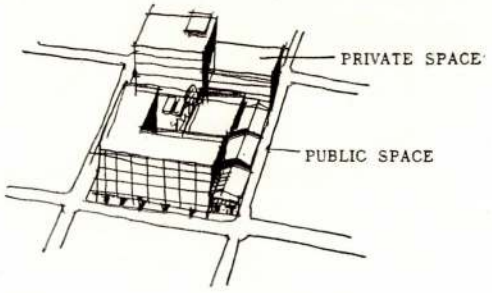
近年の尨大な建設によって増加しているものは住宅であったり，業務ビルであったり，工場，宿舎，店舗などいずれもプライベートな性格の空間，プライベートな個有の目的のためにプライベートな占有権のもとに造られた空間であるとみることができる。更にこれらがプライベートな意図の変更によって変質を行なってゆくものであってみれば，プライベートな意志によるプライベートな空間の建設—変形・変質こそ，この原則であるとみなければならないであろう。百花撩乱の美くしさと共に混乱の問題が生じる。プライベートな変質・変形の原則になる都市の空間をいかに秩序づけてゆくか，いかに共存構成をつくりあげるか，いわば一つのシステムを作り出すこと，より具体的には変質・変形を一つの点，パブリックという点に関して方向づけてゆくことが，都市再開発の基本的な問題であり，モノをつくることではない。

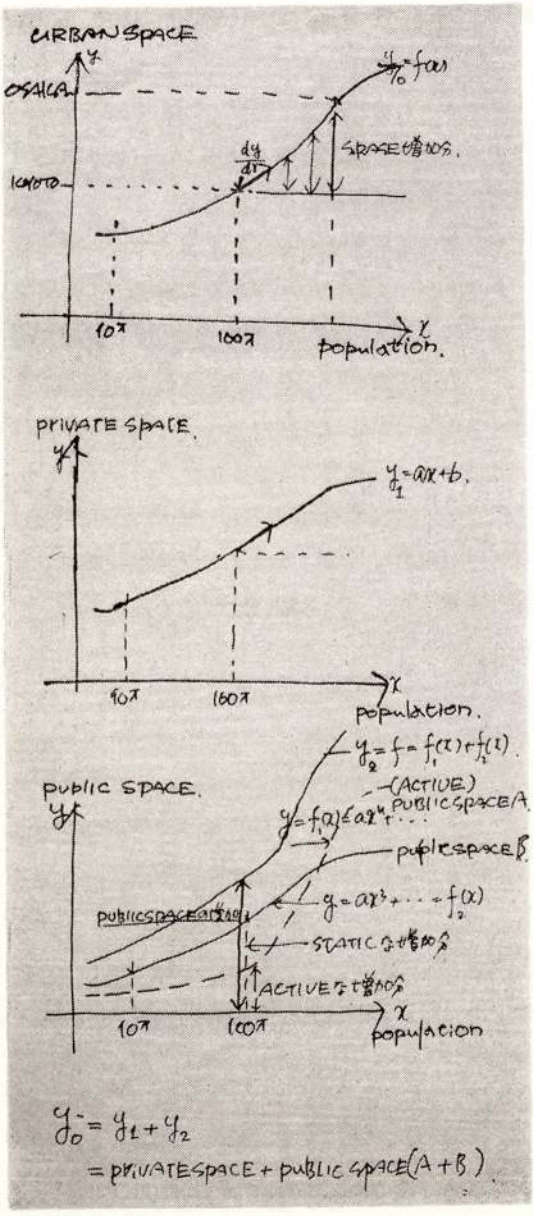
■パブリックスペースは現在急速に減少しつつある。

用途や占有権が明確になっている空間をプライベートスペース，その他の部分，占有権がオープンであるような空間，利用が市民にまかされているような空間，全くの空地，景観まで含めてそれらをパブリックスペースと呼ぶならば，このパブリックスペースの減少は現在の大きな問題である。道路が建設され，パーキングがつくられ，若干の公園などが建設されようと，それらの建設はまず，生活者，利用者である都市人口の増加に比すれば，圧倒的に相対的減少を示す。都市文化の中での市民の生活は可能なコミュニケーション領域の拡大のゆえに，あるいは情報キャッチの必要性が高まるゆえに，そのアクティビティーにおいて大きな変化を遂げつつある。交通機関の革新，スピードの増加などによっても人間のアクティビティーは増大する一方であり，このアクティビティーの増大は都市の空間量を人口増加比以上の比率で増大させねばならぬ必然性をつくるのであるが，プライベートスペース以外の部分，パブリックスペースにおいてはその建設が頭うちであり，その相対的量の減少をみざるを得ない。

またプライベートスペースの建設が，限られた都市の面積の中で，高層化という形で実現されている現在，こうした地面から高くはなれた空間内における生活者との関連において，パブリックス







ペースは更に減少しているといわねばならぬであろう。

人口増との相対，都市生活者のアクティビテー増大との相対，空間増加の位置との相対により，パブリックスペースの減少は極めて明確なものとなりつつある。

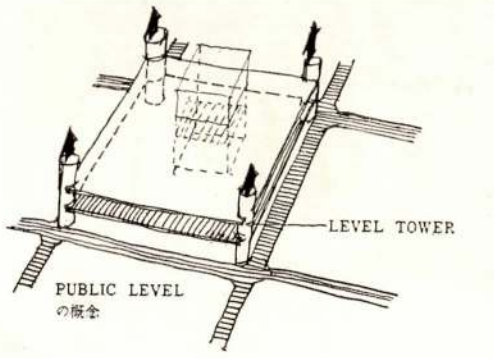
都市の再開発はプライベートに進行する空間の変質・変形に一つの秩序を与え，この原則の中で機械としての都市のメカニズムを明確にしてゆくことでなければならないのであるが，この原則を実現してゆくためのパブリックスペースは現在急速に減少しつつある。

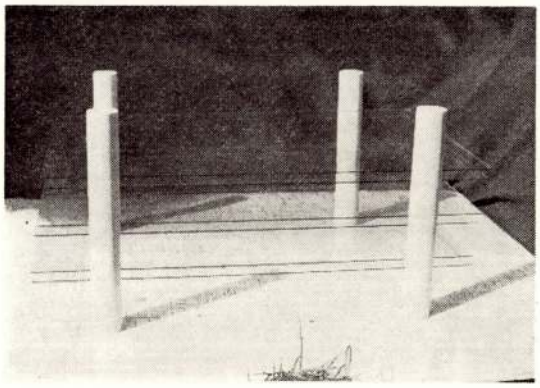
いかに変質・変形の現象が起ろうともこれを秩序だてることを可能とするシステムを空間の論理として明確にしてゆく必要がある。

この立場から現在の都市再開発の事業を，計画をみるならば，これは果して再開発かどうか。都市の空間量，これを秩序だてるシステムの導入という点で，現況の方向は正しくない。

■空にパブリックな地表はないという極めて当然な事実が無視されている。

シカゴ，ニューヨークに例をみるように東京，大阪，名古屋などの大都市はそのプライベートスペースのキャパシティーを高層化という形で空へと拡大しつつある。それらの大都市都心部における高層化は現在すでにシカゴ，ニューヨークの都





心部再開発が行なわれねばならぬようにパブリックな地表のない空へ向ってプライベートスペースを拡大し，そこに生じて来るスペースのアンバランスを都心からその周辺部へと転荷せざるを得ないという現象を生ぜしめるのである。

高層化のもたらす問題が，都心部の過密という形でシビヤになって来るとは従来多くの場で論議され，容積地域という規制も定めることになったものの，一方ではこうした規制といった程度の消極的な対策ではどうにもならぬような建設と変質が進行しつつあり，将来，再開発されねばならぬ地域を増大させるばかりである。

より基本的な考え方は，現在地表上に存在するパブリックなスペースは人間の手で造り出されたものであり，地表というレベルでこのスペースが造り出される必要があったように，現在，空中にこのスペースが建設されねばならぬということであろう。

すでに空中に造り出されつつあるプライベートスペースの量と対応して，新たなるパブリックスペースを空中に造り出すことが，最も基本的なところで，現在の都市にバランスを与え，再開発することとなろう。

だが一方，思いを返せば，こうした発想から人工土地という概念が出され，様々なプロジェクトを生み出したのはもう新らしいことではない。垂直な人工土地，水平な人工土地，傾斜した人工土地等様々な型が提案されたものの，その中で何らかの意味を持ち得たのは太陽光と庭園のためのセットバック形式の建築にその残しを止めた傾斜型のみであった。

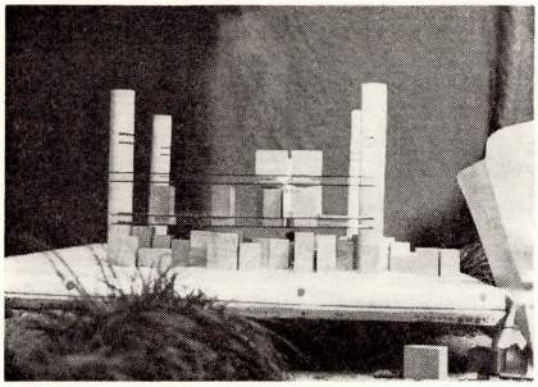
問題は空中に自由になる土地を増やすことではなかったのである。最初に述べるように，現在においても将来においても，都市におけるその空間の公理として認めなければならないのは，第1には，大部分の空間がプライベートな意志によって変質・変形の建設が進むということ，第2には，それは極めて多様な意図（機能）と対応していること，第3には，都市生活者のアクティビティーは文化の進展とともに増大すること。

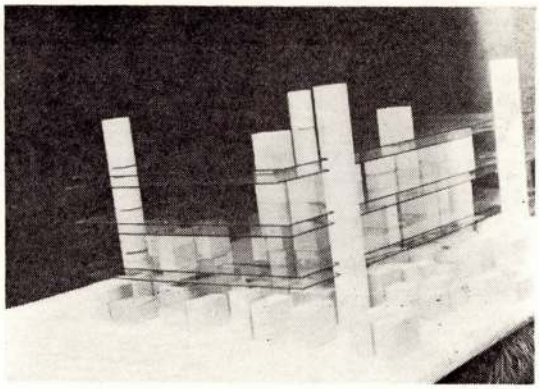
そうした公理に立って，4次元的なシステムの定理を作り出すことが都市再開発の基本概念であると知らねばならない。

大規模化し成長してゆく都市にその原則と方向を与えてゆくのが都市計画である。都市開発はこの原則をより明確に与えてゆく事業にほかならない。市街地改造の事業もこの都市開発の一環であって，他の特殊な性格のものではない。

とすれば，現在急速に具体化への意図がみえつつあるとき，われわれはこれらの諸々の次元で語られる概念，都市計画，都市再開発，市街地改造がその目標において一致していることを確認したうえで，目標へ到る原則を見出さねばならないであろう。

——都市の複雑にからまった空間を明快なものに構成してゆくための定理，4次元的なシステム





の定理の発見……。

■パブリックレベルの設立。

ニュータウンの建設等は別として，既存の都市を方向づけてゆく都市計画法は日本においては大正8年に設立されたもので現在としては実状にあわぬ点が多々指摘されている。にもかかわらず，戦後20年，何とか都市計画という概念が一般化し若干の部分が，計画的様相を持ち得たのは，区画整理の事業に負うところが大きい。名古屋，広島がかなりの成功を収め，近年は大都市周辺の衛星都市において事業化の進められるケースが多い。とはいえ整理された区画内の建設においてはまず初期的な建設が進みこれによって地区のポテンシャルが高まった段階で更に第2次の空間建設が開始するといった現象をみれば，いかに区画整理地区といえども，都市空間の本来的課題である変質・変形をまぬかれるものではない。こういった将来における変質・変形の可能性，現在においてどうしてもそのメカニズムを整理しなければならぬ変質が進行中の地区，そうしたケースに対応する方策は文字通り原則，あるいはシステムでなければならぬであろう。

一般に都市の膨脹，拡大は，そのプライベートスペースの拡大と対応するが，それは必らずしもパブリックスペースの拡大を伴って進行するものではない。むしろ都心部におけるプライベートスペースの増大は相対的に，その部分のパブリックスペースを減少させ，この地域における「人間の場」「ゆとり」，もっとシビヤには，交通空間そのものを相対的いみにおいて減少させてゆくのである。何らかの打たれるべき手はこの空間をバランスさせるという立場から出発する必要がある。だが一方問題はこうした地区，あるいは空間といった一つのスタティックな側面以上に全体の系，都市空間の系統そのものによる場合が多い。都市文化の進展に伴う人間のアクティビティーの増大は人間の血管系の如く全体が一つの圧力系で支配される。

都市全体に拡がり得る原則，人間の自由な意志を尊重しつつ，一つの構成原理にまとめるシステムは，まず第1にその空間量を，バランスするべく空中に設定されたパブリックレベルの概念であろう。多くの自由な形の建築が高層化してゆくときこのレベルをすべての建築が，パブリックな場とすること。

第2にはこのレベルをつなぐレベルタワー。それらが，増大してゆくプライベートスペースの中に，この増加分を成立させるだけのパブリックスペースを増加させるであろう。

しかし重要なことは，こうしたスペースの増加とバランスが公共の手で行なわれる再開発地区に止まるのではなく，都市全域の原則にならねばならぬ点である。都市全域を一つの原則で貫くときはじめてその都市のメカニズムが明確になる。4次元的可能性をもつ原則の開発が必要である。

都市再開発手法としての市街地改造

大阪市区画整理局次長　山田忠顕

1. 序

私にはこの標題を語る資格がまだ整っていないと思う。何故なら大阪駅前と谷町の二カ所も手がけて5年もなるのに，1棟のビルも竣功していないのだから。

しかし日本で最もむつかしいと思われる大阪駅前で，とにかく6,000m²ほどの更地を造り，ビルの建設を急ピッチで進められる状態になったのを機会に，これから先のことはわからないが，今までの経験をもとに市街地改造事業による都市再開発の手法を論じてみることにする。

2. 市街地改造事業とは……

昭和36年にできた「公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律」は略して市街地改造法といわれているが，この再開発手法は姉妹法である防災建築街区造成法，住宅地区改良法と異り2つの条件から成り立っている。まず大きな道を造り出すこと，もう一つはその背後地，俗にいう裏宅地を超過買収してビルを建て，道の部分にいる人はもちろん裏宅地にいる人も全部（入居を希望しない人たちは権利を現金で買収）入居させ，余った床は公募して売るという手法である。第一の条件すなわち大きな道を造る費用（用地関係は全部軒切り買収費，道路工事費など）は政府が⅔を補助してくれるが，第二の裏宅地関係は起債で賄う建前になっている。この国庫補助金は財源がガソリン税で，街路事業費に属しており，一種の打切補助である。算出基礎は前記のとおりであるが，実際に使用するのは裏宅地に使用しようが，新ビルの建築費に使用しようがかまわないことになっている。

以上のように道路建設には国の補助があるが，裏宅地の再開発――不燃化，高層化，機能化，美観化――には補助金はなく起債を認めるに過ぎない。ガソリン税が財源である限りでは止むを得ぬとも思われるけれど……。

外国にも都市の再開発はお盛んのようであるが，日本の市街地改造のように現住民を再び新ビルに優先的に入居させる手法は存在しないようである。外国の手法は現住民を全部権利買収の形で追い出し，更地を民間に売却して，ビル建設，広場築造等の仕事をさせ，新しい住人を収容している。

日本の再開発は，市街地改造も，防災建築街区も，住宅地区改良も，土地区画整理もすべて現住民再収容で計画されている。誠に親切なやり方である。しかしやってみるとなかなか厄介な仕事であると同時にできあがりがもう一つスカッとしない欠点がある。外国でできる「住民総入替え」の再開発手法が，何故日本ではできないのか。この疑問は洋行していない私には解けそうにない。

都市の再開発は当然その地域社会の改造――住民の入替え――を伴う運命を負っていると思われるし，現在いる人たちをそのまま高層巨大ビルに入居させる日本独得の市街地改造手法は，そのビルの強い繁栄を計るために竣功後の維持管理運営に格段の工夫が要ることを覚悟すべきである。

さて都市再開発手法としての最新版である市街地改造を行なう場合，現地の地図をにらみながら調査研究しなければならない最小限度の事柄は次の5項目である。

1. 現地付近の土地建物買収価格の調査
2. 現地付近の権利価格配分率の調査
3. 事業区域の取り方
4. 新ビルの設計方針
5. 新ビルの売価の算出

この5項目の高低大小が相互にからみ合って変化するので，すこぶる厄介な仕事である。以下各項目別に説明する。

3. 現地付近の土地建物買収価格の調査

市街地改造を計画するような場所にある家屋は，木造で1～2階建が多いのは当然で，その上非常に古いか，いわゆるバラックである。したがって家の評価はあまり高いものではない。家屋の買収費は実地に個々に測量調査積算しなければ算出できないのであるが，大体の見当は市の固定資産税の評価でつけることができる。家屋に関する限り固定資産税の評価は相当正確であることが実務をやって解ったのである。

さて土地の評価である。固定資産税の評価も国の相続税の評価も最近かなり大巾な修正が行なわれたけれども，まだ時価との開きは相当大きいので，民間の不動産業者の数社に鑑定して貰い（鑑定個所の撰定を吟味する必要あり），以上の三つをよく参酌勘案して，いわゆる路線価を各路線ごとに決めるのである。内部の手続としては，市の不動産評価委員会にかけて承認して頂くことになる。

市街地改造事業は，関係権利者の現在の財産（土地と家）と新ビルの区分所有型の財産（土地付きの床）とを交換する建前になっているのだが，交換の結果，等価的には現在使用の床面積が新ビルで半分位に縮少されるようなことになりかねない。これでは非常に苦しい話になるので，完全な等床は無理としても，少くとも7～8割程度の床面積を等価で交換できるように計画すべきであろう。もちろん全体的に見てのことで，権利者全員について考えるわけにはいかないけれども……，この大きな制約と現在の市街地改造が多少の赤字は覚悟しながらも，一応収支をペイしようとする制度，つまり不燃高層化して上階部を高価に売ろうとする点，また新ビルの建築費は何処に建てようとあまり差がないが，地価には大きな高低差がある点などから，大都市内部には市街地改造の要望地はたくさんあっても，あまり地価の安い処は無理である。地価の高い処ほど容易である。したがって地価の調査によってまず事業化の適否が決ってくるわけである。

次に事業区域内の路線価の均衡問題がある。一般に表宅地と裏宅地の格差が大きいほど面白い計画になると考えられる。すなわち表宅地は高く裏宅地は安いのだから，裏宅地の権利を買収して他所へ転出して頂き，表宅地の商業的に強い人達を収容すると話が早いのであるが，そのためには，裏宅地の評価を可能な限り高くする苦心が必要である。また前記の等価等床問題でも，裏宅地の評価が表宅地に比し著しく格差がある場合は，換床の位置について苦労することになる。何故ならビル化した後の敷地の評価は，表裏の差がほとんどなくなるものと考えられ，むしろ階別の評価におきかえられ，裏宅地の権利者を1階に収容しぬくい関係ができるからである。この点からも裏宅地の評価はできるだけ高くするよう配慮すべきである。

商業地区の地価は，一般的には，主要道路から一回曲るたびに3割引位に下って行く傾向にある。つまり裏宅地は二回曲った道路に面していることが多いから，7掛けの7掛けで表宅地の半値位になっているが，市街地改造をやろうとすればそのまま適用しない方策を講ずる必要がある。

4. 現地付近の権利価格配分率の調査

われわれが市街地改造を計画するようなところは，権利関係が錯綜しているのが普通である。権利関係が単純なところは個人が自力でやって了っている。一筆の土地に借地権者が家を建て借家人が住み込んでいるような状態を新ビルにどのように収容するのか？ ——底地権と借地権を別々に新ビルに入居させる必要が場所によっては生ずることがある——。また地区外へ売り退く人の権利をどう配分して買収するか？ この配分はあくまでも当事者である貸主借主間の話合いで決まる性質のものではあるが，話を早く付けさせるためと強制収用に踏み切った時の目安として，施行者側の考えている権利価格の配分率の大体の標準を発表明示する必要がある。

この配分率は全国一律ではない。その地区固有のものでなかなかつかみにくい数字であるが，その地区の慣習を調査し，地価の鑑定人などの意見を聞き慎重に決めるほかない。大阪駅前では，土地の権利配分を底地権4，借地権6とし，借家人がいる場合は借地権を折半する率とし，家屋の価格配分は5対5に決めて事業を行なっているが，大部分はこの率に近い線で話がまとまって，あるいは入居し，あるいは売り退きをしている状態である。

この配分率のことで，貸している側の人は，地代家賃が不当に安い場合借地権価格や借家権価格が安いように一般に思っているが，これは全然逆である。賃貸条件が不均衡に安価なほど，代替物件の発見取得が困難となり，したがってその縁切料は高くなるから権利価格は高価になるのである。注意を要する。

権利価格の配分に関連して，市街地改造事業の問題点に借家権者の処遇問題がある。借家権者は地主や家主のように不動産を所有しないのだから，新ビルの床との交換ができない。家主が取得した新ビルの床の賃借権しかない。借家条件の改訂が極めて厄介な仕事として施行者をなやますのである。もちろん当事者間の自主的な協議によって決められることを心から期待するのであるが，協議不調の際は，責任上施行者が法に定められた審査委員の同意を得て裁定することになっている。

この協議や裁定が，事業当初に行なわれるならば，両者の心構えがハッキリするのだが，なにしろ新ビルができてこないと実際にどんな物件の貸借なのか判然としないので話のつけようがないのである。借家権者——居住し商売をしている——の生活に重大な影響のないよう，施行者は家主さんに対し「新ビルの家賃をあまり上げないように」お願いしているわけである。

借家権が地方地方の慣行によって強弱不同であることは解るのだが，何か適切な立法によって権利の実体を明確化してほしいと思うのである。特に事業途上では借家権の単独収用が必要となるので収用法の適切な改正を望むや切である。

5. 事業区域の取り方

超過買収する範囲，すなわち新ビル建設用地の大きさ，厚さの決め方である。なかなかむつかしい。

わが国の都市は殆んど木造2階建程度の家屋で占められているため，再開発を思い止まる線を捜すのに苦心する。なぜ区域から除外するのかという理由の方が，なぜ編入するのかの理由より実際はむつかしい。区域が大きく厚い程，面白い計画ができ再開発の効果もすばらしいものになるのであるが，実務として大変で資金も多額にのぼり，工期も長期になって困難は倍加される。前述のごとく裏宅地が厚くても薄くても，国庫補助金は一定である現時点では

1）道路部分から新ビルに吸い込まれる権利者の量（間口奥行床面積）

2）新拡巾道路の経済的影響力

3）現在の地価の高低

などを勘案して，できるだけ小範囲にまとめるべきであろう。もちろん道路，溝，崖などが境界線になることが望ましい。区域の取り方の上手下手は最後まで事業の成否に大きな影響を与えるので，十分慎重に検討しておく必要がある。余談にはなるが，区域内の世帯主でお年寄り（特に婦人のお年寄り）が多いのは事業のP・Rに手を焼くので区域を決める際に注意を要する。

なお，あとになったが，区域の選定については市街地改造法第3条に厳重な6つの条件が要求されているので，これを満足させる区域であるべきことは論をまたない。

6. 新ビルの設計方針

新道路と新ビルの敷地が決ったところでいよいよ新ビルの設計である。市街改造で最も楽しかるべき仕事である。しかしあまり楽しくないのである。普通建築を設計する場合は，誰れが，何に，何処を，何坪使うという条件が大凡は決っているのであるが，本事業の場合はその条件が非常に不確定である。解らない条件があまりにも多いので困る。関係権利者の幾%が入居するのか，どの業種が入居するのか，また処分床（3階以上に多く存在する）の用途は何が適当か，すなわち事業開始の直前において，ビルの使用状況をどのように見積るか，正に神技に属する推定を行なわなければならないのである。にもかかわらず市街地改造法第4条には「新ビルの設計は新道路の整備によって生ずる空間の有効な利用および建物相互間の開放性の確保を考慮して建築物が都市計画上その区域にふさわしい階数，配列および用途構成を備えた健全な高度利用形態にしなければならぬ」と規定され，新ビルの設計は大きさ，階数，用途等が都市計画決定（国の意志決定）されるのであるから，われわれの単なる思いつきではすまされないのである。

新ビルの設計に際しては，大きくて立派なものを造りたいのが人情ではあるが，再開発後の姿を

大阪駅前市街地改造ビル　専用床の面積当り価格表

階別	専用床面積 Ⓐ ㎡	建築主体 単位面積当りの持分面積 Ⓑ ㎡/㎡	建築主体 単位面積当りの建築費 Ⓒ 千円/㎡	建築主体 単位面積当りの価格 Ⓓ 千円/㎡	建築主体 当階の持分価格 Ⓔ 千円	建築設備 単位面積当りの持分価格 Ⓕ 千円/㎡	建築設備 当階の持分価格 Ⓖ 千円	建築敷地 利用価値による比率 Ⓗ	建築敷地 単位面積当りの価格 Ⓘ 千円/㎡	建築敷地 当階の持分価格 Ⓙ 千円	合計価格 Ⓚ 千円	単位面積当り価格 Ⓛ 千円/㎡	単位面積当り価格 千円/坪	階別
12	6,286.45	1,721.32	52.111	89.9	565,161	45.8	287,873	34	50.1	314,651	1,167,687	185.8	614	12
11	6,084.99	1,753.35	〃	91.6	557,228	45.8	278,647	33	48.6	295,610	1,131,485	186.0	615	11
10	6,084.99	1,753.35	〃	91.6	557,228	45.8	278,647	33	48.6	295,610	1,131,485	186.0	615	10
9	6,084.99	1,753.35	〃	91.6	557,228	45.8	278,647	32	47.1	286,652	1,122,527	184.5	610	9
8	6,084.99	1,753.35	〃	91.6	557,228	45.8	278,647	32	47.1	286,652	1,122,527	184.5	610	8
7	5,849.61	1,751.46	〃	91.5	535,096	45.8	267,869	32	47.1	275,564	1,078,529	184.4	610	7
6	6,180.52	1,737.87	〃	90.8	560,980	45.8	283,022	32	47.1	291,152	1,135,154	183.7	607	6
5	6,160.36	1,725.33	〃	90.1	555,115	45.8	282,099	33	48.6	299,271	1,136,485	184.5	610	5
4	6,091.44	1,732.10	〃	90.5	551,059	45.8	278,943	34	50.1	304,891	1,134,893	186.4	616	4
3	3,755.54	1,818.53	〃	95.0	356,696	66.7	250,561	50	73.6	276,432	883,689	235.3	778	3
2	11,651.25	1,808.48	〃	94.5	1,100,502	72.0	838,589	60	88.3	1,029,127	2,968,218	254.8	842	2
1	7,939.84	1,922.15	〃	100.4	797,083	72.0	571,463	100	147.2	1,168,845	2,537,391	319.6	1,057	1
B1	8,160.08	1,918.29	〃	100.2	817,548	69.8	569,168	75	110.4	900,950	2,287,666	280.4	927	B1
B2 店舗	1,798.04	1,648.61	〃	86.1	154,818	65.0	116,871	25	36.8	66,174	337,863	187.9	621	B2 店舗
B2 倉庫	7,730.68	1,693.06	〃	88.4	683,588	12.0	92,995	10	14.7	113,805	890,388	115.1	380	B2 倉庫
B3 駐車場	2,878.89	2,317.59	〃	121.0	348,471	38.2	110,005	15	22.1	63,571	522,047	181.3	599	B3 駐車場
B4 倉庫	431.16	1,565.33	〃	81.8	35,249	12.0	5,187	10	14.7	6,347	46,783	108.5	359	B4 倉庫
B4 駐車場	3,855.76	2,227.00	〃	116.3	448,472	38.2	147,332	15	22.1	85,143	680,947	176.6	584	B4 駐車場
B5 倉庫	829.76	1,730.91	〃	90.4	75,012	12.0	9,982	10	14.7	12,215	97,209	117.1	387	B5 倉庫
B6 倉庫	1,361.99	1,607.36	〃	83.9	114,338	12.0	16,384	10	14.7	20,050	150,772	110.6	366	B6 倉庫
計	105,301.33	——	——	——	9,928,100	——	5,242,931	——	——	6,392,712	21,563,743	——	——	計

<注>

Ⓐ＝専用部分の床面積
Ⓑ＝専用単位面積がもっている専用部分の床面積（＝1）＋共用部分の床面積（専用床の位置による共用部分に対する利用上の依存度による比率）
Ⓒ＝建築主体建設費÷建築物延床面積
Ⓓ＝Ⓑ×Ⓒ
Ⓔ＝Ⓐ×Ⓑ×Ⓒ
Ⓕ＝専用床の位置による共用部分（設備）に対する利用上の依存度による比率
Ⓖ＝Ⓐ×Ⓕ
Ⓗ＝専用床の位置による利用価値による比率
Ⓘ＝敷地整備費（Ⓙの計）をⒽによって各階に配分したもの
Ⓙ＝Ⓐ×Ⓘ
Ⓚ＝Ⓔ＋Ⓖ＋Ⓙ
Ⓛ＝Ⓓ＋Ⓕ＋Ⓘ

いろいろ考えて，その区域の力に相応した設計でガマンすべきである。

私は関係権利者の再入居は⅔～¾位と推定しているが地区により条件により大胆に割り切る必要がある。また処分床の用途は住宅，事務室，商店，ホテルなどその場所に適当なものに決めざるを得ない。この場合最初から買手（百貨店など）が決っていると非常に都合がよいのだが，反面関係権利者から痛くもない腹を探られて困ることになりかねない。

住宅不足の折柄でもあり，また都心部に住宅を呼びもどせという声も大きいので，住宅を9階まで積み上げる計画を奨められるのであるが，採算面で問題がある。国や市の金で保護された公営賃貸住宅と競争するにしては市街地改造で造られる住宅は高価なコストになり，勝ち目が少ない。やはり商業的な用途を，ねらいたくなるのが人情である。

7. 新ビルの売価の算出

関係権利者へ売る価格と処分床を公募で売る価格を算出することである。価格の決め方は，前者には安くして後者でその損を埋めるのが建前である。

まづ新ビルの設計に基づいて各階各床の原価計算を行なうのであるが，これが大変な仕事である。原価計算の方法は市街地改造法第27条に詳細な規定があり，むつかしい数式で計算することになっている。なお，この数式を使う前に，法第26条の数式でビルの共同部分の共有持分と敷地の共有持分を計算しなければならない。

この26条の式の方が解き難い。詳細な解き方は他日に譲るとして，別表大阪駅前市街地改造ビルのコスト表を参照されたい。この表のうち，敷地の共有持分を各階へ配分する作業は，まだ共同建築物の実績に乏しいわが国の現状から，最も心臓を痛める仕事である。なおビル敷地のコスト計算（約64億）には土地買収費のほかに家屋の買収除却費，営業補償費なども含まれるので，かなり高価なものになる。

26条，27条が一般に難解であるため，この条項をとばして読まない人が多いが，市街地改造法の核に当る重要事項であり，われわれ技術者はこの数式を避けて通ってはならない。

各階各床のコスト計算ができたところで，関係権利者への売価を検討する。何割引にすれば元の床面積の7，8割の床を新ビルで無償で交換できるかの検討である。事業区域の大小，路線価の高低，建築設計の大小なども当然修正の対象となる。成案を得るまでには少くとも2，3回始めからやり直して見る必要があろう。この苦労を重ねないと事業に対する迫力が出ない。

処分床の売価の推定は，公共事業で儲ける必要はない。だから，事業の赤字を埋める価格でよいわけであるが，近傍類似のビルの貸借条件などを参考にして決めることとなる。しかしコストが既に時価を超えている場合は，市街地改造事業は非常に苦しいものになる。

8. 結　　語

以上の5項目の条件を発表公示すれば，大部分の関係者は入居か，非入居かの判断ができるはずである。ところが，納得のいかないグループが二つある。その一つは借家人達であり，もう一つは自分の土地に自分の家を建て自分が居住している地主達である。前者のなやみは家賃であり，これは前述のとおりであるが，後者のなやみは解りにくい。新ビルの敷地が共有になることである。

高層不燃化の巨大ビルが建築され，その建物が不特定多数の人達に区分所有された場合，その土地はも早やそのビルに附随する財産になり下がって，単独では経済性をほとんど失ってしまうのである。なぜならビルを撤去して更地にする費用（居住者の立退料も含めて）が地価を上廻ったり地代の値上げも衆寡敵せずでなかなか容易でなかったりするからである。市街地改造ビルの敷地を各階各床の共有にする理由はここにある。

もちろん，土地持ちが借地人になるわけでなく土地の単独分離売買ができなくなるだけで，日常なんらの不便もないのである。この理屈は関係地主もそれなりに理解できるのであるが，どうも好きになれない。自分の足の裏で確められるものでないと自分の土地とは思いにくいといって，われわれをなやますのである。外国では共用共有は珍らしくないそうだが，日本人は……。

いづれにしても，市街地改造ビルを繁栄させて納得して頂くことが肝要である。やはり維持管理そして運営の妙手か……。　　（完）

再開発建築施設の管理における問題

大阪市区画整理局市街地改造課　福原裕治

1. はじめに

人間が都市をつくった。それを人間が住みにくくした。そしてふたたび人間の手で住みよいものにつくりかえようとしている。都市は人間のための建築と，それを結びつける道路などから構成されている。建築関係者は人間のための建築をつくるとき，よいものをつくることに努力はするが，そこで住み，働き，使うことにあまり力を傾けないことがある。

都市と建築，それは外見を観賞するだけのものではなく，そのなかで人々が動き，生産し，休息するところであるから，これらの計画—設計—施工のプロセスで発揮すると同じ程度の，あるいはそれ以上のエネルギーで，出来上がったものをよりよい状態でより長い期間保持する維持管理の努力が払われねばならない。

2. 再開発後の施設・地域管理の認識

従来の再開発計画は，フィジカルな把え方でプランニングされる手法が主流をなしていた。それはたとえば，道路事情の絶対的悪るさとか，木造老朽家屋の過密化といった標準以下のものを一定水準に引き上げるという，せっぱつまった条件に拘束されて，ともかくも**ものをつくる**のに精いっぱいだったため，できあがった後の問題にまで手がまわらなかったものと思われる。このような努力が曲がりなりにも実を結びはじめ，再開発の事業化が一部で行なわれるようになった現段階では，再開発後の建築施設，地域の合理的，効率的管理方法の体系化，理論づけと本格的に取組む必要を認識しなければならない。

再開発建築施設では，従来の専用ビル，貸ビルなどの単一所有形態のものとは異なる多数所有で構成される区分所有ビル形態の権利関係の複雑な建物が計画されるようになり，そのビル管理は在来手法で処理できないケースとなってきた。

再開発地域管理では，主に都市供給施設と建築施設とに関係してくるが，これは再開発建築施設の所有形態が在来ビルなどの所有形態と異なること，さらに建築容積の増大に伴う供給量の増加などから，供給施設の計画および管理方法を再開発施設・地域に適合するような手法に改ためる必要がでてきた。

3. 再開発と区分所有

再開発にはいろいろな方法がある。今日わが国でもっとも一般的になっているのは，公共団体が都市計画として法体系を背景にしたリデベロップメント（全面改造）といわれるものであろう。この場合には公共性が重視されるため私権の制限が強くなるので，地域住民の反対がでて事業推進の隘路となることがある。

市街地改造はこうした障害を多少なりとも軽減するため，現物補償の建前から代物弁済の制度を採用し，従前土地，家屋の権利に代えて新建築施設の一部を権利価格相当分だけ給付（収容）して，従前権利者（地主，家主，占有者）を保護しようとしている。そして，権利給付床より余分に床を積層化し保留床を建築して公募による分譲を行ない，事業費に充当する手法をとる。

このような建築施設になると，従前権利者がそのまま建物を区分して所有し，さらに保留床公募による権利者などとの区分所有の形態となり，ここに建物区分所有に伴う所有権，共有持分権，そして建物管理上の複雑で困難な問題が生じてくることになる。

市街地改造は公共体施行に限定されているが，一般的にいって，再開発と区分所有の関係は再開発事業施行上の問題から出発する。土地利用を促進させるためには，まず一定規模の土地を必要とし，宅地の綜合化を図るため，大がかりな用地確保が要求されるが，公共施設整備の場合と異なって，この財源確保にはつぎのような方法をとることが考えられる。

再開発事業費中で大きな割合を占める用地費を軽減するため，従来宅地に係る権利を留保して，施行中用地は一時預かった形にしておき，そこに整備される建築施設の一部を，留保された権利と交換し——区分所有権の取得——さらに余剰部分を確保し，その処分によって得た資金を整備財源に充当するといった方法である。したがって，区分所有と同時に，建物の敷地および共用部分は共有される。（敷地は分割所有または借地権でもよい）

見方によっては，この区分所有はわが国の再開発事業

にとってもっとも有利な権利体系といえるのである。

4. 区分所有建築施設

1) 法　　律

一棟の建物が複数人によって個別に所有された区分所有建物は「建物の区分所有等に関する法律」（昭37・4・4法律第69号，昭38・4・1施行―略称区分所有法）の適用をうけるが，これは一棟の建物の多数所有形態が，次第に増加する傾向にあり，これらの社会的，経済的要求から，従来の民法規定(民法第249条～第264条)における共有概念では処理しきれなくなり，区分所有とそれに伴う共有規定などを整備する必要があったため，制定された。この法律が適用されるものにはつぎのようなものがある。

イ．分譲アパートなど：民間のコーポラス，マンション，ヴィラなどといわれる高級アパートから，住宅公団，住宅供給公社などの分譲アパートで，最近この形態の住宅が多くなっている。規格化されたプラン，住宅専用用途のため区分所有に関する問題処理は明確に行なわれやすく，この法律がもっとも適用されやすい。

ロ．共同建築物：主に土地所有者が土地相互提供などの共同出資により共同ビルを建設し，ビルの一部を区分所有するが，2～3人の区分所有が多い。

ハ．再開発事業に係る建築施設：市街地改造による施設建築物，防災建築街区による共同ビル，または特定街区による超高層ビルなど，区分所有者が多数になり用途も複雑で困難な問題が多くなる。

2) 敷 地 関 係

本法では，建物区分所有がその敷地使用権と無関係に成立する。そのため，敷地は分割所有，共有または借地のいずれであってもよい。市街地改造では施設建築物敷地は区分所有者の共有となっている。

3) 区分所有の意義

一棟の建物を多数の部分にわけて，その各部分を別個の所有権の目的とすることをいい，つぎの要件を備えていることが必要である。

イ．構造上の独立性：区分所有される空間が構造的に他から遮断され，それ自体独立したスペースとなり得るものであること。区画する材料の規定はないが，ただ区画部分―垂直面，水平面―は容易に移動もしくは破損されない固着したものであること。境界壁，天井，床スラブおよび扉で仕切られた空間がこれに当るが，ショーケース，上下のあいたスクリーンなどは隔壁とみなされない。共用廊下に面するシャッターはいいが，境界に壁の代りに設けるシャッターには諸説があって，常時シャッターダウンされていても専有部分の機能上，効用上支障がない場合は隔壁として有効である。エスカレータのある上下階は原則として区有所有権は成立しない。

ロ．効用上の独立性：その空間のみで独自の用途（住居・店舗・事務所・工場・倉庫その他建物としての用途）に供することができるもので，かつ空間の所有者がこれを使用することにより，なんらかの実益をあげ得るものであること。

以上の二要件を兼ね備えた数個の部分のある建物を区分所有建物とし，その各部分を所有権の目的とすることができる。

4) 専有部分の成立要件

建築空間としては区分所有権の目的となる部分が専用部分となり，建築設備ではメインルートから分岐された専有区画行きの支管およびその付属機器は専有物件となる。（**図1**，**図2**および**表1**参照）

イ．専有部分面積

通常，建築物の床面積算定は壁真寸法によるが，区分所有に係る専有部分の面積算定は法律では解釈にまかせられている。通説は専有区画壁の内法寸法で算定し，独立柱の全部，壁付柱は壁面の延長線以内の部分を，また出入口，開口部では壁の外面の延長線以内を（建具類，ガラスなどは専有物件）専有部分としている。なお，柱の取扱は当初の解釈では面積から除かれていたが，最近になって専有面積に算入すると解釈が変えられた。ただし柱自体は後述の共用部分であるから潜在的区分所有権があるだけで専有部分面積に算入されても取扱は共用部分と同様になる。

ロ．専有部分の高さ関係

専有部分の上下関係は，スラブ面より天井仕上面までとし，天井内部または二重スラブなどのスペースは共用部分となる。なお，床貼材，天井仕上材，壁仕上材などは専有部分となり，また設備配管，配線では主幹線から分岐された支管類は床埋設，天井裏または壁内埋設をとわず原則として専有物件となる。

5) 共 用 部 分

区分所有でもっとも問題となるのが共用部分の取扱であり本法の主要部分である。法律では「共用部分」とは専有部分以外の建物の部分，専有部分に属さない建物の付属物，および規約により定められた建物の部分および付属の建物をいうとされている。

イ．法定共用部分

建物の効用上当然に共用とされるものであってつぎの二つにわけられる。（**表2**参照）

A．構造上区分所有者の共用に供さるべき建物の部分　専有部分以外の建物の部分，および基礎，柱，梁，壁，スラブなど構造部分。

B．建物の付属物

建築付帯設備で設備機械，機器類および主配管，

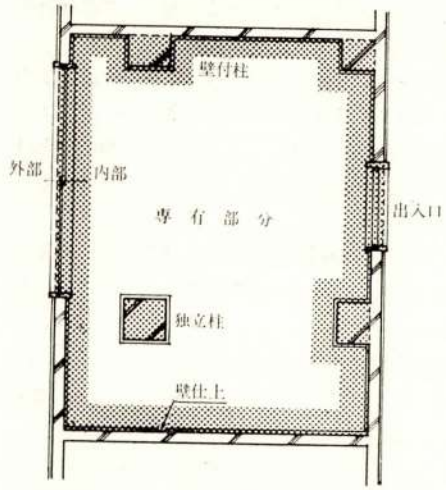


図1　専有部分平面図

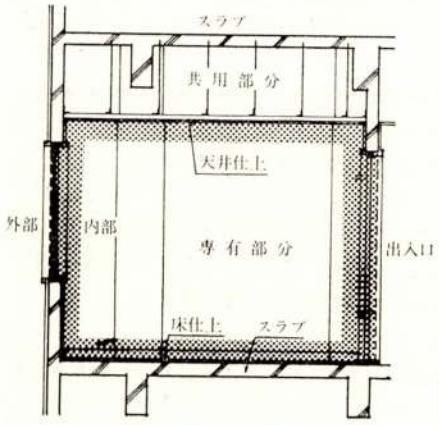


図2　専有部分断面図

表1　設備の所有区分一覧

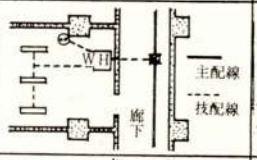
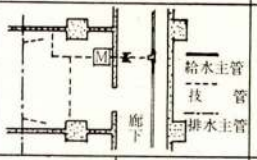
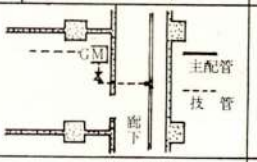
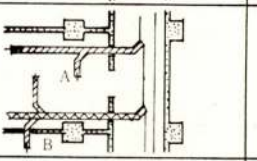
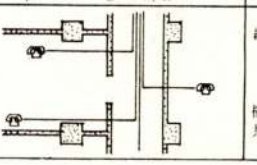
区分／設備	図解	共用部分	専有部分
電気		主配線 電灯線、動力線、非常灯線とも同様	主配線分岐点より以内 積算電力計、開閉器点滅器、照明器具
水道		主給水管 主排水管	主管と枝管のブランチ以内 止水栓、量水器
ガス		主管	同上 メーター、コック
空調		主ダクト 但し斜形ハッチ部分はA、Bの共有ダクト 排気ダクトも同じ	主ダクトから分岐した枝ダクト（斜ハッチ） 吹出口
電話（直通）		縦管――全体共有 横引管――グループ別共有	外管は区分所有者の共有、配線と機器は電々公社所有

表2　共用部分内容

区分	種類	例示（主として大規模建築物の例）
法定共用部分	A 建物の部分	・主出入口，ホール，ロビー，廊下，階段室，共用便所，湯沸室，洗面所，共用収納庫，屋上，アーケード ・機械室・電気室・空調室・ポンプ室および付属諸室―制御室，燃料庫，係員詰所，工作室，各種PS，DS，エレベーターシャフト，ダストシュート，煙突，各階空調室・電気室 ・基礎，地中梁，柱，梁，壁，スラブなどの構造主体，耐震壁，防火壁，専有区画壁
	B 建物の付属物	・設備機械：冷凍機，ボイラー，空調機，送風機，冷却塔 ・電気：受変電・配電装置，予備電源装置，電気時計，警報装置，放送・共同聴視装置，電話端子盤，PBX ・給排水：各種ポンプ，受・貯水槽，汚水・浄化槽，共用の衛生陶器 ・消火・防火：消火栓，散水栓，スプリンクラー，警報・通報装置 ・昇降機・同巻上機，各階空調・電気室内機器，屋上フェンス，ダストシュート，メールシュート，塵芥焼却炉，掲示板，各種計量器類，塔屋
規約共用部分	A 建物の部分	・事務所ビル：管理事務室，管理要員室，管理用器具・用品倉庫，従業員食堂，浴室，付置駐車場，電話交換室 ・分譲アパートなど：集会室，娯楽室，応接室，ロビー，管理人室
	B 付属の建物	・車庫，立体駐車場，物置，倉庫 ・共有の敷地内の建物，工作物―広場・公園施設 ・団地内では給水塔，ポンプ室，別棟の集会場，遊び場の施設

主配線など。敷地内の埋設物で建物内へ引込まれるもの。

ロ．規約共用部分

本来，建物の一部で区分所有権の目的となし得るもので，規約で定めることにより共用部分とすることができるが，その旨の登記が必要である。なお法定共用部分は登記できない。（表2参照）

A．建物の部分

分譲アパートなどの集会室，娯楽室，管理人室，または，共同ビルで

は管理諸室，付置駐車場など。

B．付属の建物

敷地内に設けられる別棟で，主屋の付属物とされる建物で規約により共用部分とされたもの。

6) 管理規約・その他

区分所有建物ではその運営・管理に必要な規定を区分所有者が定めることになっている。管理規約は区分所有法に定める事項によるほか，区分所有者相互の任意契約事項も定め得るが，一般に区分所有建物に関する規定内容はつぎのようなものがある。

区分所有者は専有部分に所有権を持つと，自動的に共用部分の共有持分をもつことになり，おのおのを単独で処分することはできない。共有持分は原則として，専有部分床面積割合により，これは管理費用の負担率とか集会における議決権割合ともなる基本的数値である。

区分所有者は共用部分管理に要する費用を負担する義務がある一方，共用部分の利用による収益（屋上広告塔の収益など）を収取できる権利がある。

区分所有者は集会の決議によって管理者を選任し共用部分の管理業務を委任することができ，管理者は特定の区分所有者か第三者であってもよい。集会は区分所有者の意志決定機関であって運営，管理，使用に必要な事項を決定する。

規約は区分所有者全員の書面による合意で成立しその効力は区分所有者の特定承継人にも及ぶ。

5. 区分所有建物の管理

区分所有建物管理の要点は，共用部分の維持管理と区分所有者の権利義務の調整にあるが，管理実務は普通のビル管理と大差はないであろう。

1) 建築施設の管理形態

一般に建築施設の建設主体―管理主体の関係は，**表3**のように分類される。

このうち，区分所有ビルに関しては通常，区分所有者となるものの一人が建設し，完成後は区分所有者の組合組織か，区分所有者のうちの一人が委任をうけて管理することになる。

再開発事業による場合は，公共体施行によって建設された建築施設を，区分所有者となるべきものが自主的に管理組合をつくり運営する場合と，区分所有者出資によるか第三者の管理会社に委託管理とする場合がある。

前者は施設規模が小さく，住宅などの単一用途に供される場合に限定され，大規模な多用途ビルでは組合管理は無理となり，会社組織による管理形態をとらざるを得なくなる。それは建築設備管理に高度な専門技術を要するため組合事務局の範囲で処理できなくなることが原因の一つとなろう。

また，建築施設内に公共的部分（アーケード，地下街通路など）がある場合，または立地条件によってビル内のスラム化が懸念される場合，およびビル使用上特に強い規制権が必要となる場合には，公共体が管理権，規制権を留保するため，管理組織に参画することも考慮されねばならない。これが管理公社方式となるが，区分所有者と協同出資の形態をとれば，管理会社に公共体が出資することでもその目的は達せられよう。（**図3**，**図4**参照）

表3　建築施設の建設―管理形態

建築施設	建設主体	管理主体
貸ビル	不動産業者 貸ビル業者	同左
専用ビル	一般企業 公共団体	同左の担当部課 または一括外注による管理会社
区分所有ビル	個人共同体 一般企業 再開発での地方公共団体	区分所有者による 管理組合 管理会社
分譲住宅	不動産業者 住宅供給公社 住宅公団	管理組合

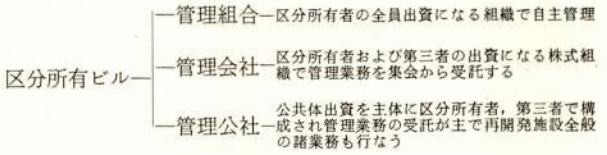
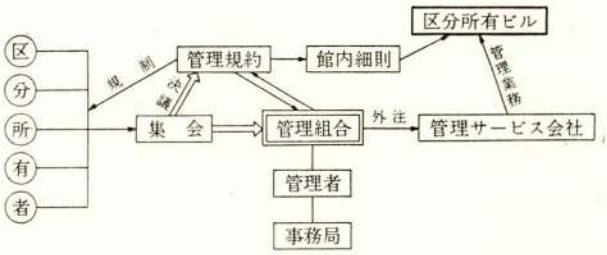
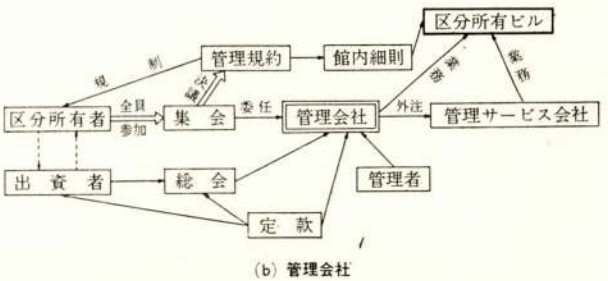


図3　区分所有ビルの管理形態



(a) 管理組合



(b) 管理会社

図4　区分所有ビルの管理機能

2) 管理限界

所有区分と管理区分は表裏一体のもので区分所有関係ではとくにそれを厳格にしなければならない。区分所有建物は専有部分と共用部分から構成されているので，専有部分はそこを所有する区分所有者または賃借している占有者が管理し，共用部分は前述の管理者である管理組合か管理会社が管理することになる。おのおの管理すべき範囲は図1で示された所有区分による。

共用部分のうち，アーケード，地下通路などで敷地内にあっても道路の延長のような使われ方をする部分がある場合（公共的部分），これは道路管理者である地方公共団体が所有管理すべき性格となる。このような場合，公共団体は公共的部分を所有するため道路建設補助と同じ考え方で，その部分の建設費負担を行なうことが望ましく，それにより，再開発建築施設の区分所有者に係る共用部分管理費の負担軽減と，共有持分の負担軽減（結局床価格低減になる）となって，地元側には安い価格で床の給付をうけ安い管理費で建物維持ができるので事業協力度が高まり，施行側もそれだけ事業進渉度が速まり事業効果があがることにもなる。

3) 費用負担

管理費用の負担は所有区分にしたがって行なわれるが費用の種類と負担方法はつぎのようになる。

イ．経常経費

A．一般管理費：清掃費，保安経費，冷暖房費，サービス管理費など，共益費に類するもの

B．使用料：光熱水，電話等使用料

ロ．固定経費

A．営繕，補修費：建物保全，設備保守・運転に要する費用

B．償却，租税等諸費：固定資本維持に要する費用

区分所有者はこれらのうち，専有部分の維持運営管理に要する全費用を負担するほか，共用部分に係るこれら費用を共有持分割合（通常専有床面積割合）に応じておのおの負担しなければならない。一般には管理者が共用部分管理業務の委任をうけているので，共用管理費は月当定額を徴収して経常経費に充当し，一時的に入用となる固定経費はその都度持分割合で徴収することになる。

占有者は賃主である区分所有者との借家条件により費用負担が異なるが，区分所有では共用部分に係る一般管理費と使用料などは管理者へ直接支払となるだろう。

4) 問題点

イ．区分所有法は大規模多数権利者の区分所有ビルには適用しがたい。例えば，専有区画規定のため細分区画ができなく（建築基準法第28条採光面の制約とも関連），ワンフロアー型式の店舗構成ができなく床利用効率が低下する。区画壁に代る専有区画線などは規定できないか。

ロ．管理規約の承認手続を簡素化できないか。罰則規定の明確・強化の方法はないか。入居業種の制限を法定化できないか。管理組織づくりの方法について区分所有者の全員強制加入といった規定はできないか。

ハ．区分所有権—管理権を明確にするため計画段階で，構造的に専有部分—共用部分の分離を行ない，所有区分を明らかにして管理限界をきめてしまう。これは設計過程で管理しやすいカタチにプランニングするという基本的態度につながる。

ニ．供給体（電気，ガス，水道）の給供規定を区分所有制に適した内容に改正すること。現在は住宅以外の区分所有ビルに対して，従来の単一所有ビルと同様一構内一計量システムとなっているため，区分所有ビルでは，専有部分計量を構内サブメーターで処理している。

ホ．建築施設管理について，今後ますます増加するオフィス需要によりビル内就業人口は増大するであろうが一棟の建築容量の超大化，設備の高級・複雑化などにともない管理内容も高度・専門化し広汎なものになろう。それに対拠するため，ビル内部では人間の生命，財産の保護を，ビル周りでは地区環境保全など都市計画的意味をふくめて，建築施設管理基本法のような法制化が必要となるのではあるまいか。

ヘ．都市再開発と建築施設の区分所有は，その結びつきを一段と強化させる必要があると思われるので，法的に具体化する方策を研究しなければならない。

6. 結び

市街地再開発はわが国における都市の将来にとって大きな課題である。手法的にみればわが国の経済，社会，および民族性の特性にマッチした私的不動産権利を残存させながら，地区改造を行なう再開発の妥当性がいえるのではないか。また，せまい国土の高効率土地利用をはかるために，宅地の積層化も推進されるだろう。

そのためには宅地の私権を留保しながら，細分宅地の整理統合による用地確保と同時に高容積建築物建設により権利空間を増加させる方法が考えられる。ここに建物区分所有の必然性が生じ，この観点から本稿は，区分所有建物に関する2・3の問題を考察したのである。

今後，都市計画，建築関係者は再開発と区分所有の関係に大きな関心をもって，市街地再開発の推進にあたらねばならない。（1966.9.18）

資料

・拙稿　市街地改造事業における施設建築物の計画と管理に関する研究　大阪市区画整理局　1965.5

・阿部諄　区分所有ビル　商事法務研究会　1965.11

大阪市における市街地改造（実例紹介と問題点）

大阪市区画整理局市街地改造課長　沖　尚一

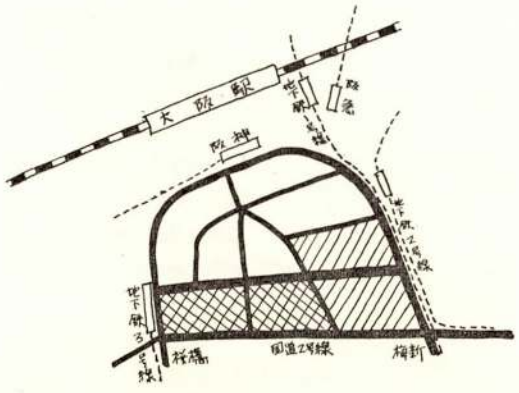
1. はじめに

大阪市で現在施行されている市街地改造事業は，大阪駅前地区と谷町地区の２ケ所である。駅前は戦後のバラック街から発展した過密商店街であり，谷町は非戦災地区で戦災復興土地区画整理区域に接し，この部分が都市計画街路のネックになっている街で，いづれも緊急に整備改善を要する地区である。

市街地改造は「公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律」（昭36年法律第109号）を根拠法とし都市計画事業として施行される。その要旨は都市計画決定された公共施設（巾員20M以上の街路および6,000M²以上の駅前広場）を整備する際，その周辺の街区整備も同時に行ない，そこに中高層建築物を築造するもので，都市計画法の「超過収用」を基礎としている。地域内関係権利者（土地所有者，借地権者および家屋所有者）には，現物補償主義により従前の権利に代えて新建築物の一部に立体換地方式で区分所有権を取得させ，また借家権者には従前の貸借関係を継続させて新建築物の一部に借家権を得させるもので，これら権利者がその地域を離散することなく営業，居住がつづけられる。また施行者側も用地取得に要する資金が不要となり，さらに従前権利者床のほか余剰床部分を積み重ね，保留床として一般公募による分譲で処分金を収入させることにより，建築物整備に要する費用に充当できるという二重，三重の利点を兼ね備えている。

この制度により広巾員街路ができるとともに，その附近の土地利用が増進され，整理統合された建築敷地が街区を形成し，地域環境の改善と不燃化が促進されることになるが，その施行主体は現在のところ整備される道路などの管理者，すなわち地方公共団体に限られている。

地域的性格により，大阪駅前は面状形態の改造となり谷町地区は長柄堺線（都市計画街路）沿いの路線的形態の地区改造となるが，後者が市街地改造法の第一主題である公共施設整備の本来的意図の上に立脚したものであり，前者は都市再開発といわれる建築施設整備を主題としたものといえよう。



大阪駅前地区位置図

2. 沿革と現況

1）大阪駅前地区

明治７年（1874年）に梅田停車場が開設されて以来，梅田附近は大阪市の表玄関となり，しだいに駅前繁華街を形成していったが，大正末期にはすでに，大阪駅前の整理改善が問題となってきていた。昭和９年（1934年）大阪駅舎の第３次改築（現駅舎の新築）を期にようやく具体化され，駅前地区北半分の約4.72haは，昭和10～15年度の土地区画整理事業によって街区整理がなされ，巾員25M，20Mの街路が造成された。その後，防火地域，商業地域，高度地区の指定をうけ高層建築も建ちはじめたが，戦争中は中断され緑の芝生となっていたことをご存知の向きもあろう。ところが，戦後の混乱期には闇市のバラックが無秩序に建ち，不健全な市街地となっ

表1　地区現況

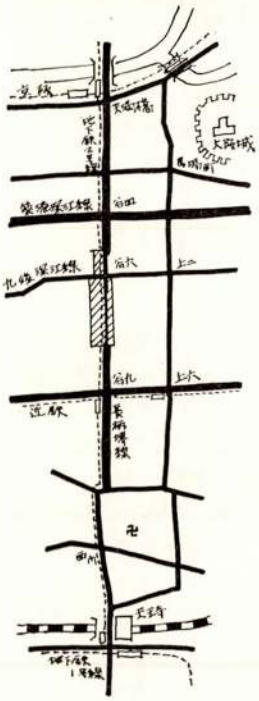
単位㎡

項目＼地区	大阪駅前地区	谷町地区
区域面積	59,830	58,400
道路	12,630	14,640
宅地	47,200	43,760
建築面積	36,255	25,582
延面積	79,240	41,559
建ぺい率%	77	59
宅地容積率%	168	95
街路率%	21	25

ていたが，その後の社会秩序，経済の回復にともない，昭和27年の第一生命ビルが完成したのをはじまりとして現在までに，梅田ビル，新阪急ビル，大阪神ビルなどの高層建築物街になりつつある。

一方，本地区の南半分5.98haの区域は，密集した低層の木造家屋，狭く曲りくねった道路，しかもその路上にはみ出して商売を行なう小規模店舗が今なお雑然と立ち並んでいる状態である。

大阪市はこの地区の整理改造にあたって，当初土地区画整理法第93条の規定による立体換地手法により，事業を行なうべく，昭和33年同法に基づく都市計画決定をうけたが，その後昭和36年に市街地改造法が公布されたため，同方式に切り替えることとなり，同年11月全国に先がけて市街地改造による都市計画決定を，同時に計画区域の西半分2.9haについて都市計画事業決定をうけた。そして昭和40年3月に新建築物への権利者の部屋割ともいうべき管理処分計画の認可，公告を行ない，同年5月起工式をあげ第1棟西側より工事に着手した。



谷町地区位置図

2）谷町地区

古くから工具，機械の問屋や小規模な印刷工場などが軒をつらねて繁栄したこの谷町筋は，戦争による被害をまぬがれた焼残り地区のため，戦災復興土地区画整理の対象から除かれた。そのため市内交通の南北幹線の一つとして昭和22年に決定された都市計画街路「長柄堺線」（北区長柄橋—天満橋—谷町筋—天王寺駅前—住吉区おりおの橋間，巾員27～40M）は，当地区の北と南まで拡巾されたが，ここがネックとなってとり残された。その後の市内大量輸送交通機関整備の要請からこの道路下を地下鉄2号線（守口—東梅田—天満橋—天王寺間）が通ることになり，街路整備はその面からも緊急を要することとなってきた。

当地区の建物は焼残りのため明治，大正時代からの老朽家屋が多く，宅地も細分化され，さらに谷町機械問屋としての老舗的価値が街路敷の単純用地買収による店舗離散を敬遠する意向となって現われ，街路整備に使われる区画整理とか用地買収などの従来手法では事業施行がむずかしいと判断されたため，市街地改造の立体換地的手法により街路築造を行なうと同時に，附近地の整備を行なうこととして，昭和38年12月5.84haを市街地改造を施行する都市計画区域として決定し事業に着手し，現在用地買収をおこなっている。

3．大阪駅前市街地改造

大阪駅前の梅田新道，桜橋両交差点を結ぶ国道2号線以北5.98haの地域に，地下6階，地上12階，塔屋4階，1棟面積9～10万M²の施設建築物，4棟計39万M²を建設する計画で，現在同地域西半分（桜橋側）2.9haで第1，第2街区が事業化され，第1棟はその西半分地下部分を建設中である。

施設建築物では各階の床使用について，あらかじめ，照応の原則にもとづく管理処分計画（施行地域内関係権利者の権利額および従前位置などを勘案して床部分の割り込み計画をすること）をする必要があるが，当事業区域内第1，第2棟への入居予定者が330名の多数にのぼり，さらに従前営業業種をそのまま継続するとはかぎらないし，権利床（関係権利者に譲り渡す床）以外の余剰スペースとして保留床を一般公募により入居させるようにしているため，管理処分計画は十数回の試行を重ね決定した。

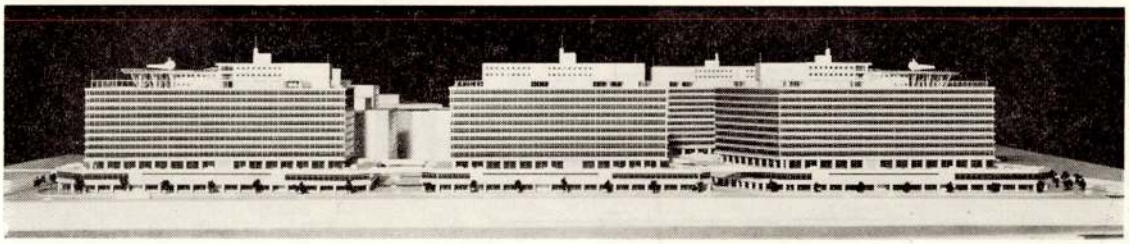
しかしビルとしての繁栄を期するとき，また設備計画上，運営管理上，建築物各階用途の規制を行なう必要があるため本計画の基本方針を地下1，2階は飲食・娯楽施設，地上1，2階は一般店舗，事務所，銀行，3～12階は事務所階としたが，一部権利床のためホテル，住宅を考慮しなければならなかった。

計画内容および形態，数値などは図，表を参照されたい。

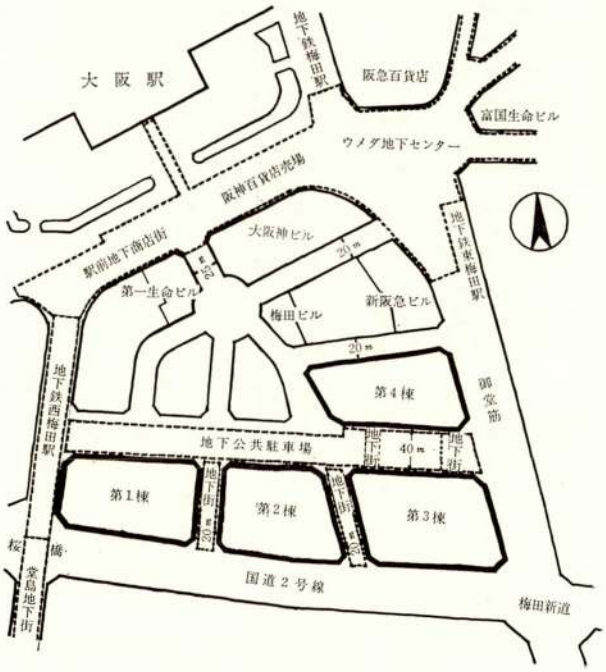
この計画による駅前附近に及ぼす

表2　用途別現況

大阪駅前地区				谷町地区			
用途	戸数 戸	床面積 ㎡	比率 %	用途	戸数 戸	床面積 ㎡	比率 %
繊維卸商	387	17,899	22.6	機械・工具	152	16,445	39.6
飲食・娯楽	245	27,643	34.9	印刷・紙加工	29	2,191	5.3
一般店舗	252	16,212	20.4	一般店舗	82	7,072	17.0
事務所・銀行	57	9,176	11.6	事務所・銀行	21	2,863	6.8
住宅	43	2,657	3.4	専用住宅	218	9,288	22.4
その他	14	5,653	7.1	その他	37	3,700	8.9
計	998	79,240	100.0	計	539	41,559	100.0



大阪駅前市街地改造模型写真



大阪駅前市街地改造計画図

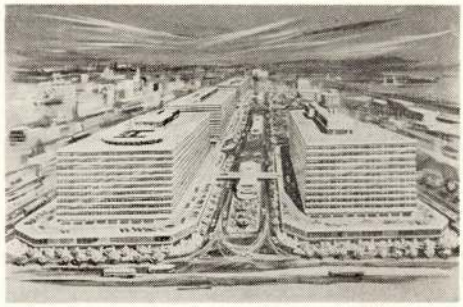
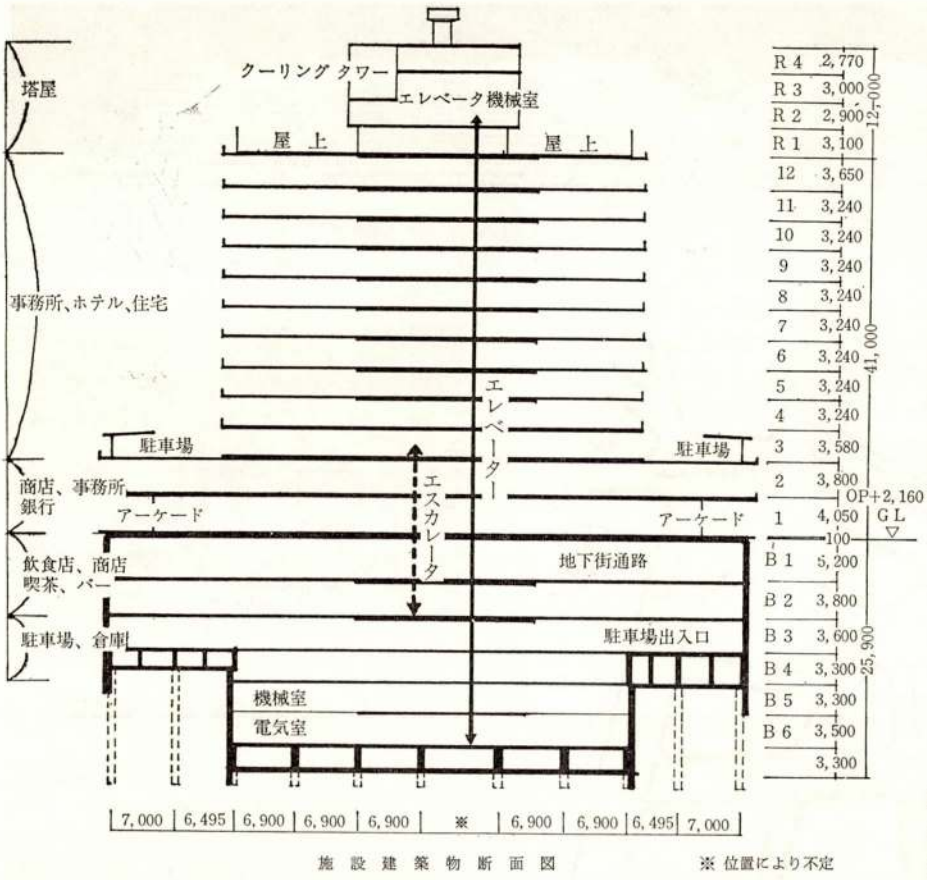


表4　土地建物改造前後対照（大阪駅前）

区分 / 項目	改造前 面積 ㎡	改造前 比率 %	改造後 面積 ㎡	改造後 比率 %	増減 ㎡
道路	12,630	21	22,930	38	＋ 10,300
宅地	47,200	79	36,900	62	－ 10,300
計	59,830	100	59,830	100	0
建築物	79,240	1.0	385,200	4.9	305,960

表3　計画の概要（大阪駅前）

項目 ＼ 街区		1	2	3	4	計
敷地面積 ㎡		9,200	8,900	10,400	8,400	36,900
延面積 ㎡		98,500	92,000	106,500	88,200	385,200
容積率 %		1,070	1,030	1,020	1,050	1,040
駐車台数	地上3階駐車場	123	130	121	97	471
	地下3，4階駐車場	176	169	205	169	719
	計	299	299	326	266	1,190
第一棟設備		電気設備：受電22KV，自家発電3相860KVA2，電話：2400回線 昇降機：乗用14台，貨物2台，エスカレーター：14台（B2～3F） 空調：ゾーンコントロールステップシステム，冷凍機：ターボ700RT×3，レシプロ650RT×2，パッケージ×8，ボイラー：煙管式7，空調機：40台，ファンコイルユニット：684台，給排水：市水本管250φ×2，受水槽1,700m³ ポンプ類：30台，ガス：200φ×2				



施設建築物断面図　　※ 位置により不定

効果は，まず第1～第4棟の地下商店街が連坦するため，西側では地下鉄3号線西梅田駅およびそれに連らなる堂島地下街に連絡して，堂島・中之島の業務地域とのつながりをもつこととなり，東側ではウメダ地下センターおよび地下鉄2号線東梅田駅に連絡しており，北の歓楽街に連結する。したがって，既設の大阪駅前地下道との接続を考えると，駅前地区の地下道路網の循環型ができ上り歩行者通行動線が地下街で確保され，連坦した地下商店街でのショッピングを楽しむことができることになる。

一方，自動車交通は本地域内の整備された街路を軸として，梅田地区の交通体系を一変させる効果を生ずるだろう。すなわち都市内交通網計画の再編成の波が，大阪駅前地区では本事業施行地域と密接な関係をもつこと，および大阪駅民衆駅化構想に伴う自動車交通需要の変化が波及することなどのためである。

また駐車施設では，40M街路下に地下2層の公共駐車場（市街地改造とは別途事業）を設け駐車能力500台とし，駅前地区およびその周辺地域（半径300M程度）の駐車需要に応じるほか，各棟3階セットバック部分に屋上駐車場を設け，それに接続する昇降路を40M街路に設置してブリッヂで各棟に連絡させる。

4. 問題点

大阪駅前市街地改造で問題となっている諸点についてまとめてみよう。

1）建築計画面で

ア．設計プロセスの問題

施設建築物は一般の建築物と異なって当初の設計計画の時点で，入居者の営業業種が不明である。これは市街地改造法の手続上の問題と関連してくることであるが，そのために大規模施設建築物では設備計画にもっとも支障を来たすことになる。

市街地改造の企画段階ではつぎのプロセスによる設計工程が行なわれることが望ましい。すなわち，

① 基本設計：（都市計画決定のため）
② 第1次実施設計：（割り込み計画用および事業決定のため）
③ 第2次実施設計：（管理処分計画決定，設備計画決定—最終設計になる）
④ 工事契約

これによれば管理処分によって位置の確定と設備計画上の諸資料が整った段階で工事契約ができ，設計変更およびそれによる工事費の精算が少くなくてすむ。それでも実際には権利者よりこまかい注文があり設計変更が多く，大規模ビルでは設備とからんで未定または変更は止むを得ないであろう。

イ．区分所有法と専有区画—管理処分計画

機能的，合理的管理処分計画（部屋割り込み）を行な

うには，区分所有法による専有部分区画壁が支障となることが多い。店舗構成上は営業者が細分区画されるよりも，ワンフロアー型式でレイアウトされることが利用上経済上，効率のよいものとなるが，所有権利区分を明確にしなければ権利登記ができない現行法制であるため，権利者によっては過少区画となり営業上支障が多くなるものがでてくる。

これが決定的にあらわれるのが地下駐車場で，保有車輌の駐車ワードごとに区画壁の設置が要求されることになり，従来型式のオープンタイプをとるならば区分所有者の規約による共用部分としなければならない。

ウ．駐車場出入口

建築物としての付置駐車場は地下３，４階，地上３階にあるがその出入口はいづれも40M街路内にあり，これは地下公共駐車場と同時施工となっているため，第１棟完成時には出入口がないことになるので，仮設昇降設備を設け代用させる計画である。本来，付置駐車場出入口は当該建築物敷地内に設けるべきであるが，管理処分計画上１階床面積の減少を防ぐ必要があったためと，面的再開発で街路整備も同一施行者が行なうという施行上の有利さから，関係当局とも打ち合わせて公共敷内に出入口を設けることになした。その意味から地区改造（リデベロップメント）としての有益性を取得した一つの典型といえよう。

２）施工面で

ア．内装設備の施工範囲

権利者に譲り渡す部分の内装設備はどの程度まで施工すべきか。標準仕上げで施工すれば簡単だが，それでは飲食店，喫茶店などではやり直す必要がでてくるので無駄になる。スケルトンで譲渡することもできるが，設備施工上支障があるので主配管，主配線ルートにあたる部分はある程度の仕上げが必要となる。これにはやはり権利者に対する内装設備の希望調査を行なって，ある程度それにかなう下地施工または主設備配管などを行なうことが望ましい。

イ．分割施工の問題点

第１棟工事は現住者の移転交渉が遅延したため西半分から着工し，東半分の施工はおくれることになった。そのため分割施工による計画上，施工上の諸問題が生まれた。まず設備面では半棟でも建物の機能が発揮できるような機械室関係のレイアウト，また構造・施工面では東西棟分割施工―接合にともなう不同沈下防止のためのチェックワーク，管理面では半棟ごとの完工―稼動ができるような権利関係の調整（区分所有にともなう問題），運営・管理方法など充分検討して万全を期すようにしなければならない。

３）管理面で

ア．管理組織

施設建築物は区分所有建物となるため，区分所有法にもとづく共用部分管理を行なわねばならない。本例の施設建築物は大規模多数所有多用途ビルの性格を帯びるので，管理会社方式が妥当と思われるが，区分所有者と会社出資者の結びつけが強制できない法体系にあるため，区分所有者あるいは占有者を管理組織へ強制加入させうる法制化が望まれる。

イ．管理規約

区分所有建物は管理規約で律せられるが，区分所有法は全区分所有者の書面同意を必要としているため，同意を得る時期，方法などを検討している。また同法では規約の規定違反に対する措置が不備と思われるので，違反に対する罰則規定を強化する方法を考慮しなければならない。

ウ．占有者の取り扱い

地域的特性で施設建築物入居者中占有者が多く，権利入居者数の60％が占有者で占められているが，規約でその取り扱いをどのように決めるかが問題となっている。（本来，規約は区分所有者相互間のとりきめであって占有者は部分的準用の方法をとることが多い。）

エ．供給系統と共用部分

電気，ガス，水道は各供給体の現行供給規定により，施設建築物も在来の単一所有ビルと同様，一構内一計量システムであり，財産分界点を親メーターまでとしているため，各権利者の各戸メーターは管理会社の管理範囲になっている。この方法は従来宅地の積層化を意図した立体換地思想を堅持する市街地改造とは矛盾することになり，各戸メーターまで供給体の財産分界点を移行させるべきであろう。一方，供給側管理限界からみれば供給施設ルートは公共敷内に埋設される原則があり，各戸口へ財産分界点をひき入れるには，道路からそこへ至る建物内のＰ・Ｓ，廊下などの共用部分を公共所有とする要求がでてくる。

建物共用部分の公有化はこのほか，区画街路の延長とみて市街地改造事業費財源の国庫補助対象（現在は都市計画街路である広巾員道路の建設費のみを対象にしている）に入れるべきだとの要望にもつながる。また共用部分管理をふくめたビル管理権へ公共体の管理権，規制権を留保する思想へもつながりをもつことになる。

5. むすび

大阪駅前地区は大規模な市街地改造事業として現在全国でも典型的なもので，とくにこれについてのべた。

市街地改造の歴史は浅く問題は山積しているが，当事者として今後も実務的，理論的にさらに歩を進めて，都市再開発としての市街地改造事業の成果を高める努力をつづけたいと念願している。　（1966.9.23）

神戸市における市街地改造事業

神戸市都市計画局市街地改造課建築係長　西　村　賢　進

〔Ⅰ〕まえがき

神戸市は，面積530km²，人口120万人の港都で，海と山が近く，北は六甲山，南は海に面し，東西に帯のように形づくられた街である。市域としては，六甲山系の北西に神戸市の約9割を占める丘陵田園地帯が広がっているが，その面積の比率とは全く逆に，人口，産業，交通，文化は，神戸港を中心とした六甲山系の南側の市街地に集中している。

ところが，この狭い市街地の建物のうち80%は低層の木造家屋であり，空は一ぱいあいている。木造の建物は火災その他の災害に弱いばかりでなく，高層化できないために高価な土地を非常にむだ使いしているといえる。

神戸市においても，すでに市街地の体質改善が痛感されていたが，昭和36年6月，都市の再開発をめざして市街地改造法が制定された。そこで神戸市では，長田区大橋地区に市街地改造事業を実施することになった。

大橋地区市街地改造事業は，昭和37年に着手し，この法律にもとづく全国最初の事業として昭和40年11月に全事業を完成した。その体験をもとに神戸市における第2番目の事業地域として，都心の三宮市街地改造事業に現在着手している。

ここに事業の経過を振り返り，その概要と問題点をあげてみたい。

〔Ⅱ〕大橋地区市街地改造事業について

(1) 計画の概要

① 位　置

国鉄の神戸駅と須磨駅の中間にある新長田駅を南へ約200m下ると，国鉄に平行して浜手幹線（国道2号線）が東西に走っている。この付近には，大正末期にできた大正筋商店街を中心として13商店街，約1,000店舗がアーケードに連なって栄えており，通称「西神戸」または「西新開地」と呼ばれている。そのうち市街地改造事業の実施区域として決定したのは，浜手幹線の拡巾に低触する商店街の人口部分の20,500m²の地域である。

② 地域選定の理由

神戸市を東西に貫く浜手幹線（国道2号線）は，神戸の最重要幹線であり，自動車の急増にともなって早急に拡巾整備の必要があったことと，また，この道路の中央に，高架の阪神高速道路神戸1号線の建設が急がれていた。

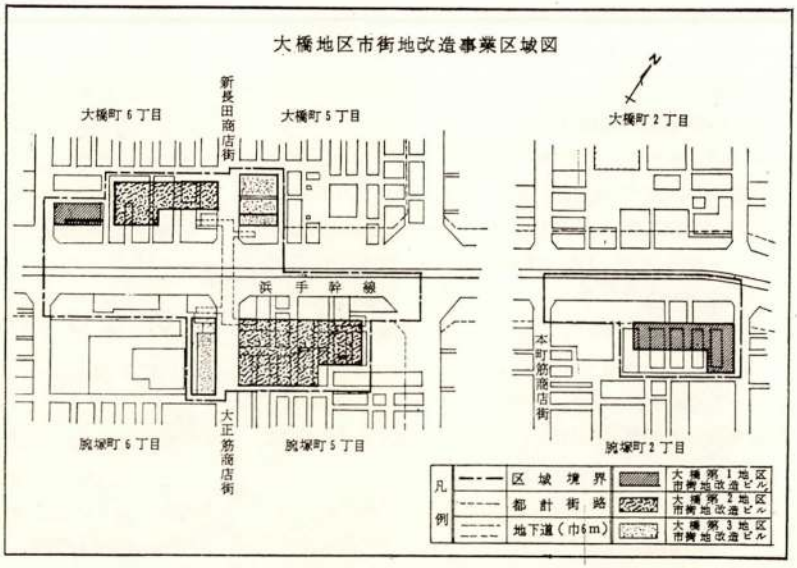
神戸は第2次世界大戦によって，市街地の約6割を焼失したが，この付近は非戦災地域で，木造の老朽家屋が密集しており，都心についで神戸第2の商業地域でありながら，すでに商店街も老朽化し，近代化のため不燃高層化の必要があったが，他の手法では上記の目的が達成できない地区であった。

③ 公共施設の整備計画

浜手幹線（国道2号線）は，在来巾員27mであったが南北それぞれ11.5mずつ拡巾し，50m道路として整備した。なお，この機会に横断地下道その他もあわせて整備をおこなった。

④ 建築物の整備計画

都市再開発事業の建築設計は，まず第1に，街全体を



考えた都市計画的建築設計であり，第2に時代の進歩に対応できる弾力的設計でなければならないと考えた。

なお，大橋地区では，各街区の特性と工程を考慮し，これを3地区6工区にわけて事業を進めることとした。（表1，表2参照）

⑤ 事業費と事業年度

事業費と事業年度は表3のとおり。

(2) 事業の経過

① 事業のスタート

事業の着手に当り，まずこの事業の特殊性を考慮して，昭和37年5月都市計画局に市街地改造課が新設された。課の発足とともに市街地改造法の研究と計画に併行して，地元との折衝を開始した。当時は市街地改造法の解説書も参考資料もなく，前例のない画期的な事業だけに，誰に聞いても解らないことばかりであったが，方針としては関係市民の声を十分聞いた上で，最も合理的な市街地改造事業を生みだそうと考えた。そして，夏から秋にかけて，連日，説明会と集団交渉と戸別訪問を繰返しながら，根気よく街の改造について話しかけたが誰1人として喜んでくれる人はなかった。街の改造はよいことだし必要なことだということは一応わかってくれても自分自身が直接関係するのは迷惑だというのが一般の考え方であった。しかし，私たちは歩き続けた。毎日歩いているうちに，この古びた街に私たち自身が愛情を持つようになり，私たち自身がまず，この街を若い美しい街に生まれ変わらせることの必要性を痛感するようになった。

② 再開発診断

毎日毎日根気よく訪問を続けるうちに，次第にうちとけ，不安や考え方も具体的につかめるようになってきた。

思えば，この事業は現在の街を取毀し，全く新しい街に生まれ変わら

表1 建築物の整備計画

区分	構造	戸数	敷地面積	建築面積	延べ面積	用途別内訳 店舗	住宅	その他	建ぺい率	容積率
改造前	木造	145戸	12,862㎡	8,144㎡	12,734㎡	73戸 7,671㎡	66戸 3,072㎡	6戸 1,991㎡	6/10	10/10
改造後	鉄筋コンクリート造	6棟	8,360	5,340	36,205		197戸 11,107㎡	5,159㎡	6/10	43/10
						19,939㎡				

表2 改造後の建築物の概要

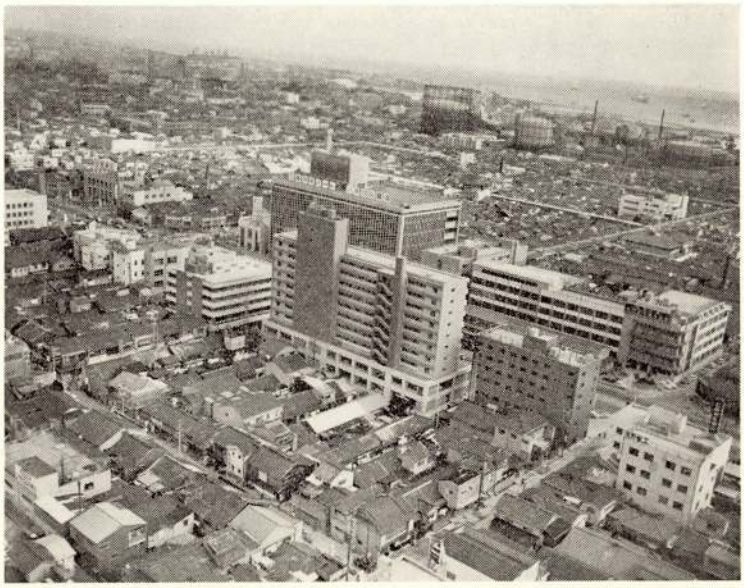
地区別	工区別	構造	階数	敷地面積	建築面積	延べ面積	建ぺい率	容積率	建築費	各階主要用途	工期
第一	腕塚町2丁目	鉄筋	地上5	㎡ 1,805	㎡ 1,006	㎡ 3,693	5.6/10	21/10	百万円 106	1～2階店舗 3～5階住宅	昭38.4～38.11
	大橋町6丁目西	鉄筋	地上6	400	269	1,575	6.7/10	39/10	47	1～2階店舗 3～6階住宅	38.5～38.12
第二	腕塚町5丁目	鉄骨鉄筋	地上7 地下1	2,910	1,894	16,215	6.5/10	56/10	1,130	地下～7階店舗	39.6～40.11
	大橋町6丁目東	鉄骨鉄筋	地上10 地下1	1,650	935	8,002	5.7/10	49/10	309	地下～2階店舗 3～10階住宅	39.6～40.11
第三	腕塚町6丁目	鉄筋	地上5 地下1	760	661	3,322	8.7/10	44/10	119	地下～2階店舗 3～5階住宅	40.4～40.11
	大橋町5丁目	鉄筋	地上5 地下1	790	575	3,398	7.3/10	43/10	128	地下～2階店舗 3～5階住宅	40.4～40.11
計		6棟		8,360	5,340	36,205	6.4/10	43/10	1,839		38.4～40.11

表3 事業費と事業年度

（単位百万円）

地区別	事業年度	総事業費	工事別内訳 公共施設工事費	建築工事費	補償費その他	財源別内訳 公共事業	市債	その他	建築工事 着工年月	完成年月
第1	37～38	324	5	153	166	120	140	64	38.4	38.12
第2	38～40	2,266	84	1,438	743	194	1,910	162	39.6	40.11
第3	39～40	461	28	247	186	54	370	37	40.4	40.11
計	37～40	3,051	117	1,839	1,095	368	2,420	263		

大橋地区市街地改造事業完成写真





向って左から 大橋町６丁目西ビル，中央は大橋町６丁目東ビル，向って右は大橋町５丁目ビル

せるための大手術であるが，いまだ前例のない大手術を実施しようとすればどうしても科学的な診断が必要だと考えた。

このような考え方から事業の実施にあたり，西神戸再開発診断を東京工大の石原舜介教授と神戸大学の荒川祐吉教授に，それぞれ専門の分野からの診断を依頼した。

再開発診断は，交通調査，市民生活実態調査などの諸調査を通じて，商店街の立地，沿革，業種構成，資力，売上げなどの立体的条件の分析と，商圏，顧客層，人口密度，地元産業，所得分布などの客観的条件を分析し，これらの中から今後の売上げ予測と繁栄策を誘導し，そのマスタープランに従って市街地改造ビルの建築計画や店舗配置を考えることとした。

③　PRと説得

事業実施の過程で聞いた関係市民の不安や反対の言葉を要約すると，現状に対する執着，共同化に対する抵抗，商売や生活の変化に対する不安，経費負担の増加および借入金の返済に対する心配などがあったが，これに対し神戸市では次のことを徹底的にPRした。

(イ) 科学技術の進歩にともなって都市再開発の必要な時代がきたこと。また，商店街も近代化しなければ時代の流れに取り残されること。

(ロ) 木造の建物は火事，災害に弱く，また，高価な土地のむだ使いで，しかもいつかは必ず建替える時期がくること。

(ハ) 自分たちの街は，自分たちの手でつくらなければならないし，栄える街づくりに参加するのが，子孫に対する義務であること。

(ニ) 市街地改造事業は，時代の必然的要求によって実施される事業で，地元にとっては飛躍のためチャンスであること。

しかし，再開発事業を実現するためには，さらに各個人の悩みを，親身になって解決する努力が必要で，お互に信頼と協力なくしてはできない難事業である。世の中には十人十色でいろんな人があり，たとえ一人でも協力を得られない人があれば，ビルを建てられないところにこの事業の悩みがある。

商店経営についても，幾度も研究会や他都市の見学などを行なって，根気強い話し合いの中から市民と市職員の間に信頼関係が生まれ，各ビル毎に協力会が発足した。そして年令，職業，思想の違う人たちが手をつなぎ，事業は次第に進展していった。

④　ビル建設工事

当地域の中で最もまとまりの早かった東西両端の２工区を第１地区として選定し，まずモデルをつくることとした。

昭和38年４月，第１地区のビル建設工事に着手，同年12月に全国最初の市街地改造ビル２棟の完成をみた。このビルは，いずれも規模の大きなものではなかったが，これが，その後の再開発事業に与えた影響は極めて大きく，市内各地で再開発ムードが盛り上がった。

第１地区の工事と平行して第２地区２棟の設計および関係市民との打合せは着々と進められた。この２棟は当区域内ではもっとも重要な位置を占め，また，権利者数も多く西神戸再開発計画上からも中心的存在であった。

ビルの計画については，再開発診断により，種々の分析の上に立脚したもので，それぞれ建築制限いっぱいの31mの高さとし，土地の高度利用をはかった。特に腕塚町５丁目ビルは純商業ビルとし地下１階から７階のうち５階までを，エスカレーター，エレベーターでむすんだワンフロアーの百貨店方式とし，諸施設を完備した。

あらゆる人々の協力に支えられて，第２地区は39年６月に工事に着手した。また，第２地区両ビルのそれぞれ向い側に建設する２棟を第３地区として，第２地区両ビルより工期の短い分だけ後から出発するよう計画，翌40年４月に着工，いずれも40年11月に同時完成をめざして工事を進めた。

第２，第３地区の工事は，共に商店街の入口部分にあたり，しかも，この４つのビルを国道下の地下道でむすぶ計画であったため，非常な難工事となった。特に，工事中の自動車と通行人の動線計画，商店街のムード保持対策，工事にともなう騒音振動および突貫工事による深夜作業などに格別の注意を払った。工事が進むにつれて隣家からは騒音，振動問題その他の苦情，関係市民からは設計変更の申し入れなどで，そのたびに工事はとまどったが，幸い事故もなく予定通り順調に進んだ。

昭和40年11月，大橋地区市街地改造事業の全事業が完成した。ついこの間までは線も太陽もない街角であったが，その一角に新しい街と広い道路が立派に出来上がっている。

〔Ⅲ〕市街地改造事業の再検討

市街地改造法が生まれてから５年，神戸市では大橋地

区の全事業を完成したが，思えば，全く前例のない，しかも関係市民の生活や商売を根底から変革させる難事業であった。それらの経験の中から都市再開発手法としての市街地改造事業の長所，短所を指摘すると次の通りである。

〔長所〕

1. 公共施設と宅地と建築物が同時に整備され，特に建築物が不燃，立体化され，市街地が近代的に美化される。
2. 市街地の複雑な権利関係が都市再開発の大きな隘路になっていたが，この事業は従前の土地，建物をすべて買上げ，出来上がったビルは区分所有，敷地は共有となり，権利関係が明快に再配分される。
3. 専門の公的機関（公共団体）が事業を担当し，市民の信頼が得やすい。
4. 事業推進のための強制力（区域内の土地収用制度）がある。
5. 公共施設整備費の範囲内で国庫補助がある。
6. 特別の建設資金制度（起債）と関係市民に対する融資制度（ビル取得価額と従前の資産価額との差は5年ないし10年の年賦償還が認められている）がある。
7. 従前の建物価値や借地権が補償され，また，借地権が保護されている。

〔短所〕

1. 再開発公共投資がないため，事業の採算性の故に広い事業地域がとれず，局地的な再開発になることがある。
2. 共同ビルの用途規制またはビル内で営業することが不適格な業種や不適格者に対して入居を制限する制度がないため，すべてのビルが用途混合の無性格な建物になり，また，騒音など共同生活者の平和を乱すこともありうる。
3. 低所得者に対する低家賃住宅対策がないため，その人たちの救いようがない。
4. 再開発に対する補助制度がないため，敷地および建物の共用部分(緑地，階段廊下など)や駐車場を十分にとり，再開発の理想を実現するには入居者に非常な経費負担をしている結果となり，なかなか実現しがたい。
5. 店舗内装については，各人の個性や好みもあり個人施工が望ましいが，融資制度がないために資金面から公共団体が引受けざるを得ない。これは工事中の設計変更が多く，また関係市民の自主性とビルに対する愛着心を失わしめる。
6. 個人の自主建築と比較した場合，市街地改造事業で施工する時は，規模の大きいビルになるため相当な工期が必要となり，その間の営業対策が難しい。
7. 事業完成後の経費負担に加えて税負担も大きいが，再開発事業促進のための減税制度がない。
8. 共同ビルの管理制度が確立されていない。

上記のような諸点が私たちの体験によって直面した問題点の主なものであるが，神戸市においても事業の完成とともに法律の一部改正を要望し，また，大橋地区に続いて計画中の三宮市街地改造事業では，少しでも改善すべきところは改善して，よりよい事業として発展させなければならないと考えている。

〔Ⅳ〕三宮市街地改造事業について

前述したように神戸市では，大橋地区に続いて第2番目の事業地域として，三宮に市街地改造事業を実施すべく本年5月より計画に着手した。ただちに関係市民に対しても，個別訪問と，集団説明会などに入った。

当三宮地区は神戸の都心であり，そごう百貨店，三宮地下街，大丸百貨店，元町商店街などを結んだ路線商店街の中心でもあるが，いまだに戦後の木造低層家屋が密集し，災害などに対しても全く無力なことはいうまでもなく，神戸の表玄関としてもふさわしくない姿であり，また，商店街の近代化，中央幹線街路（計画巾員36m）の拡巾など早急に再開発の必要性がある。

地域としては，国鉄高架沿い南側からセンター街商店街までの区域のうち約32,000m^{2}の3街区で事業年度としては昭和41年から45年完成を目標とし，事業費150億円で事業を実施する予定である。

そこで神戸市では計画にあたり，次のような基本方針に基ずいて建築施設を考えることとした。

① 総合的な街の体質改善を積極的にはかる。
　イ．国際港都神戸の表玄関としての建築計画を考える。
　ロ．都心商業地区の魅力をもつ街づくりを考える。
② 人工地盤造成の考え方で設計し駐車場と緑地を計画する。
③ 店舗，事務所，住宅，駐車場，レジャー，文化施設などそれぞれの用途別機能の分離した設計を考える。
④ 海と山にめぐまれた神戸の都市景観にふさわしい建築物を考える。

上記の点をそれぞれ生かした計画案が，この8月にでき上がった。構想としては，店舗は建蔽率10割の2階建とし，その屋上は駐車場，緑地に利用することとした。

なお，その上部にはシンボル的な高層の事務所ビルを中央の街区に，左右の街区には，住宅ビル，レジャービルを全体の調和を考えて配置した。

神戸市では上記の案を基本として，関係市民や学識経験者の意見を十二分に取入れ，よりよい計画に発展させそして立派な街づくりに努力する積りである。

〔Ⅴ〕むすび （省略）

各地都市における市街地改造

——その考え方と問題点と事業概要——

神戸市都市計画局市街地改造課　白国高弘

はじめに：世界の各都市において，都市再開発が論じられ，第1回都市再開発国際セミナーがオランダのハーグ市で開催されて8年が経過した。わが国においても，欧米諸国と同様都市の混乱と機能低下がさけばれ，都市再開発の緊急性と必要性が論じられていることは，周知のとおりである。こういった社会状勢のなかで1961年6月に「市街地改造法」[1)]が制定され，まず東京，大阪，神戸等が名乗りをあげ，つづいて他都市も続々とこの事業に名乗りをあげて全国に市街地改造ブームを起こしている。しかし市街地改造事業が現在成長期の段階にあり成熟期に至るには，まだまだ多くの時間を必要とするため，施行者が事業を推進する上で突き当るもろもろの困難と問題点は，事業進捗の程度によって，ローカリティの相違によって多くの差異を生んでおり，それ故各都市ともさまざまな困難と独自の問題点をかかえて事業を進めているのが現状である。題目は大阪，神戸以外の「各地都市における市街地改造」であるが，そういった現況のなかから各都市（大阪，神戸を含めて）が共通してもっているもの，あるいは将来（事業の進捗に伴って）当面すると考えられる問題点および市街地改造事業の考え方について，各都市から提案されているものをひろってみよう。

Ⅰ　市街地改造事業の考え方

市街地改造法の第3条は，従来の都市計画事業 1）用地買収方式，2）区画整理方式では，事業が非常に困難または不可能と思われる地域が市街地改造事業施行区域の条件として記されている。また，市街地改造法なる法律は（注）にも示してあるように，その正式名は「公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律」という長い名称の法律である。この法律名からうける印象は従来の都市計画事業と同様「公共施設の整備」を主目的としているということである。

以上の2点から判断する限りにおいては，市街地改造事業にこれといった画期的な特色を見い出すことはできない。ところが法律の内容を更に詳細に検討してみると市街地改造事業とは公共施設と建築敷地と建築物を都市計画事業の一環として実施するところに画期的な特色があることを見い出すことができる。この2つの一見矛盾したような考え方から市街地改造事業の根本的な考え方を見い出せるのである。「市街地改造法」制定当時において，未だ都市再開発並びに区分所有建物に対する認識がうすく，区画整理方式での事業施行困難な地域の「公共施設の整備」からスタートして，土地の換地の考え方を区分所有建物への立体換地の思想に着想させたように思われる。

しかし，いやしくも都市計画事業として建築物の整備を計画するからには，当然その地域の社会的使命や建設する建築物の正しい用途や機能を考えなければならない。少なくとも道路整備を実現する手段として在来の居住者を無秩序に立体的に積み上げるが如き不見識な建築設計は都市計画事業として許されないし，また地元関係市民の協力を得られるはずもない。結局，市街地改造事業はその法律の発想がどうであれ，事業の性格上必然的に都市再開発事業としての使命と宿命を背負っているといえよう。市街地改造事業の都市再開発へのアプローチが現在の状勢下にあって公共施設整備の緊急性からスタートしたとしても，「市街地改造法」の制定により，従来の「線的」「面的」都市計画事業が「空間的」事業へと発展する道が開かれたことになる。道路整備が都市計画事業であるという考え方から建築敷地，建築物をも含めて公共施設の整備を図ることがよりすぐれた市街地改造事業施行への不可欠の要素となる。市街地改造事業が都市再開発の一手法であるという認識から出発して，当面する問題に対処するところに市街地改造事業の意義があり，そういった立場から当事業は評価されるべきである。

Ⅱ　市街地改造事業推進上の問題点

1. 市街地改造事業施行地区の選定理由と問題点

各都市が市街地改造事業の施行地区の選定理由としてあげている主な点は，

イ）従来の用地買収方式，区画整理方式では道路拡巾が困難であり，かつ，拡巾，貫通が急がれている。

ロ）非戦災地域が都心または副都心的地域にとり残されており，道路だけの拡巾では都市の機能低下の防止，土地の高度利用，都市美観，都市の健全化を図ることができない。

ハ）以前に一度区画整理事業で整理したことがあり，再度区画整理事業および用地買収方式によって宅地を削減することが困難である。

ニ）商店街を形成しており，そのため道路整備と合わせて地区の再開発が必要となっている。

の４つに集約することができる。しかし，更に要約すると公共施設整備の緊急性と都市の体質改善の必要性の２点にしぼることができる。（もちろん，市街地改造事業を施行するためには，法律で定められた条件を満足しなくてはいけない。）

それでは，法的要件と緊急性と必要性の３条件がそろっていれば市街地改造事業が施行可能であるかといえば施行者側にとっては，それだけでは事業に踏みきれない問題が残っている。それは，事業施行による赤字の額（ある数少ない特殊地域以外は，市街地改造事業を施行することにより赤字を出すことになる。）の問題である。額が大きくなりすぎると施行者として，公共投資のあり方を問われるであろうし，公共事業として利益を生むことも行政のあり方に問題を残すことになる。最後的には，公共投資の限度と各都市の赤字負担能力の点から施行の可否が規定されてくることにもなる。この原因は市街地改造事業が建築敷地および建築物の整備をも都市計画事業の一環として認めながら，未だこの事業の補助対象を公共施設にのみ限っているところにあるのではなかろうか。法的要件，緊急性および必要性の３条件をそなえた地域については，すみやかに当事業が施行しうるような措置が必要である。これらの措置についての各都市の提案をひろってみると，

イ）法的要件の緩和

ロ）公共施設を6,000m²以上の駅前広場，巾員20m以上の道路に限らず，公園，広場，一定巾以上のビル内通路等にまでその適用度を広げること。

ハ）再開発融資制度，再開発補助金制度の創設

の３点が主なものである。これらの考え方が前進的な思想で進められるならば，市街地改造事業も一層の進展をみせることになろう。

2. ビル設計上の問題点

都市再開発の見地から設計されたビルとそうでないビルとでは，現在の時点においては，差があってもいいのではなかろうか。市街地改造事業によって設計されたビルとは，その地域の社会的使命，立場等を特に考慮して設計されるべきである。少なくとも一建築敷地に設計され１ロットとして完成してしまうものと，何らかの形で全市のマスタープランと関連性をもち，社会の発展と都市の膨脹に促応できるような建築形体をもたなければならないものとの差はあるはずである。

しかるに，それらの要素をとり入れれば入れるほど事業推進の上からは大きな障害となる。都市再開発という言葉とはうらはらに，その設計は土地の高度利用と不燃化という方向に落ち着いているようである。もし，公園，緑地，駐車場等のパブリックスペースを十分にとる方が有利だという結論を引きだせるなら，市街地改造事業の実質的効果は非常に大きいものとなり，市街地改造ビルが将来のビル設計の方向を示すことにもなろう。各都市ともそれらの条件が満たされるときを切望している。

3. その他の問題点

前述した如く，市街地改造法制定時の考え方と実際の事業施行時に際してのギャップからいろいろの法改正に対する意見が提案されている。その主なものとその目的としているところを列記すると次のとおりである。

イ）法律名の省略

現行の長い法律名「公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律」を短く「市街地改造法」と省略しようという考え方。この思想は「公共施設の整備に関連しない」市街地改造法の制定を切望するものである。

ロ）実施地域の条件緩和

市街地改造事業の施行地区適合の範囲の拡大を図る。

ハ）事業施行者の範囲の拡大

公社，公団等にも市街地改造事業の施行を可能にすることによって，更に広域にわたって事業の実施を図る。

ニ）手続の簡素化

事務手続を簡素化して，事務能率の向上を図る。

ホ）住宅公団との合併施行

市街地改造事業と住宅建設とは不可分のものである。そのため公団と合併施行をすることにより事業の円滑化を図る。（この問題については，現在前進的な方向で話が進められている。）

ヘ）低所得者層に対する措置

都市再開発を目的とする市街地改造事業に地元市民が協力しやすいように，また協力者すべてが事業完成後の繁栄を得るために。

ト）管理処分計画時における用途規制

チ）区分所有ビル管理上の用途規制

リ）他地区への飛換地による管理処分計画の問題

以上の問題点はごく一部の問題であり，実際の施行にあたっては，さまざまな問題点があることを付記しておく。

おわりに：わが国における都市再開発の動きは欧米諸国と比べれば，近代的都市計画という域では未だ創世紀の域を出ず，成熟した果実を求めて各方面から努力が払われている。そのなかで市街地改造事業が以上のような多くの困難と問題点をもちながらも，その先駆的役割を

〔付〕　全国の市街地改造事業の概要（大阪・神戸は除く）

（付表—1）　事業の名称および施行地区

	事業の名称	施行者	施行地区	面積 ㎡
札幌	札幌市都市計画事業札幌駅前通第1・2地区	札幌市	札幌駅前通地区	3,788
浦和	浦和駅西口地区市街地改造事業	浦和市	浦和市高砂町1丁目	21,737
東京	東京都市計画新橋駅前市街地改造事業	東京都	新橋駅前地区	29,544
横浜	鶴見駅西口地区市街地改造事業	横浜市	横浜市鶴見区鶴見町	26,200
熱海	熱海駅前市街地改造事業	熱海市	熱海駅前	19,243
名古屋	名古屋都市計画事業小鳥町第一市街地改造事業	名古屋市	名古屋市中村区花車町 〃　〃　小鳥町	9,960
金沢	金沢都市計画武蔵地区市街地改造事業	金沢市	金沢市安江町	19,349
茨木	阪急茨木市駅前地区整備計画	茨木市	茨木市駅前	17,658
姫路	姫路都市計画船場地区市街地改造事業	姫路市	姫路市延岡町 〃　船丘町	9,007
福岡	福岡都市計画清川1丁目C地区市街地改造事業	福岡市	福岡市清川1丁目	5,095

（付表—2）　公共施設整備計画

	種別	名称	全体計画		現在巾員	地区内			備考
			巾員	延長		巾員	延長	面積	
札幌	道路	札幌駅前通	36m	2,025m	20m	9～9.7m	144.7m	1,460㎡	第1・2地区の合計
浦和	広場	—	—	7,275㎡	3,355㎡	—	—	—	
	道路	Ⅱ35道路	22m	76.8m	18m	4m	—	—	
東京	道路	—	15～43m	611m	8～36m	3～7m	—	—	
	広場	—	47～56m	196m	45m	2m	—	—	
横浜	道路	Ⅰ38，Ⅱ3,4	18～22m	239m	11m	7～11m	—	—	
	広場	—	—	6,900㎡	—	—	—	—	
熱海	道路	—	15～20m	209m	12m	3～18m	—	—	
	広場	—		11,527㎡	4,978㎡	—	—	6,549㎡	
名古屋	道路	広路7号江川線	22.3m	194m	9.6m	—	—	—	都計街路
金沢	道路	金沢駅通線 香林坊彦三線	22～36m	272.5m	15m	7～21m	—	—	都計街路
茨木	道路	—	7m	630.5m	—	—	—	—	
	広場	—	—	7,245㎡	—	—	—	—	
姫路	道路	Ⅱ1,7国道線	27m	254㎡	11m	16m	—	—	
福岡	道路	Ⅱ1,13　博多駅長浜線	36m	4,270m	15m	21m	119m	—	

果していることは事実である。この事業に少しでも関心をもつ者，従事する者すべてが将来への発展の可能性を追求し，期待したいものである。

なお，〔付〕として全国の市街地改造事業の概要を表にまとめておいた。（付表-1～6参照）

（注）1）「市街地改造法」——正式な法律名ではなく，正式名は「公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律」

（付表—3）　土地の整備計画

	道路				宅地				合計
	改造前		改造後		改造前		改造後		
札幌	1,125㎡	33.3%	2,152㎡	64 %	3,355㎡	66.7%	2,328㎡	36 %	3,380㎡
浦和	5,588	26	11,991	55	16,149	74	9,746	45	21,737
東京	17,236	58.2	20,386	69	12,308	41.8	9,158	31	29,544
横浜	8,281	31.6	14,430	55.2	17,919	68.4	11,770	44.8	26,200
熱海	6,951	36	15,387	80	12,292	64	3,856	20	19,243
名古屋	3,162	32	5,783	58	6,798	68	4,177	42	9,960
金沢	5,164	27	9,037	47	14,185	73	10,312	53	19,349
茨木	—	—	—	—	—	—	—	—	—
姫路	821	9	5,143	57	8,186	91	2,760 (1,104)	31 12	9,007
福岡	1,507	29.6	2,730	53.6	3,588	70.4	2,365	46.4	5,095

（付表—4）　改造後の建築物計画

	地区名	構造	階数	敷地面積	建築面積	延べ面積	建ぺい率	容積率	建築工事費 単価(3.3㎡につき)	建築工事費 金額	各階主要用途
札幌	札幌駅前通	鉄骨鉄筋	B2 F8	㎡ 1,965	㎡ 1,925	㎡ 16,633	% 98	% 850	千円 225	百万円 1,125	B1～F3 店舗 F4～F8 事務所，住宅
浦和	浦和駅西口	RCO	F9	9,746	7,655	65,646	78.7	673	333	6,670	—
東京	—	鉄骨鉄筋	B4 F9	9,158	8,413	107,739	92	1100	304	9,921	B2～B3 駐車場 B1～F9 店舗，事務所
横浜	鶴見駅西口	S.P.C	B2 F9	11,765	8,259	67,613	70.2	574.7	180	3,484	B1 駐車場 F1～F3 店舗 F4～F9 店舗，住宅
熱海	熱海駅前	鉄骨鉄筋	B3 F9	3,801	3,526	33,422	93	876	188	1,883	B2 駐車場 B1～F9 店舗，事務所，住宅
名古屋	小鳥町第1地区	鉄骨鉄筋	B2 F9	4,178	4,073	39,199	96.3	938.3	—	—	B1 駐車場 F1～F3 店舗，住宅 F4 オープンコート F5～F9 事務所
金沢	武蔵地区	RC	B1 F4	10,312	8,455	30,943	82	300	145	1,379	B1～F1 店舗，駐車場 F2 店舗 F3 事務所 F4 住宅
茨木	—	—	B2 F8	—	—	23,180	—	—	163	1,089	—
姫路	船場地区	RC	F4	2,760	1,849	6,396	67	231	90	174	—
福岡	清川1丁目C地区	—	B2 F5	—	—	9,183	—	—	173	480	—

（付表—5）　事業費および年数

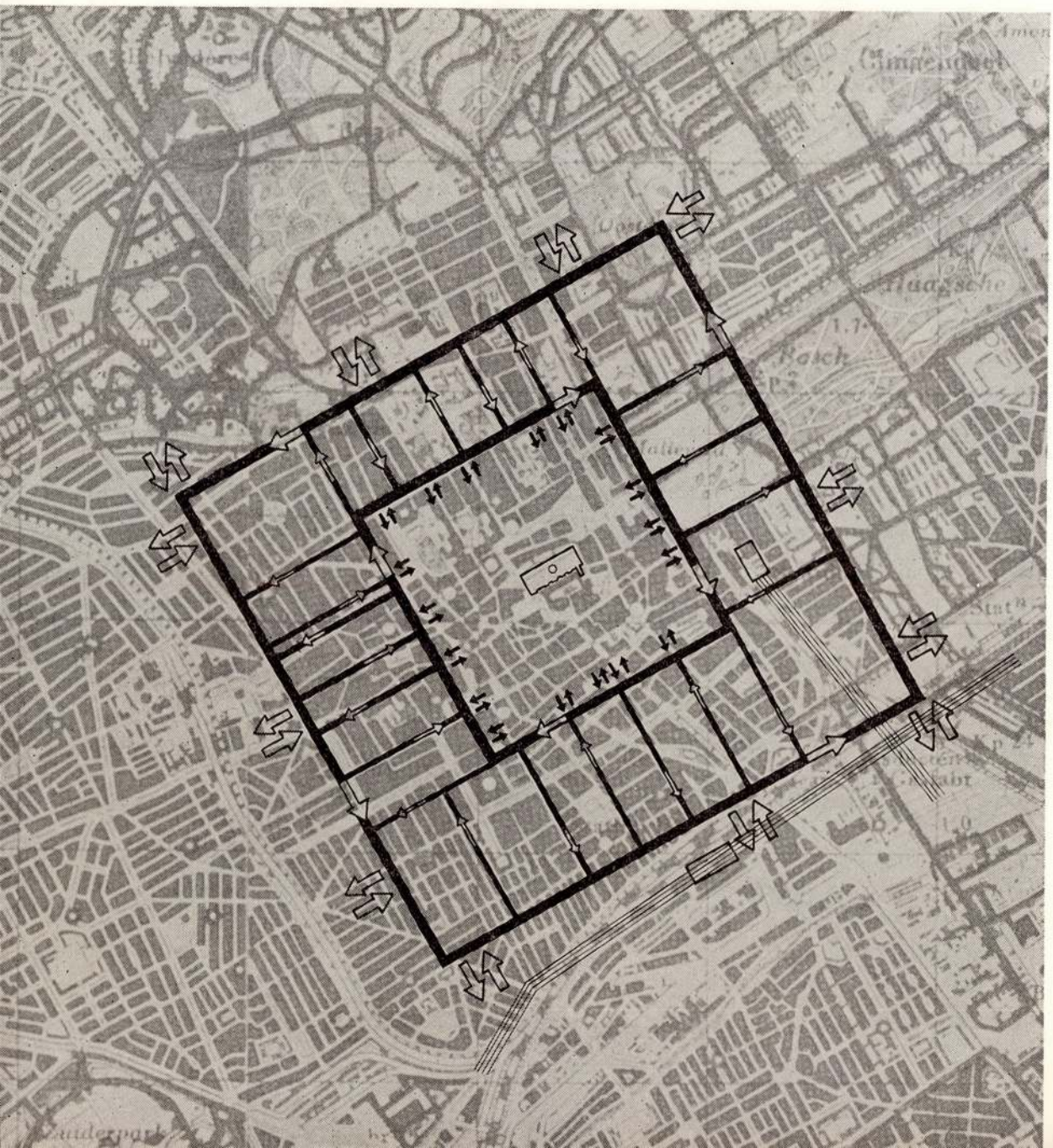
	事業年度	総事業費	備考
札幌	年度 38～41	百万円 1,611	昭和41年11月完成予定
浦和	—	8,085	
東京	37～43	20,489	昭和41年9月1・2号ビル完成
横浜	—	5,452	
熱海	38～42	2,916	
名古屋	38～41	2,700	
金沢	41～45	1,850	
茨木	—	1,613	
姫路	36～45	700	昭和40年12月1号ビル完成
福岡	40～43	830	

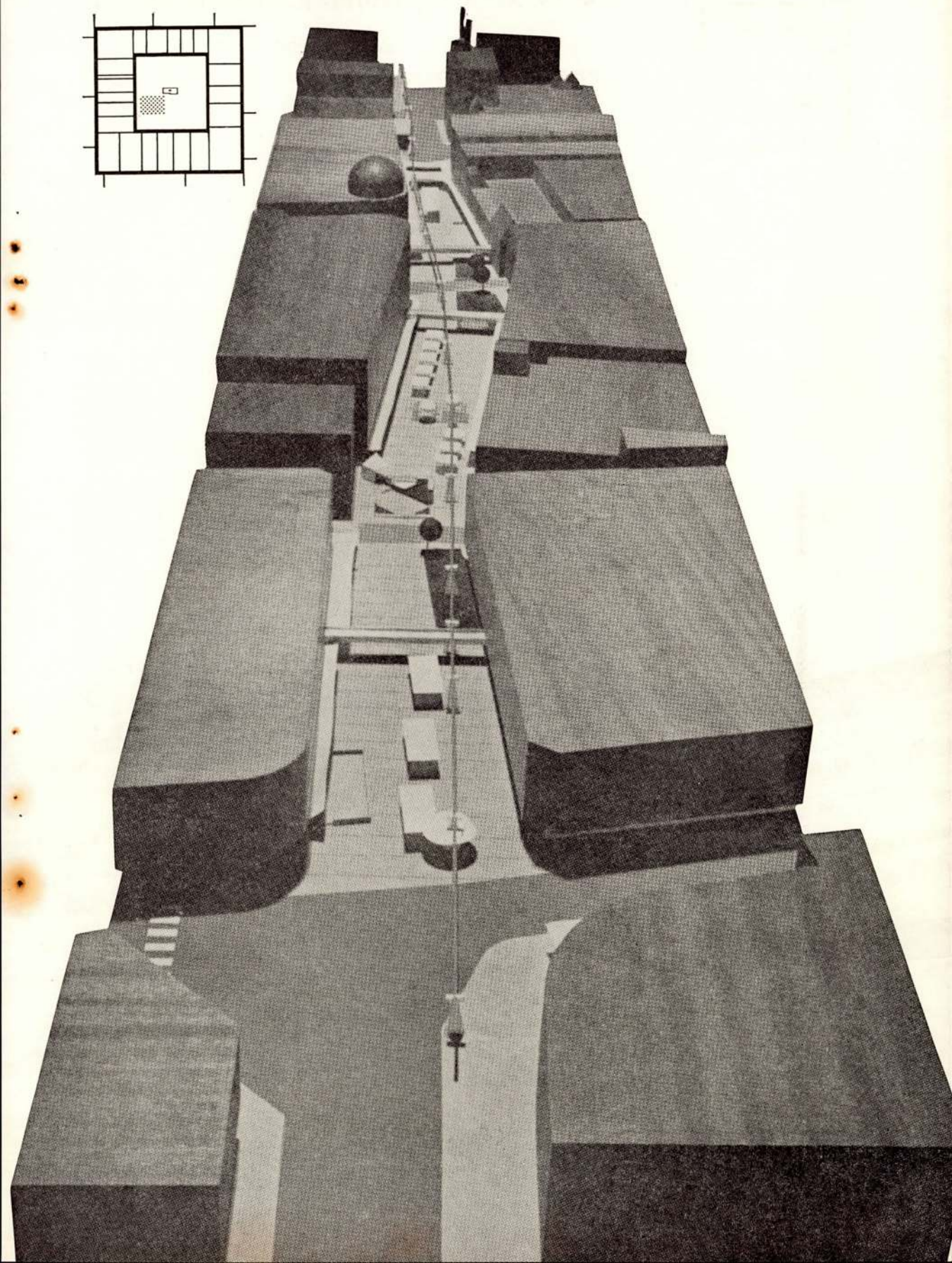
（付表—6）　事業担当局・部・課

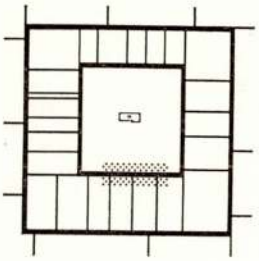
	担当局・部・課	課発足
札幌	建設局計画部市街地改造課	昭38. 5
浦和	都市計画部市街地改造課	昭40. 4
東京	建設局都市改造課市街地改造課	昭38.12
横浜	計画局区画整理部	—
熱海	建設部市街地改造課	昭39. 7
名古屋	計画局計画部都市改造課（市街地改造係）	—
金沢	建設部開発第一課（区画整理係）	—
茨木	都市計画課	—
姫路	計画局市街地改造工事々務所	昭37. 4
福岡	建設局都市改造課	—

オランダ・ハーグにおける市街地改造計画

計 画 地：オランダ・ハーグ市中心部
規　　模：約1.8㎢平方
計画立案：B. N. A.（オランダ建築家協会）





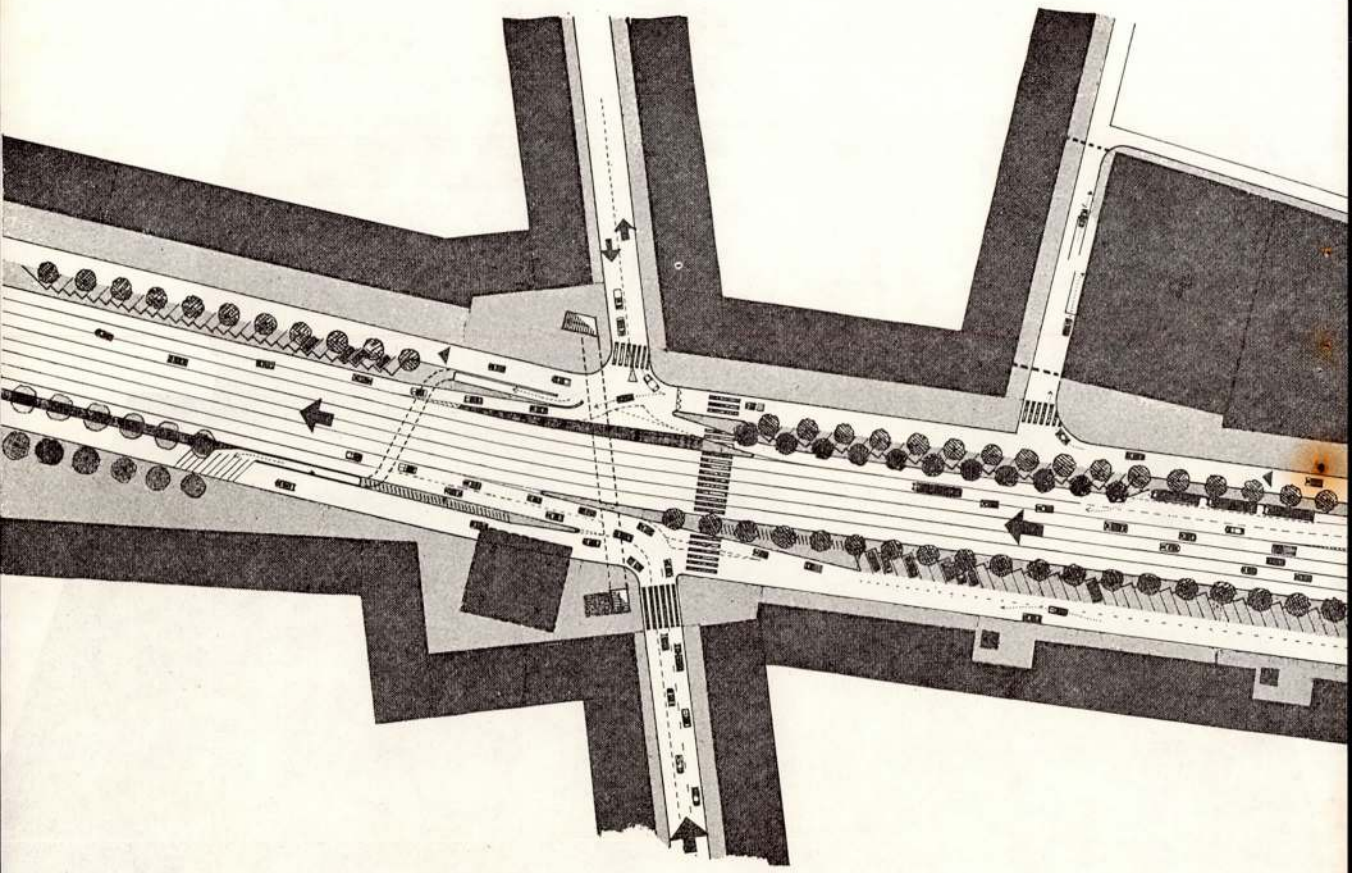


オランダ・ハーグの市街地改造計画について

ハーグ市は北海沿岸の都市地域，'Randstadt-Holland'の一都市で，旧い密集市街と公園，それに20世紀になってできた住居地をもった都市である。市の中心地は有名な Hofuijuer のような中世建築群，堀，プロムナードで構成されており旧くから市行政の中心地であったが，ここ60年ほどの間に住居地がその周辺に急速に拡がってきている。また交通問題に対するいわば「機能主義的」一面的なアプローチは都市本来の目的を窒息させ，美くしい街なみを死においやるといった不調和をもたらしてきた。

交通流を維持するためにとられてきた方策こそは都心を寄りつきにくく，住みにくいところにしたのである。都市は雑多な機能の寄せ集めということ以上に人間の全活動における Meeting point として複数のはっきりした性格をもたねばならぬであろう。歴史的なものは日常生活が展開するなかで保存されねばならぬであろう。

（京大　霜田　稔）

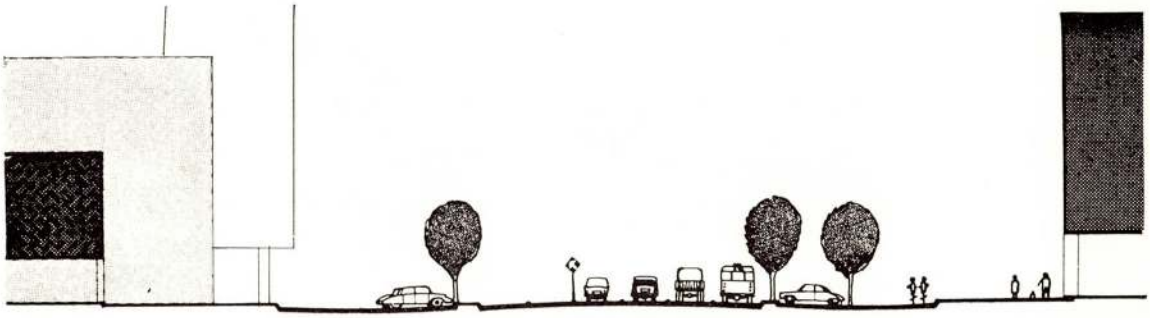


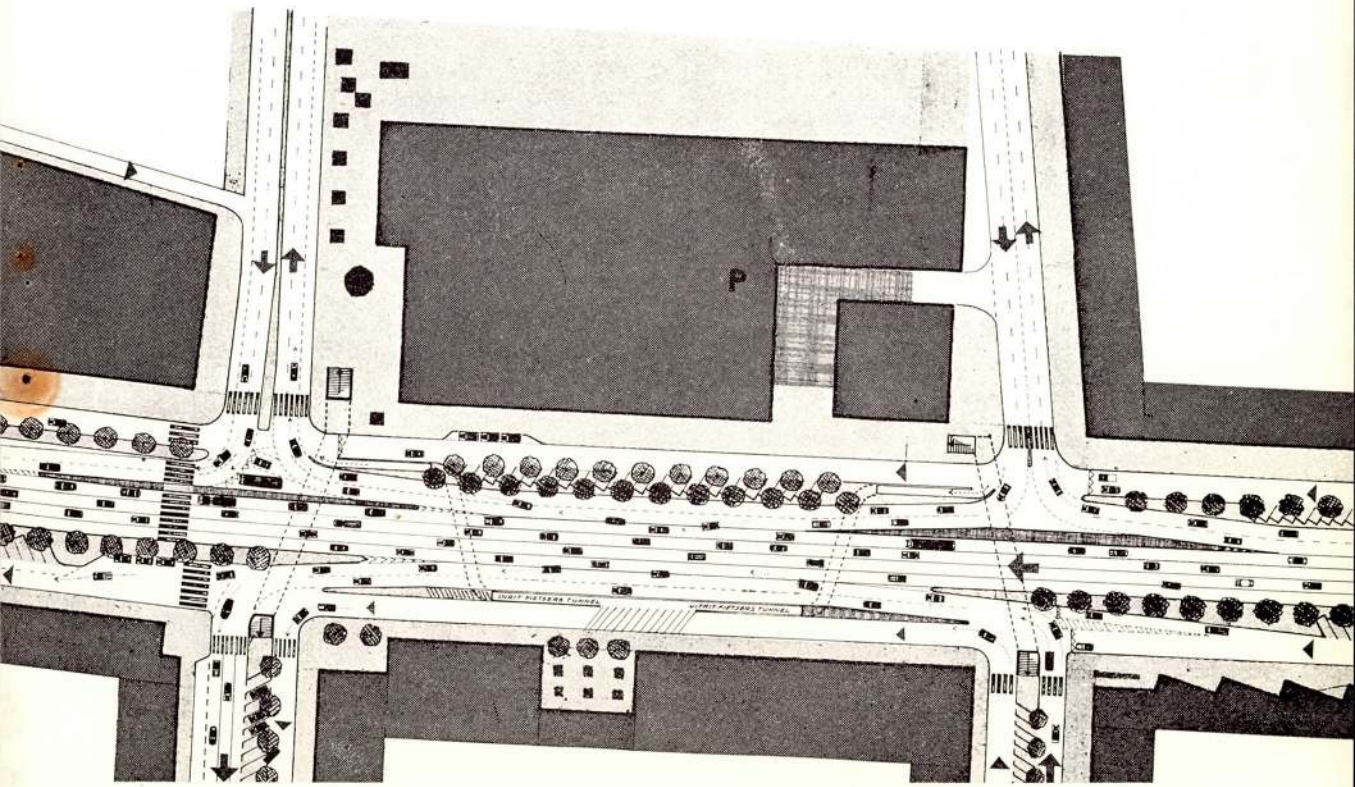
市街地改造の原則

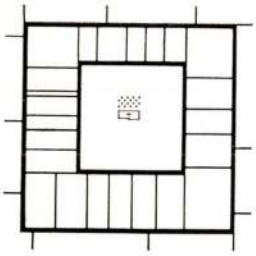
- 人間性を強調する空間的エレメントの相互関係——空間の広義利用
- 一つの地区の多用な同時的，連続的利用

改造のシステム

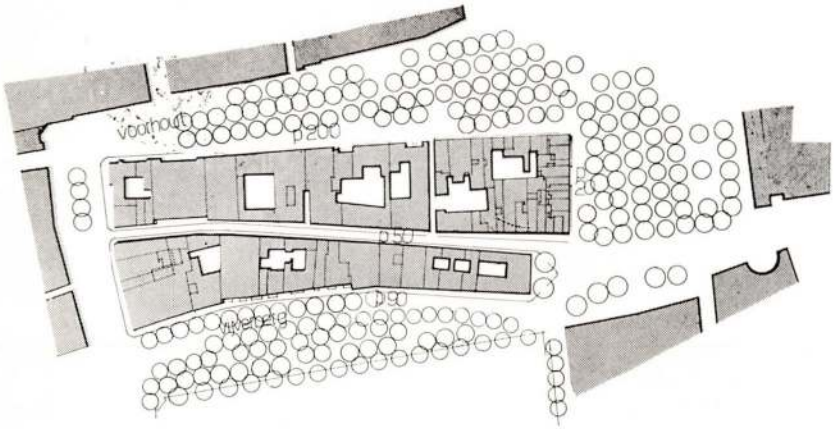
- 二重環状道路による通過交通処理
- Z型アプローチ・システム
- 外環状沿いのパーキング
- レベルの分離
- 大量交通機関（public traffic）網の整備
- 歩行者優先でセンターと直結する程度での街路，広場の縮少
- センターは1km×1km

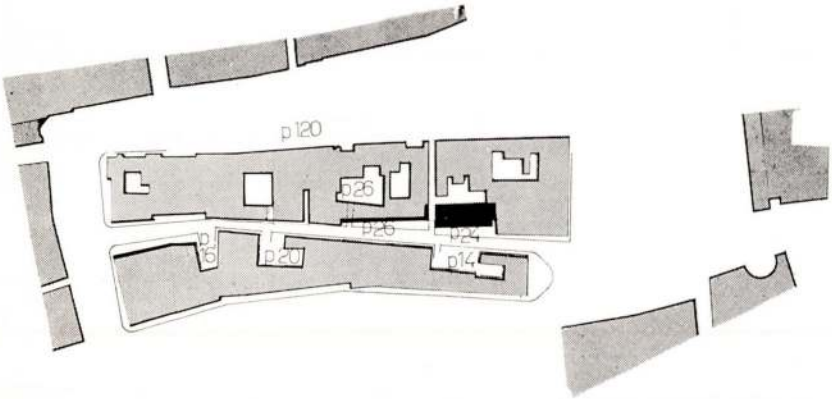


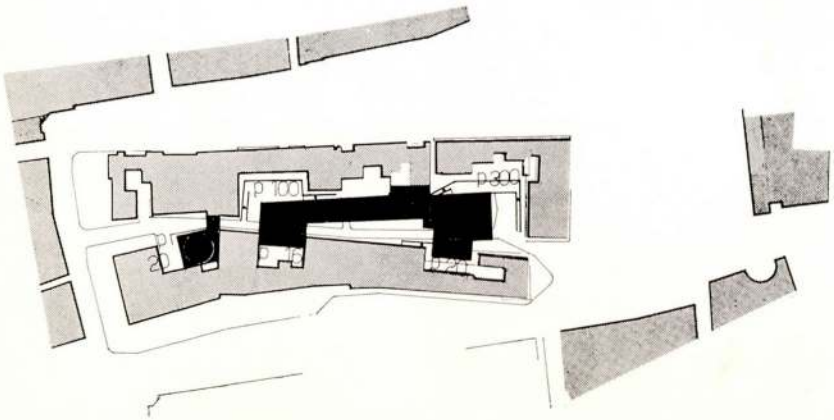




オランダ・ハーグの市街地改造計画







電気工事

富士電業株式会社

大阪市西区北堀江上通1-65
電話(541)0564～7・7148～9



陶磁タイル

関西タイル商会

大阪市北区老松町3-21　電話(361)5578

塗装工事

株式会社 **三木塗装店**

大阪市西区新町通4-12　電話(541)6471代



大理石工事

株式会社 **矢橋大理石商店**
大阪営業所

大阪市東区高麗橋2-9　野村ビル5階
電話(231)4257～8

P タ イ ル
プラスタイル
ソフトンタイル

田島応用化工株式会社

大阪市西区京町堀1-74　電話（441）5951代

防 水 工 事

マルエス工業株式会社

大阪市福島区上福島南1-152　電話(458)4841代

防 水 工 事

株式会社 **木 下 謹 三 商 店**

大阪市西区江戸堀5-5　電話(443)0015代

防 水 工 事

三星産業株式会社大阪出張所

大阪市西区京町堀1-74　電話(443)9721～3

専 売
特 許　**ゲルカセメント防水**

施工箇所　地下室（1，2，3，4，5階）
ピット・ガレージ通路・水 槽
各室セメント防水・屋上シート防水

ゲ ル カ 工 業 株 式 会 社

大阪市西区江戸堀2-28　電話(443)2461～5

ガラスブロック窓の昼光率の計算

京都大学教授・工博 松浦邦男
同 助手 古江嘉弘

1. 昼 光 率

ある点の昼光率Dとは，つぎの式で定義されている。[1)]

$$D=\frac{\text{ある点の照度}(E)}{\text{その時の全天空照度}(E_S)}\times 100(\%)\cdots\cdots(1)$$

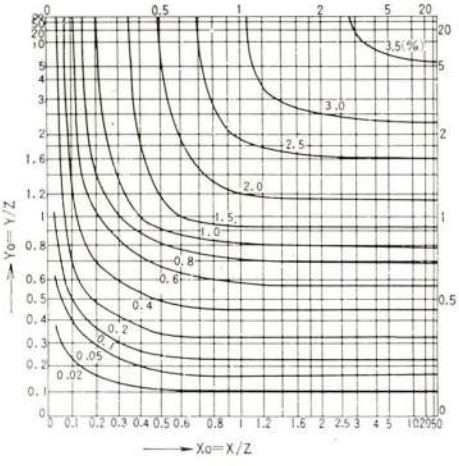
E_Sは野外の障害物のない場所での直射日光を除いた全天空による水平面照度である。このDという値は受照点の位置がきまれば，ほぼ一定値となり，室内の明るさの基準となるものである。室内の昼光照度は，光源となる窓面から直接くる光による照度，すなわち直接照度と天井や壁などの室内表面で反射してくる光による間接照度の二つの成分に分けられる。昼光率も同じように直接と間接とから成り立っている。つまり

D＝直接昼光率(D_d)＋間接昼光率(D_r)……(2)

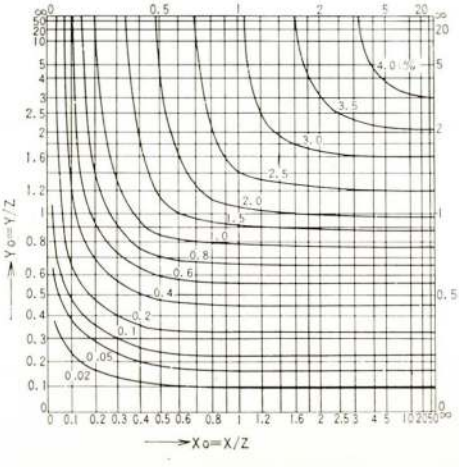
2. 直接昼光率(D_d)

(i) 直接昼光率算定図表

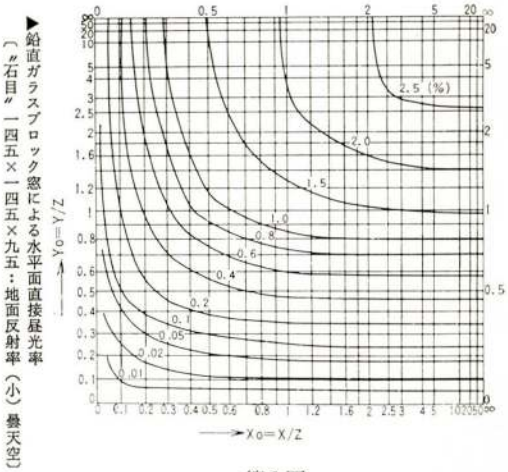
ガラスブロックは殆んど鉛直の側窓に用いるので，**第1図-第4図**はその場合の水平の作業面の直接昼光率を求められるようにつくられたものである。この図表は実



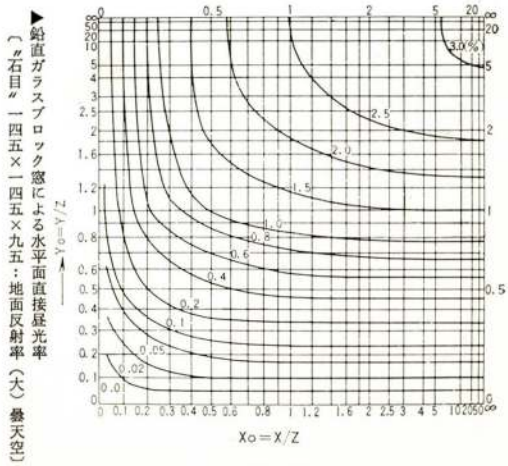
第1図



第2図



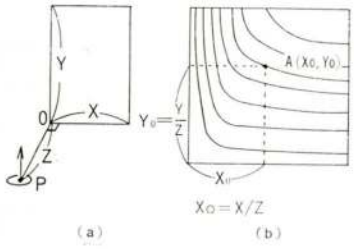
第3図



第4図

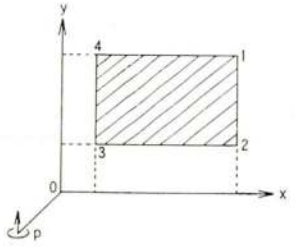
物実験の結果から作成されている[2]。実験に用いたガラスブロックの種類は日本電気硝子ＫＫの“石目”模様のもので，**第１図**，**第２図**は200×200×95mm，**第３図**，**第４図**は145×145×95mm，目地幅はいずれも10mmである。また，地面の反射率が大きい場合と小さい場合とが示されている[2]。

(ii) 図表の使い方



第５図

第５図に示すとおり，$X_o=X/Z$，$Y_o=Y/Z$ を求め，前掲直接昼光率算定図表から，(X_o, Y_o) を通る直接昼光率の値を読みとればよい。



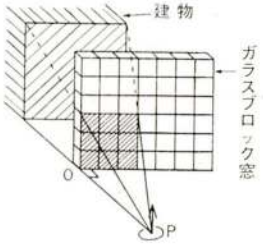
第６図

第６図に示すような窓（1−2−3−4)による D_d (1-2-3-4) は，はじめにＸ軸，Ｙ軸を２辺とし点１を含む長方形窓による D_{d1} をよみとり，同様に D_{d2}，D_{d3}，D_{d4} を得，つぎの式より求める。

$$D_{d\,(1\text{-}2\text{-}3\text{-}4)}=D_{d1}-D_{d2}-D_{d4}+D_{d3} \cdots\cdots\cdots\cdots (3)$$

第１図～第４図は“石目”模様の図表であるが，他の模様のものに用いてもさしつかえない。ただし，グラスファイバー入りのものは0.8の減少率を乗ずる。[3]

第７図のように，窓前面に建物があるときは図のハッチした部分を除いて，直接昼光率を近似的に求めることができる。



第７図

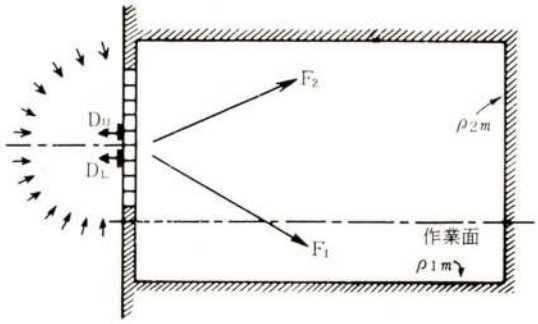
3. 間接昼光率(D_r)

間接昼光率の精度の高い計算は非常に面倒であり，またその作業面上の分布は一様に近いので，つぎの簡易計算式を用いる。ただし奥行の深い室では大きく見積るおそれがあるので注意を要する。

$$D_r=\frac{(F_1\rho_1+F_2)\rho_2}{A(1-\rho_1\rho_2)}\times 100(\%) \cdots\cdots\cdots\cdots (4)$$

ここで，

F_1 ： ガラスブロックを透過して，**第８図**に示す作業面より下方の室内表面に直接入射する光束（比率）



第８図

F_2 ： 同じく作業面より上方の室内表面に直接入射する光束（比率）

A ： 作業面の面積(m²)

$$\left.\begin{aligned}\rho_1&=A\rho_{1m}/\{S_1-(S_1-A)\rho_{1m}\}\\ \rho_2&=A\rho_{2m}/\{S_2-(S_2-A)\rho_{2m}\}\end{aligned}\right\} \cdots\cdots\cdots\cdots (5)$$

S_1，S_2 ： 作業面より下方あるいは上方の室内表面積(m²)

ρ_{1m}，ρ_{2m}：S_1あるいはS_2面の平均反射率

F_1，F_2 は実験結果より次式で求められる。

$$\left.\begin{aligned}F_1&=(D_U+D_L)S_0\tau_m f_1/100\\ F_2&=(D_U+D_L)S_0\tau_m f_2/100\end{aligned}\right\} \cdots\cdots\cdots\cdots (6)$$

ここで，

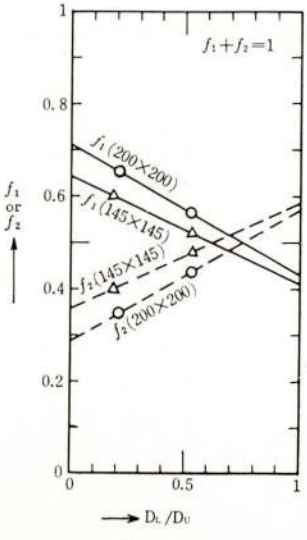
D_U ： 窓外の鉛直面昼光率（%）で，水平面より上方の天空などによるもの（第８図参照）

D_L ： 同じく，下方の地面等によるもの(第８図参照)

S_0 ： 窓面積(m²)

f_1, f_2：**第９図**に示すように，D_L/D_U によってきまる F_1とF_2との比率であって，$f_1+f_2=1$である。

τ_m ： ガラスブロックの透過率で200×200×95mmは0.33，145×145×95mmは0.28である。



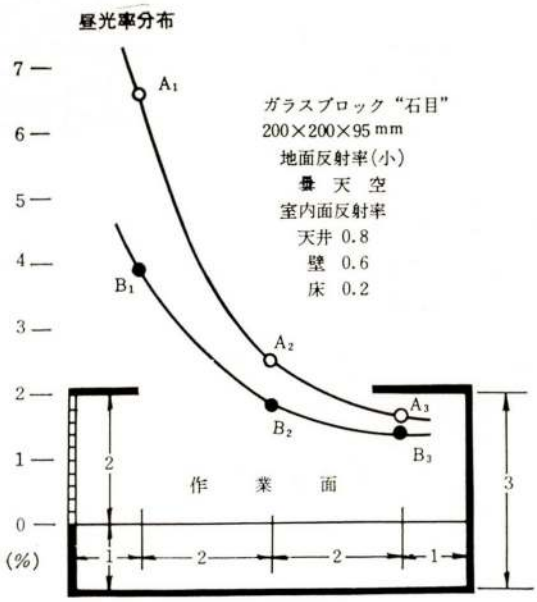
第９図

ここで，D_U，D_L は実測または，例えば建築学会パンフレット“採光設計”などによって求める。これらの式は“石目”模様以外のものにも用いてさしつかえない。ただし，グラス

ファイバー入りのものは0.8を乗ずる。

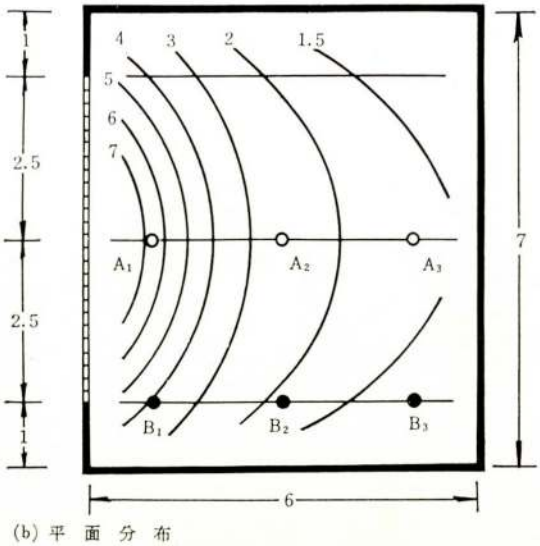
4. 例　　題

第10図に示すガラスブロック鉛直窓による作業面の昼光率分布を求めてみよう。ガラスブロックは200×200×95mm，窓の大きさは高さ2m，幅5mであり，曇天空で窓外の地面の反射率は小さく，窓外の鉛直面昼光率はD_U=40(%)，D_L=8.0(%)とする。また，室内表面反射率は，天井0.8，壁0.6，床0.2とする。



(a) 窓に垂直方向の分布

第10図（a）



(b) 平 面 分 布

第10図（b）

（1） **直接昼光率**：第1図を用いると容易に

A_1：5.54	A_2：1.44	A_3：0.56	(%)
B_1：2.80	B_2：0.76	B_3：0.32	

（2） **間接昼光率**

第9図で，D_L/D_U=0.20より f_1=0.65，f_2=0.35

(6)式より

$$F_1=\frac{(40+8)\times5\times2\times0.33\times0.65}{100}=1.03$$

$$F_2=\frac{(40+8)\times5\times2\times0.33\times0.35}{100}=0.55$$

また，S_1=68(m²)，S_2=94(m²)，ρ_{1m}=0.353，ρ_{2m}=0.690

この値と(5)式より ρ_1=0.252，ρ_2=0.500

以上の値を(4)式に代入して

$$D_r=\frac{(1.03\times0.252+0.55)\times0.500}{6\times7\times(1-0.252\times0.500)}\times100=1.10(\%)$$

（3） **全昼光率**＝直接昼光率＋間接昼光率

A_1：6.64	A_2：2.54	A_3：1.66	(%)
B_1：3.90	B_2：1.86	B_3：1.32	

これを第10図に示す。室の奥では間接昼光率のウェイトが大きいことがわかる。これがガラスブロックの特色の一つであり，これには天井，壁が明るい仕上げであることが必要条件となっている。

注意：ここでは，ガラスブロック窓の汚染は全々考慮していない。適当な汚染を考慮した維持率は通常鉛直窓で0.80を上の全昼光率値に乗ずる。

註 1）日本建築学会：採光設計（パンフレット）
2）松浦：建築学会近畿支部講演論文集（昭40.5）
3）松浦：建築学会大会論文報告集（昭40.9）

違反建築対策について

（大阪市建築局長より）

違反建築に基因する種々の災害に伴ないまして，その取締りの強化をのぞむ世論も，近来ますます厳しいものがあります。大阪市としても，これが対策としまして，建設省の方針に則り，①手続違反，②道路制限関係違反，③防災避難関係違反，④用途地域制違反の4項目を取締りの最重点項目とし，11月から，パトロールカー2台をもって，主として建築基準法による確認済の表示のない工事現場を対象に，常時巡視体制をとり，違反の早期発見に努めることになりました。なお，是正指導にしたがわず，当局の行政命令をも遵守しない場合は，最終的には告発も辞さない方針で臨みたいと考えております。

建築基準法第6条の建築確認申請の励行並びに，同法第89条の確認済表示板の掲示の励行など，関係者の協力を要望いたします。

日本建築協会月間の動き(9月分)

理　事　会

8日　4時～5時　於会館集会室
出席者　東畑会長ほか8理事，海上監事
議事（1）入会金免除期間延長の件
（2）名誉正会員推挙の件
（3）4会連合工事請負契約々款改正の件
（4）会員名簿発行協力グループ設置の件
（5）入退会者承認の件
（6）報告事項
（イ）事業報告
（ロ）会計報告

住　宅　委　員　会

住宅展総務小委員会

1日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　黒谷副委員長ほか5名
第4回よろず相談住宅展のしめくくりについて

委　員　会

21日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　岡橋，黒谷，野々村正副委員長ほか12名
議事（1）　住宅展の経過報告
（2）今後採りあげる問題検討
（3）委員長の話（米国およびカナダの住宅など）

事　業　委　員　会

若い会員の集い小委員会

5日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　窪田副委員長，能勢幹事ほか5委員
第4回，第5回事業企画について討論した

各種説明会小委員会

9日　正午～2時　於会館集会室
出席者　岡本副委員長，松村幹事ほか5委員
議事（1）建設資材データシート企画内容打合
（2）第3回，第4回説明会企画について

モントリオール万博視察企画委員会

12日　正午～2時　於会館集会室
出席者　矢野，尾亀副委員長ほか4委員
モントリオール万博視察の企画について協議

委　員　会

13日　5時半～7時　於会館集会室
出席者　増井，中出，窪田正副委員長
松村，金子，星野，能勢幹事ほか6委員
議事（1）建設資材データシートの企画について
（2）忘年懇親会の企画について
（3）見学会小委員会，若い会員の集い小委員会，各種説明会小委員会の企画について
（4）その他

モントリオール万博視察小委員会

22日　正午～1時半　於会館集会室
出席者　矢野，尾亀副委員長ほか3委員
モントリオール万博視察について協議

各種説明会打合会

22日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　久保田建設工業，富士製鉄説明会社
松村幹事ほか7委員
第4回説明会企画打合せ

各種説明会小委員会

28日　5時半～9時　於阪南荘
出席者　松村幹事ほか4名
議事（1）第3回説明会「新しい内外製材と工法(1)」の反省
（2）第4回以降の各種説明会企画について
（3）建設資材データシート企画について

ブロックの防水塗料！
ビニール・セメント・ペイント
ブロックタイト
刷毛又はスプレ塗り　常備淡彩12色
安価・速乾・美麗
水谷ペイント

編　集　委　員　会

公害対策と建築特集幹事会

5日　3時～6時　於会館集会室

出席者　原幹事ほか4名

12月号の特集企画として協議

委　員　会

9日　4時～6時半　於会館集会室

出席者　長谷川委員長ほか10名

議事　10月号＝最近の地下工法特集経過報告

11月号＝市街地改造特集経過報告

12月号＝公害と都市・住宅特集企画（幹事会案をもとに）

正月号＝国立劇場特集経過報告

技術の頁協議

2月号の件

3月号＝50周年記念号経過報告

雑誌大型化の件

第7回作品作風小委員会

9日　6時半～9時　於会館集会室

出席者　田中主査ほか4名

議事　10月号と11月号の作品選定

雑誌大型化の具体化

出　版　委　員　会

鉄骨デザイン原稿検討会

8日　正午～9時　於大林組

出席者　木田，宮川幹事，若林委員

現場視察と原稿検討

設備技術者のための建築と知識原稿検討会

14日　正午～5時　於会館集会室

出席者　大沢幹事，高島，今井，越本，金子，小島委員

第1章，第4章，第6章の原稿検討

建築基礎工法と実例原稿検討会

20日　正午～5時　於会館集会室

出席者　執筆者・池　保氏，新見芳男氏

山肩委員長，稲村，丹羽，都築，吉仲委員

第3章1節，第3章7節，第2部富国生命の原稿検討

設備技術者のための建築の知識原稿検討会

26日　正午～4時　於会館集会室

出席者　執筆者・森口氏代理

大沢幹事，今井，越本，高島委員

第1章，第7章の原稿検討

法　規　委　員　会

委　員　会

28日　3時～5時　於会館集会室

出席者　佐野委員長ほか7名

議事　「建築基準法の問題点」（椚座委員意見）について前回にひきつづいて検討した

50周年記念財務委員会

委　員　会

2日　3時半～5時　於会館集会室

出席者　鴻池，横田，菅谷正副委員長ほか4委員

50周年記念事業資金の募集，予算などについて協議

小委員会（設計事務所関係）

26日　正午～1時半　於会館集会室

出席者　佐野副委員長，福田委員ほか3名

50周年記念事業資金募集について協議

50周年記念号編集座談会（創立～大正時代）

29日　2時～4時　於大林組応接室

出席者　竹腰健造前会長ほか6名

司会：滝沢，政岡両氏

創立当時も含めて大正時代の事情について座談

会員名簿協力グループ打合会

16日　5時半～8時　於会館集会室

出席者　坂井委員ほか3名

名簿表紙の選定，小間広告の業種別選別，広告掲載

✳ 特許
小俣式 防火シャッター全般
● 設計 ● 製作 ● 施工
小俣シヤッター工業株式会社
大阪支店
大阪市北区若松町30　電話（364）9004．9016．4825
本社　東京都北区田端町　事務所及本工場　埼玉県与野市

の勧誘について打合
27日　5時半～8時　於会館展示室
出席者　坂井委員ほか4名
広告掲載の勧誘その他打合せ

説　明　会

実務に直結した工事別説明会
「新しい内外製材と工法（1）」
28日　1時半～5時　於大阪科学技術センター
聴講者　116名
最近のガラスブロックの性能とパネルブロック施工法について
日本電気硝子株式会社　増田昌弘氏
建築材料としてステンレスの新しい使い方およびアルミ鋳物について
株式会社　田島順三製作所　中村光夫氏
画期的なアルミカラー内外製材ミフレクサラムミについて
三協アルミニウム工業株式会社　藤森　真氏

見　学　会

京阪天満ビル見学会
設計施工　株式会社　竹中工務店
10日　1時半～3時半
参加者　277名
共　催　日本建築学会近畿支部，大阪府建築士会
建材委員会委員のためのドアーオペレータ製造工程と紅葉パラダイス（新建材）見学会
13日　10時半～午後6時
参加者　10名
若い会員の集い「住宅を見る会」
29日　1時半～4時半
見学の建物　生田邸（設計　彦谷邦一氏）
見学後彦谷邦一氏を囲んでその作品を通じ建築の造型について討論会を開催
参加者　25名

6団体会長昼食会

21日　正午～2時　於大阪科学技術センター
本会より東畑会長出席

武智式日信三角杭
株式会社 武智工務所
取締役会長 福留並喜
大阪市東区高麗橋2の20(高麗新ビル3階)
TEL (202)3233(代)7501(代)



6団体事務局長会議

7日　5時半～8時　於吉田家
本会より福中事務局長，岩崎参与出席
6団体役員名簿の刊行，モントリオール万博視察の企画などについて協議

都市住宅研修会打合会

5日　5時～8時　於日本建築学会近畿支部
29日　5時～8時　同　上
本会より吉田係長出席
万博会場計画案報告会の企画並に推進

編集後記： 都市再開発手法のひとつとしての市街地改造は，各都市でも真剣にとりあげられつつあるが，本号は，それについて現況と目標，区分所有建物，実例紹介等々を通じて，現在の問題点はどこにあるかをさぐってみたものである。企画に協力いただいた方は，福原裕治，高口恭行，清水克己，福井佑吉，笹川敏昌，白国高弘の各氏。執筆者ともども，感謝します。次号は「公害と都市・建築」特集の予定。

Taniyama
送風機
株式会社 谷山鐵工所
営業品目
●LAF形　リミットロード送風機
●TAF形　可変式軸流送風機
●SL形　ストリームライン送風機
●CL形　セントリーライン送風機
●プレートフイン・ヒーター・クーラー
本社工場／大阪市城東区野江東之町二丁目一番地
電話　大阪（931）代7803～9
東京出張所／東京都文京区湯島四丁目六番十七号
電話　東京（811）3435・3440

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地．電話 大阪364代表 0206～9

屋根浪板
谷樋には 大島化学のひふくてっぱんを

固定式通風器 連続式換気装置にも

耐酸スタンダードメタル

カラースタンダードメタル

PATENT Standard

大島応用化学工業株式会社

本社 河内市新庄114番地 電話大阪(782) 4171～3・6734～8

支店 新居浜・東京・名古屋・四日市・広島・富山

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地 電話大阪(371)1333番

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話　(443) 代表 8161～9
出張所　東京都北区上十条1丁目10　電話　(911) 3941
名古屋市中村区牧野町1の6　電話　(54) 0966
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話 (34) 1778・4386
広島市袋町6番4号　電話 (47) 7575・7588

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 **三晃商会**

本社　大阪市北区富田町16　電話(364)代表7031
支店　東京都千代田区神田小川町2丁目1　電話(292)代表7751
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話(21)代表4535
福岡市大名1丁目8番12号　電話(76)代表3795
出張所　名古屋市中村区広小路西通3丁目9　電話(561) 2948
富山市堀川小泉町286　電話(31)2274
金沢市下新町8　電話(34)4089
福井市西宝永町2丁目113　電話(22)1596
松江市東本町4丁目147　電話(2)5098

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 **大阪城口研究所**

取締役社長　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪371局7151(代表)
京都市東山区大和大路正面上ル電話京都56局4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸331局 5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工

大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷三郎

本店　大阪市西区江戸堀1－60　電話(441)8231 大代
支店　東京・名古屋・福岡
出張所　京都・神戸・岡山・高松・広島・熊本・横浜
札幌・仙台・新潟・富山・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町11番地
電話 大阪 (443) 5041～5番

東京本社　東京都千代田区大手町2の8番地(日本ビル)
電話 東京 (270) 7411番 (代表)

札幌営業所　札幌市南大通西4丁目1 札幌道銀ビル　電話札幌㉒5756
金沢営業所　金沢市高岡町2番16号　電話金沢㉑2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話福井②2436
高松出張所　高松市二番丁九　電話高松②5195
岡山出張所　岡山市大供松ノ木三八〇ノ一　電話岡山㉑5486

創業　大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 **斎藤省三商店**

東京店　東京駅前丸ビル6階676区
電話 東京 (201) 3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通 大同ビル616号
電話 大阪 (443) 3361～6
札幌店　札幌市北十条西18丁目36番地
電話 札幌 (61) 4371～3
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目 千代田ビル522号
電話 中局 (261) 0641～3

冷暖房
給排水、衛生水道
電気
厨房

6Sサッシ
環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業 株式会社 **大阪支店**

取締役社長　大前玉男
取締役支店長　樋口勝栄

大阪市東区北浜2丁目22番地　電話大阪(202) 代表3071
本店　東京都千代田区有楽町1丁目10番地
支店　出張所　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山、金沢、静岡、高松、
工場　鶴見、相模、六郷、高浜、中山、古賀

須賀工業株式会社

空気調和　衛生設備

大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話 441—5171
支店 — 東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所 — 広島

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 **西原衛生工業所大阪店**

大阪市大淀区中津南通4丁目11　電話大阪㊽3531番

空気調和装置・塗装設備
設計施工

株式会社 **建材社**
大阪支店

大阪市北区中ノ島二丁目　(新朝日ビル5階)
電話 大阪㉓3721(代)
本社及東京支店　東京都中央区銀座西6丁目3
(朝日ビル8階)
営業所　名古屋市中区錦2丁目2ノ13
出張所　札幌
連絡所　広島・北陸・仙台

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工
髙砂熱学
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地
大阪支店　大阪市北区梅田8番地（新阪急ビル8階）
電話　大阪（312）4521（代表）

Carrier
空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工
東洋キヤリア工業株式会社
大阪支店
大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
電話　大阪(344) 1512(大代)
本社　東京都中央区日本橋本石町4－2(三井第二別館)
支店　東京・名古屋　出張所　九州
工場　埼玉県北足立郡・東京都足立区

空気調和・衛生設備
設計施工
株式会社 **栄興商会**
取締役社長　中山敏正
本　社　大阪市福島区上福島北2－1
電話　(451) 3391 (代表)
支　店　東京・仙台
出張所　神戸・広島・高知・千葉・八戸

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備
設計・施工
株式会社 **朝日工業社**
大阪市東淀川区加島町357　電話(302)2271～9(代)
大阪支社　同上
東京支社　東京都港区芝浜松町2－7　電話(434)6171 (大代)
支店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　盛岡・釧路

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工
第一工業株式会社大阪支店
大阪市北区富田町30　電話 (361) 5177 (代) / (364) 0977 (代)
本　社　東京都千代田区丸ノ内3－2(新東京ビル)
電話　(211) 8511・8561(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話　(21) 4491
名古屋支店　名古屋市東区東門前町3－6
電話　(971) 3621

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工
日本管工業株式会社
代表取締役　市川繁雄
本　社　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(68)5101～5・夜間専用(69)1045
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋1-37(天満橋北詰)
電話 (352) **3501～3**
四日市営業所　四日市市浜田西末広町 電話㊿7431～3
津営業所　津市栄町2－111 電話⑧3610

暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設計施工
日本熱学工業株式会社
社長　牛田正郎
本　社　大阪市北区万才町50
大阪事業本部　電話　大代表 (312) 8671
東京事業本部　東京都新宿区三栄町18
電話　大代表 (353) 9151
名古屋事業本部　名古屋市中村区下広井町3－15
(中京電気ビル) 電話(581)9376～8
各事業部　京滋、下関、新潟、金沢

給水　衛生　空気調和設備
設計施工
平山工業株式会社
取締役社長　平山京平
大阪市西区江戸堀2丁目2番地
電話　大阪(441)代1994　(443)代0331

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工
第一企業株式会社大阪支店
大阪市北区北同心町1丁目57
電話　(351) (代表) 2808
本社　東京都文京区本郷1丁目12－5
電話　(811) (代表) 6294
支店出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

温湿度調整装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工
理研鋼機株式会社
大阪支店　大阪市東区高麗橋5－45（興銀ビル別館）
電　大阪　代 (202) 7745番
本社・工場　東京都北区神谷3の10の3
電　東京　代(901)3191番
本社・分室　東京都港区麻布笄町155（第5興和ビル）
電　東京　代 (409) 0151番
支　店　名古屋・仙台　連絡所　福岡

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

取締役社長 西村庄市

大阪市北区野崎町六九
電話・大阪(313)代表3456
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島 北九州

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長 浅海正雄

本社 大阪市北区老松町1丁目22
電話 大阪(362)8701
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話(481)8621～4・3573
営業所 名古屋・札幌・旭川・福岡

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英

大阪市北区高垣町16番地(東阪急ビル7階)
電話 大阪 (313)1101(大代)
支社 東京・名古屋
出張所 舞鶴・広島・八幡・福岡・富山

電気工事設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長 今村勝

本社 大阪市北区梅ヶ枝町五六番地
電話 大阪代表(341)8131～7
支店 東京・名古屋・四日市・神戸・和歌
営業所 山・松山・京都・草津

選択制御監視装置
MU型動力制御盤
グラフィック盤
高低圧受配電盤

空調衛生設備監視盤
各種動力自動制御盤
分電盤・各種警報盤
設計・製作

森井電業株式会社

取締役社長 森井定勝
専務取締役 佐野春吉

本社 東京都港区芝三田網町一番地
電話 東京(451)代表9611
東京支店 東京都品川区北品川町三丁目277
電話 東京(491)1887・3482・4027・3345
大阪支店 大阪市北区常安町16番地
電話大阪(443)代表8381 夜間(441)0502
出張所 名古屋・広島・福岡・仙台
工場 東京・大阪・福岡・名古屋

各種電気工事設計施工

株式会社 **ヤマト電気商会**

取締役社長 山本永造

本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(364)代3056
東京営業所 東京都港区新橋5－34－6 相馬ビル5階
電話 東京(434)3848・(431)8435
出張所 大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納伝三

本社 大阪市北区絹笠町五〇(堂ビル三階)
電話 (312)1471(代)
支店 東京都中央区明石町15(辻孝ビル)
電話 (542)5641
営業所 名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話 (99)5131～3
出張所 神戸市・堺市・高槻市・姫路市

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山本博三

本社 大阪市北区中之島3の3朝日ビルディング
TEL 代表 (448) 1361
営業所 大阪市西区土佐堀通り4の8
TEL 代表 (448) 1361
営業所 京都市中京区西ノ京中合町20の11
TEL 代表 (81) 9296

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

支社長 姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地
電話 大阪 (202) 0325～9番
本社 東京都千代田区西神田1丁目8番地
支社 札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所 旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中本正明

本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話 大阪 (931) 代表 7341～5
資材倉庫 大阪市城東区野江東之町三丁目一一 電話大阪(931)7004

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）
八千代電設工業株式会社
取締役社長　梶本秀尾
大阪市東区森之宮東之町
電話大阪 ㊾ 6531（代）～8
支店　名古屋
営業所　東京
出張所　岡山・北九州

電気工事設計施工
株式会社 **三興社**
代表取締役　林　敏夫
本社　大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話 ㊸ 3671（代）
支店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話 ㊶ 1478（代）
出張所　川崎・相模原・堺・福山

電気工事設計施工
富士電業株式会社
取締役社長　田中　実
本社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541)0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

エレベータ・リフト・カーリフト
設計・製作
日本エレベータ工業株式会社
代表取締役　長尾正大
本社　大阪市大淀区天神橋筋六(天六阪急ビル)（351)4927代
大阪営業所　(351)4927代　サービス事業所　(328)0336代
東京営業所　(822)0995代　工場　(328)0336代

株式会社 矢橋大理石商店
大阪出張所
大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話　大阪 ㉑ 4257－8番

青写真とマイクロフイルム
株式会社 **内外写真**
製図・トレース・複写写真
大阪市北区堂島北町16　TEL ㊾ 9055（代表）

General Electric（G.E）社製
冷暖房機「ゾンナル」その他各種冷暖房機
温水ボイラー「ハイテンプ」
（西独WEBSTO社技術提携）
西日本総販売元
岩佐物産株式会社
本社　大阪市北区老松町3－56(西天満ビル)　電話（361)2258(代表)
東京　東京都中央区霊岸島1－10　電話（551)1079・1617
四国　八幡浜市大黒町3　電話 八幡浜 514・1911

社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
内外装用窯変美術タイル……大仏タイル
（株）大仏
本社　京都市東山区今熊野大仏池田町9の9（56）3555 3725
大阪営業所　大阪市北区堂心町1丁目28（351)0703
名古屋営業所　名古屋市瑞穂区堀田通1丁目30（881)2703
東京営業所　東京都渋谷区上原1丁目29の4（467)1641
工場　京都清水・山城・瀬戸

営業品目
●樹脂防水ゴーレヂン
●樹脂防水ゴーレックス
●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
●樹脂砂壁エバーサンド吹付
合同特許建材工業株式会社
本社・営業所・大阪市東住吉区駒川町3－54　電(791)代7814～6
代理店・東京都品川区東大崎3の239 電東京（491）9698



陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール
株式会社
三幸商會
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話　大阪(358)　4031

特約販売・工事店

東洋キヤリア工業株式会社
東洋ゴム工業株式会社
(株)大阪パッキング製造所
大洋産業株式会社

販売　工事

各種保温保冷材料　冷暖房工事
各種冷暖房機器　防熱防音工事
冷凍機・石綿製品　各種配管工事
各種樹脂加工品　設計施工

日本冷熱工産株式会社
取締役社長　石川良興
本社及大阪営業所　大阪市西区土佐堀通1の16（石川ビル）
電話大阪(443) 3661～5
九州支社及長崎営業所　長崎市茂里町13番地　電話(4)0092・0308
営業所及出張所　広島・福岡・小倉・大分・徳島・舞鶴・東京

特許　白蟻

松平式白蟻殺滅予防所

所長　防除士　松平藤佐根
奈良市南城戸南方町28　電話奈良4098
奈良市登大路二番町（博物館前）　電話奈良4098
出張所　奈良市春日町尾田組内　電話6011・6012
本部　高知県宿毛市宿毛町2639

大阪市浪速区元町一丁目西電話(641)番

南水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



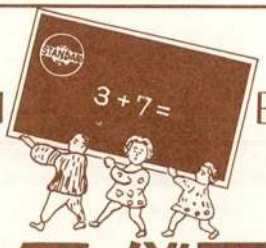
ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾配最適軽量水止付（空葺）瓦

ナニワ瓦株式会社

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店



株式会社 吉田芳雄商店
大阪市北区南森町交叉点
電話大阪(361)3450・(364)2345



Standard　Board&Slate

フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地　電話大阪(717)4561～2

奉仕感謝の店

タイル　衛生陶器

株式会社 川岸窯業商店
大阪市西区靱本町2丁目98　靱本町電停前
電話大阪・(532)0461～4番



ノトクの新建材

プリント合板　ビニオン
プリント合板　リズムウッド
ビニール合板　ビニライト
ポリエステル化粧板　ポリプライ
立体加工合板　ノトクランマー
工芸合板　アジロ合板
合成接着剤　ブルータイン
その他　新建材一式

浪速合板株式会社
大阪市浪速区幸町通3の20　TEL (561) 2201 (代)
東京出張所　東京都江東区深川平久町1の13　TEL (644) 8432

タイル

衛生陶器

エスロンタイル

サンウェーブ
流し台・調理台

株式会社 平田タイル

大阪市西区阿波座中通1
電話 (532) 1231 大代表



FUTABAYA DECORATORS, LTD.
建築物船舶等造作工事
家具建具・室内装飾工事 設計施工
内外装飾織物・敷物類一式

(創業大正7年)

二葉屋装備工業 株式会社

取締役社長 若林繁吉
大阪市大淀区本庄川崎町2の6
(天六電停西北2丁)
電話・大阪 ㈹ 3321～3・3630

網入光り波型ガラス (スレート小波 / スレート大波) 長サ965㎜ 1,818㎜

ダイニチ・アーモライト 波板・平板

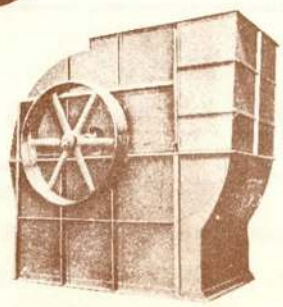
(硝子繊維強化ポリエステル板) 各種波、寸法 (長尺物有)

製造販売 **大日本硝子工業株式会社**

大阪支店 大阪市北区玉江町2ノ4 (三菱倉庫ビル) 電話㈹1389・3389・3281
本社 神奈川県相模原市小山字久保224 電㈹3101～4

KANDAN

煖冷房温湿度調整
設計 施工



各種送排風機
設計 製作

関西煖房工業株式会社

本社 大阪市住吉区万代東6ノ3 電話 大阪(672)1281(大代表)
堺工場 堺市浜寺石津町中2ノ200 電話 堺 (3)7301(代表)
和泉工場 和泉市観音寺町220 電話 和泉 (41)4151(代表)
出張所 名古屋・広島・福岡・徳島

T
K K

カーテンウォール
サッシ・ドア
アッセンブルフロアー
グリルウォール
ワイヤーモールド
天井パネル
軽量間仕切
防潮扉
エヤームーバー
その他

東京カーテンオール工業株式会社

本社及工場　東京都荒川区西尾久4丁目12－12
電話（893）0111大代
大阪支店　大阪市北区富田町18番地（島根ビル）
電話（364）9154代
名古屋支店　名古屋市東区武平町4－16－5（住商ビル）
電話（941）2577代
営業所　東京都中央区八重洲5－7（八重洲三井ビル）
電話（272）0401代
出張所　福岡・札幌・新潟・仙台

内外

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N.G.C.式

米国パブコ・コンパウンドアスファルト
米国バイヤライト・コンパウンドアスファルト
販売

内外工業株式会社

本社　大阪市阿陪野区旭町一ノ五一　電話(641)3434～6 夜間(631)0810
工場　大阪市東住吉区桑津町三ノ一六

窓掛、緞帳、日際、壁紙 **室内装飾** 絨氈、舗床材一般
東洋リノリユームの **東リカーペット** 発売元

亀井株式会社

大阪市東区南久宝寺町四丁目（心斎橋筋）
電話 大阪（251）1353（代）～6・9996

製造発売元・責任施工

特許ニッポン防水液
ニッポン防水液B号
ニッポン急結液壱号
ニッポン耐寒剤
ニッポン防水目地材
ビルコート

標準セメント防水剤

国立大阪工業試験所証明書 特許 ニッポン セメント防水剤 強度増加 絶対防水 原化促進

黒川化学のセメント防水

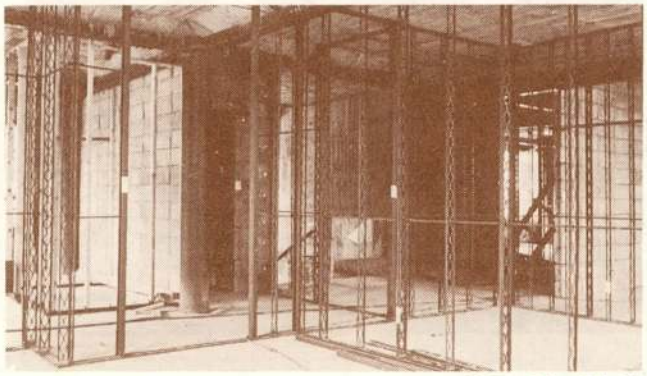
有限会社 黒川化学工業所
本店 工場　神戸市東灘区住吉町反高林 TEL (85) 2723

マンテン®の新製品　軽い・燃えない・安い・亀裂が生じない

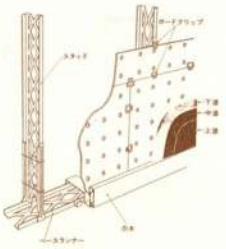
専売特許ほか実用新案および意匠登録　２０数件出願中

KMS式
軽量耐火間仕切

エコニー®スタッド



エコニースタッド施工例



その他マンテンの金属建材

- ＳＫ式軽量金属下地ネールロック
- 落し込み式天井吊金具モノーレイング
- 可動間仕切ムービーパネル
- 簡易組立材シャープアングル

発売元
住友商事株式会社　大阪建築部　大阪市東区北浜５丁目１５番地　電話大阪（203）１２２１(代)
東京建設建材部　東京都千代田区神田美土町１番　電話東京(294)４１１１(代)

設計・責任施工・製造元
株式会社 満点製作所　本社　大阪市南区日本橋筋３丁目２番地　電話大阪（632）１１５１(代)
東京営業所　東京都江東区亀戸町２－６１　電話　東京(682)3241（681）7169
名古屋出張所　名古屋市中区宮前町４－16(東海塗料ビル)　電話名古屋(261)3529
福岡駐在所　福岡市天神町58(天神ビル)住友商事㈱福岡支店内　電話福岡(75)6031

スチール
アルミ
ステンレス

サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター

三高式オペレーター・ドアーハンガー



TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所

本社工場　尼ヶ崎市神崎五反田280　電話 大阪（401）6158・6159
9463・7939（491）3200

内　装　資　材
専　門　店

建　材　の　室谷

室谷商事株式会社

本　社　神戸市生田区北長狭通４－１（英和ビル）
直通電話　神戸（33）0881～３
支　店　大阪市北区絹笠町50（堂ビル５階 502号室）
直通電話　大阪（364）2031～４
倉　庫　神戸市葺合区八幡通１－５（電話㉒2923）

全国的に大好評の…
新興の繊維壁材！

◉お部室のムードは壁材の美しい調和で……

建設省建築研究所試験合格品

（一種繊維壁材）・チエリーコート・ママウオール・ほたるかべ・麝香
・いすゞかべ・パピロン・ふくよかべ・清流・金蘭
・カセロンウオール・パーマエース・ありあけ・錦上壁K（三種繊維壁材）
・スーパーウオール・瑞雲・ニコニコ・蛍光壁・龍鳳
・センカウオール（二種繊維壁材）・明光壁・日本壁・金龍
・あけぼの・錦上壁・昭和壁・すずらん（特殊壁）
・新興壁・大阪壁・新日本壁・桃山・大和壁

（防火繊維壁材としてご使用の節は上記商品にシンケン防火剤を混入のこと）

●シンケン防火剤　●防錆剤エバコン　●耐湿剤オートン　●化学糊スーパーシンケン糊　（全国有名建材店に有）

株式会社　新興建材工業所
大阪市西区四ツ橋　TEL（538）2951代（541）5757代
営業所　東京・大阪・明石・広島・福岡



陸屋根防水には

奥山式特許絶縁工法を

カッパー防水帯

デラタイト 東レ"パイレン使用"

奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8の3　電話 (571) 2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所　大阪市都島区都島中通り5－4　電話 (921) 2497
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話 (811) 3660

●お申越次第カタログ進呈

新しい時代の
燃えない建築資材

切らずにそのまま張り上げられる豊富なサイズのへり折り石膏ボード：

ニュータイガーボード

キレツがでない——あくがでない——施工が早い——塗りよい石膏プラスター：

YNプラスター



吉野石膏株式会社大阪支店

大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
TEL (341) 2556～9番
本　社　東京都千代田区丸ノ内3－2（新東京ビル）
TEL (216) 0951（大代表）
支店　福岡　営業所　札幌・仙台・名古屋・広島
関係会社　菱化吉野石膏・チッソ吉野石膏
宇部吉野石膏・住鉱吉野石膏

（カタログ進呈）

広告目次（業種別）

建築と社会 昭和41年 Vol. 47 No. 11

基礎 kk武智工務所 …… 84

コンクリートブロック シポレックス販売kk …… 22

防水 大阪耐酸工業所 …… 85
奥山化工業kk …… 95
kk木下謹三商店 …… 78
kk久保商店 …… 85
(有)黒川化学工業所 …… 92
ゲルカ工業kk …… 78
合同特許建材工業kk …… 89
内外工業kk …… 92
日新工業kk …… 8
日本アスファルト防水工業協同組合 …… 10
kk日本セメント防水剤製造所 ……表3
西日本アスファルト事業協同組合 …… 9
マルエス工業kk …… 78
三星産業kk ……40・78
kk油脂化工社 ……表3

石 kk矢橋大理石商店 ……77・89

タイル衛陶 kk川岸窯業商店 …… 90
(有)関西タイル商会 …… 77
kk平田タイル …… 91
kk吉田芳雄商店 …… 90

屋根葺壁張 朝日石綿工業kk ……表4
オリエンタルメタル製造kk …… 11
大島応用化学工業kk …… 85
kk大仏 …… 89
ナニワ瓦kk …… 90

金属 岩元工業kk …… 14
kk三幸商会 …… 89
田辺工業kk …… 84
内外建材kk …… 13

左官 kk新興建材工業所 …… 94
山本窯業化工kk …… 18
吉野石膏kk …… 95

建具 小俣シャッター工業kk … 83
近畿工業kk …… 28
kk鈴木シャタア商会 …… 5
ダイケンサッシkk …… 3
東京カーテンウォール工業kk … 92
kk日本シャッター製作所 ……表3
kk三高製作所 …… 93

建具金物 永和工業kk …… 20
kkゴール …… 26
三栄建材工業kk …… 28
kkニッカナ …… 12
日本ドアーチェック製造kk …… 11

硝子 大日本硝子工業kk …… 91
日本板硝子kk …… 2

塗装 kk三木塗装店 …… 77
水谷ペイントkk …… 82

内装壁・天井 kk奥村重兵衛商店 …… 7
浪速合板kk …… 90
kk満点製作所 …… 93
室谷商事kk …… 94

内装床 関西三星タイル会 ……表4
田島応用化工kk …… 78
東洋リノリュームkk …… 1
日満ゴムタイル商事kk … 6

家具装飾 亀井kk …… 92
二葉屋装備工業kk …… 91

保全 美素工業kk ……表2
ミヅシマ工業kk …… 12

設備機器 岩佐物産kk …… 89
関西媛房工業kk …… 91
kk谷山鉄工所 …… 84
kk平川鉄工所 ……表2
松下電器産業kk ……17・24

エレベータ 日本エレベータ工業kk … 89

空調・衛生設備 kk朝日工業社 …… 87
kk栄興商会 …… 87
kk大阪城口研究所 …… 86
大阪電気暖房kk …… 86
kk建材社 …… 86
斎久工業kk …… 86
kk斎藤省三商店 …… 86
三機工業kk …… 86
kk三晃商会 …… 86
須賀工業kk …… 86
第一企業kk …… 87
第一工業kk …… 87
高砂熱学工業kk …… 87
東洋キャリア工業kk …… 87
日本管工業kk …… 87
日本熱学工業kk …… 87
日本冷熱工産kk …… 90
kk西原衛生工業所 …… 86
平山工業kk …… 87
山田工業kk …… 86
理研鋼機kk …… 87

電気設備 浅海電気kk …… 88
工藤電気kk …… 88
栗原工業kk …… 88
kk三興社 …… 89
三宝電機kk …… 88
中央電気工業kk …… 88
朝陽電気kk …… 88
東光電気工事kk …… 88
中本電気kk …… 88
富士電業kk ……77・89
森井電業kk …… 88
kkヤマト電気商会 …… 88
八千代電設工業kk …… 89

雑 フタバ黒板 …… 90
松平式白蟻殺滅予防所 … 90

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

ウォータイトB号

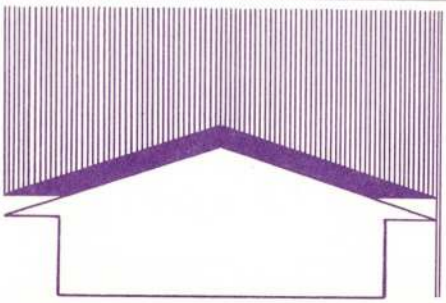
CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝塚（6）2153
大阪事務所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話（941）2626（直通）
出張所電話　東京（431）8648・名古屋（321）1331

仕様書型録贈呈

ウォータイト式防水工事代行店電話　大三工業 高松②0016 安藤工事 仙台㉓0721・札幌㊲1111 豊永建材 福岡㉘5207 広島㊶6371



モルタル・コンクリート用

マノール

●防水工事責任施工

製品

●セメント混和剤のトップ……

防水剤
急結剤
A　号
接着剤
剥離剤

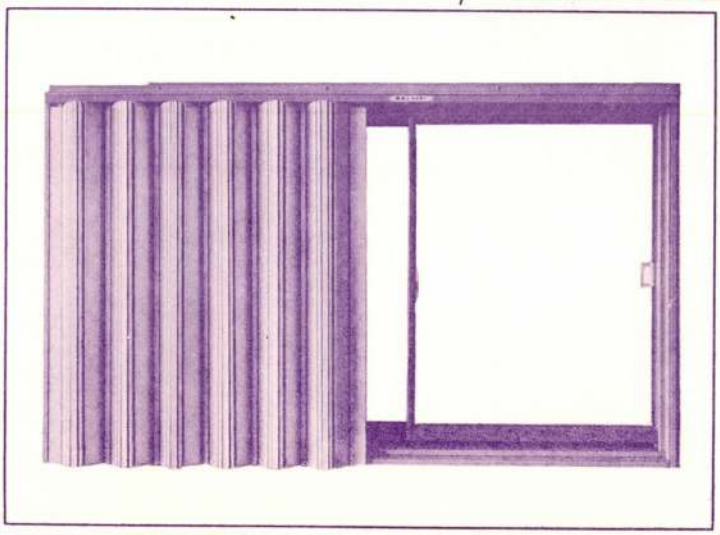
ご一報次第カタログ進呈します

株式会社 油脂化工社

本　　社 東京都品川区大井1－15 電話(774) 4111－5
大阪営業所 大阪市東成区西今里2－48 電話(971)4765・0063

画期的アイデアに基づく構造
平行運動強制装置(特許)

横引シャッター



各種防火シャッター
パイプシャッター
伸縮扉

■資料お送りします

株式会社 日本シャッター製作所

本社・工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地
TEL　(301)　代表　3656～9
営業所　東京・名古屋・金沢・神戸・和歌山・岡山
広島・高松・徳島・高知・福岡・北九州

昭和二十四年三月十九日　第三種郵便物認可　昭和四十一年十一月二十日印刷　昭和四十一年十一月廿五日発行（毎月廿五日発行）

総てのビルに住宅に法定不燃建材を

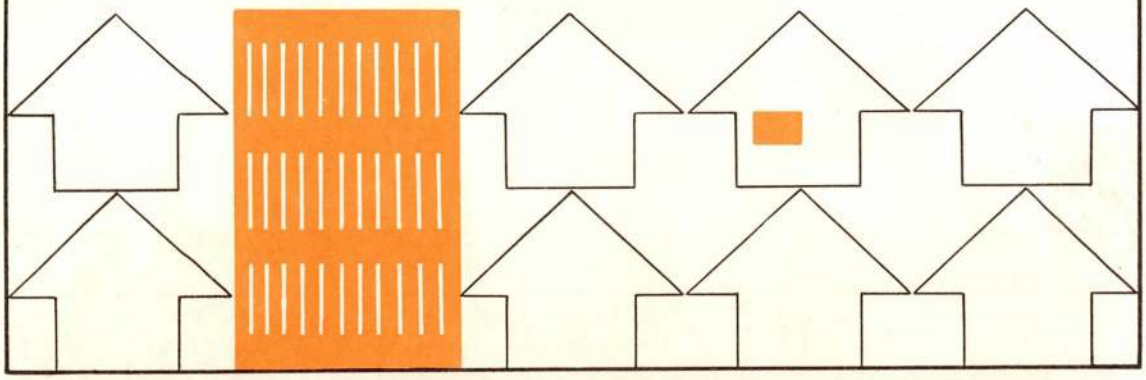
通商産業省認定工場　不燃　NO.3012

朝日フレキシブルボード
姉妹品　朝日カラーボード

朝日スレート
大浪7.5山・小浪

吹付石綿　朝日プロベスト

ASK
朝日石綿工業株式会社
大阪支店　大阪市北区神山町43　電話 312局8521（代表）
本　社　東京都中央区銀座7－3
営業所　東京、横浜、静岡、名古屋、富山、大津、姫路、岡山、広島、門司、福岡、長崎、延岡、高松、新居浜、札幌
工　場　東京、横浜、山梨、大阪、水島、玉島、門司、宮城



三星の床材
ソフトンタイル

株式会社 木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話(443)0115～8

株式会社 久保商店
大阪市北区真砂町5
電話(364)0206～9

三友工業株式会社大阪支店
大阪市西区南堀江大通1の19　電話(541)6161～4

合名会社 利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20(道頓堀電停前)　電話(211) 0571～4
販売部分室　電話(211) 6923・0575
京都営業所　京都市中京区河原町夷川下ル　(23) 3277・3279

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話(632) 0121～4

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話㊺ 2697・2140

株式会社 タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル
電話(81) 0871～2

岡田建材株式会社
名古屋市西区桜木町3－8
電話(571) 7461～3

株式会社 名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話(261)3671～2・3848

日東物産株式会社
本　社・名古屋市中区東瓦町39　電話(261)2501代表
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27　電話③2201・2360

青盛建材株式会社
本　社・広島市鉄砲町5番16号　電話代表(21)2281
岡　山・岡山市東田町3　電話代表(23)8285
福　岡・福岡市冷泉町5番6号　電話代表(28)5566
松　江・松江市西津田町258　電話 ② 9551

関西三星タイル会員

売価　一部　金二〇〇円（送料共）

ご入会のお申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3－37　電話大阪(231)9648・9649・9640
振替口座大阪39975番